令和５年度

主要施策の成果に関する報告書

南風原町

目　　次

資料編

令和５年度会計別決算状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
一般会計歳入決算状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
令和５年度町税決算状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
一般会計歳出決算状況（性質別）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
一般会計歳出決算状況（目的別）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
基金及び町債残高の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
町の総合計画にもとづいた令和５年度事業一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・７

本　編

１　みんなで考え、みんなで創るわくわくするまち

●情報の共有できるひらかれたまち　・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
●自ら考え、行動し、みんなで創るまち　・・・・・・・・・・・・・・・・・１４

２　きらきらと輝く人が育つまち

●安らぎと豊かな人間関係、生きる力を育む、家庭教育　・・・・・・・１７
●地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育　・・・・・・・・１８
●個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育・・・２６

３　ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち

●ちむぐくるで支えあう安心して暮らせるまち　・・・・・・・・・・・・４３
●健康づくりの推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４４
●子ども・子育て支援の充実　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５９
●障がい者(児)・高齢者支援の充実　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７８

４　工夫と連携で産業が躍動するまち

●南風原産品を創り伸ばす農業の振興　・・・・・・・・・・・・・・・・・９５
●賑わい・就労を創る商業、製造業、新規産業の振興　・・・・・・１０１
●地域の連携で創る観光の振興　・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０６
●歴史と伝統を誇る工芸産業の振興　・・・・・・・・・・・・・・・・１１０

５　みどりとまちが調和した安全・安心のまち

●安全・安心に暮らせるまちづくり　・・・・・・・・・・・・・・・・１１３
●快適で文化的に暮らせるまちづくり　・・・・・・・・・・・・・・１１７
●利便性のよい魅力あるまちづくり　・・・・・・・・・・・・・・・・１２３

６　環境と共生する美しく住みよいまち

●環境への取り組み　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３１

７　行財政計画

●効率的で健全な行財政運営　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３９

会計別決算状況

（単位：千円）

	年度	予算現額	歳入総額 (A)	歳出総額 (B)	歳入歳出 差引額 (A)－(B)＝(C)	翌年度へ 繰越す財源 (D)	実質収支 (C)－(D)＝(E)
一般会計	令和5年度	18,829,202	18,095,172	17,425,607	669,565	306,238	363,327
	令和4年度	18,739,791	17,819,726	17,339,931	479,795	229,627	250,168
	差　引	89,411	275,446	85,676	189,770	76,611	113,159
国民健康保険特別会計	令和5年度	4,665,842	4,560,329	4,535,454	24,875	296	24,579
	令和4年度	4,356,704	4,300,158	4,268,556	31,602	0	31,602
	差　引	309,138	260,171	266,898	△ 6,727	296	△ 7,023
土地区画整理事業特別会計	令和5年度	829,348	792,092	760,247	31,845	31,083	762
	令和4年度	727,175	734,973	679,106	55,867	45,458	10,409
	差　引	102,173	57,119	81,141	△ 24,022	△ 14,375	△ 9,647
後期高齢者医療特別会計	令和5年度	374,309	376,476	372,818	3,658	0	3,658
	令和4年度	358,458	357,669	356,326	1,343	0	1,343
	差　引	15,851	18,807	16,492	2,315	0	2,315
合　　計	令和5年度	24,698,701	23,824,069	23,094,126	729,943	337,617	392,326
	令和4年度	24,182,128	23,212,526	22,643,919	568,607	275,085	293,522
	差　引	516,573	611,543	450,207	161,336	62,532	98,804

	年度	収益的収入及び支出（3条予算）		資本的的収入及び支出（4条予算）		翌年度繰越額
		収入	支出	収入	支出	
公営企業会計（下水道事業）	令和5年度	616,946	542,757	633,081	789,605	199,195
	令和4年度	603,512	537,769	229,738	389,408	167,526
	差　引	13,434	4,988	403,343	400,197	31,669

一　般　会　計　歳　入　決　算　状　況

（単位：千円）

	令和５年度		令和４年度		前年度比	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	増減額 A-B=C	伸び率 C/B×100
（自主財源） A	7,092,530	39.2	7,024,932	39.4	67,598	1.0
町税	4,661,018	25.8	4,549,528	25.6	111,490	2.5
分担金・負担金	236,734	1.3	237,213	1.3	△ 479	△ 0.2
使用料・手数料	59,715	0.3	56,246	0.3	3,469	6.2
財産収入	9,949	0.1	20,957	0.1	△ 11,008	△ 52.5
寄附金	432,052	2.4	545,413	3.1	△ 113,361	△ 20.8
繰入金	656,494	3.6	468,912	2.6	187,582	40.0
繰越金	479,795	2.6	363,908	2.0	115,887	31.8
諸収入	556,773	3.1	782,755	4.4	△ 225,982	△ 28.9
（依存財源） B	11,002,642	60.8	10,794,794	60.6	207,848	1.9
地方譲与税	73,130	0.4	72,580	0.4	550	0.8
利子割交付金	821	0.0	900	0.0	△ 79	△ 8.8
配当割交付金	10,401	0.1	7,940	0.1	2,461	31.0
株式等譲渡所得割交付金	11,614	0.1	7,648	0.1	3,966	51.9
法人事業税交付金	72,012	0.4	52,938	0.3	19,074	36.0
地方消費税交付金	935,689	5.2	933,344	5.2	2,345	0.3
環境性能割交付金	7,353	0.0	6,566	0.0	787	12.0
地方特例交付金	35,631	0.2	36,882	0.2	△ 1,251	△ 3.4
地方交付税	2,833,078	15.6	2,822,428	15.8	10,650	0.4
交通安全対策特別交付金	3,897	0.0	3,729	0.0	168	4.5
国庫支出金	4,169,595	23.0	4,204,594	23.6	△ 34,999	△ 0.8
県支出金	2,384,521	13.2	2,254,945	12.7	129,576	5.7
地方債	464,900	2.6	390,300	2.2	74,600	19.1
合計（A＋B）	18,095,172	100.0	17,819,726	100.0	275,446	1.5

※数値は「令和５年度南風原町一般会計・特別会計歳入歳出決算書」より

町 税 決 算 状 況

（単位：千円）

	令和5年度			令和4年度			令和5－令和4		
	調定額 A	決算額 B	(B/A) ×100 =C %	調定額 D	決算額 E	(E/D) ×100 =F %	調定額 の増減 A-D=G	決算額 の増減 B-E=H	決算額 の増減率 (H/E)×100 %
町　　税	4,686,164	4,661,018	99.5	4,573,468	4,549,528	99.5	112,696	111,490	2.5
町　民　税	2,011,993	1,996,459	99.2	2,013,772	1,997,788	99.2	△ 1,779	△ 1,329	△ 0.1
個人町民税	1,803,535	1,788,947	99.2	1,806,768	1,791,075	99.1	△ 3,233	△ 2,128	△ 0.1
1.現年課税分	1,786,914	1,783,401	99.8	1,792,462	1,785,387	99.6	△ 5,548	△ 1,986	△ 0.1
2.滞納繰越分	16,621	5,546	33.4	14,306	5,688	39.8	2,315	△ 142	△ 2.5
法人町民税	208,458	207,512	99.5	207,004	206,713	99.9	1,454	799	0.4
1.現年課税分	208,284	207,338	99.5	206,887	206,713	99.9	1,397	625	0.3
2.滞納繰越分	174	174	100.0	117	0	0.0	57	174	皆増
固定資産税	2,268,716	2,260,102	99.6	2,163,678	2,156,578	99.7	105,038	103,524	4.8
純固定資産税	2,228,555	2,219,941	99.6	2,137,268	2,130,168	99.7	91,287	89,773	4.2
1.現年課税分	2,221,674	2,216,738	99.8	2,130,168	2,126,125	99.8	91,506	90,613	4.3
2.滞納繰越分	6,881	3,203	46.5	7,100	4,043	56.9	△ 219	△ 840	△ 20.8
国有資産等交付金	40,161	40,161	100.0	26,410	26,410	100.0	13,751	13,751	52.1
軽自動車税	163,359	162,361	99.4	158,063	157,207	99.5	5,296	5,154	3.3
環境性能割	4,076	4,076	100.0	4,499	4,499	100.0	△ 423	△ 423	△ 9.4
種　別　割	159,283	158,285	99.4	153,564	152,708	99.4	5,719	5,577	3.7
1.現年課税分	158,471	158,126	99.8	152,885	152,551	99.8	5,586	5,575	3.7
2.滞納繰越分	812	159	19.6	679	157	23.1	133	2	1.3
町たばこ税	242,096	242,096	100.0	237,955	237,955	100.0	4,141	4,141	1.7
1.現年課税分	242,096	242,096	100.0	237,955	237,955	100.0	4,141	4,141	1.7
2.滞納繰越分	0	0	－	0	0	－	0	0	－
1.現年課税分合計	4,661,676	4,651,936	99.8	4,551,266	4,539,640	99.7	110,410	112,296	2.5
2.滞納繰越分合計	24,488	9,082	37.1	22,202	9,888	44.5	2,286	△ 806	△ 8.2

一　般　会　計　歳　出　決　算　状　況　（性質別）

（単位：千円）

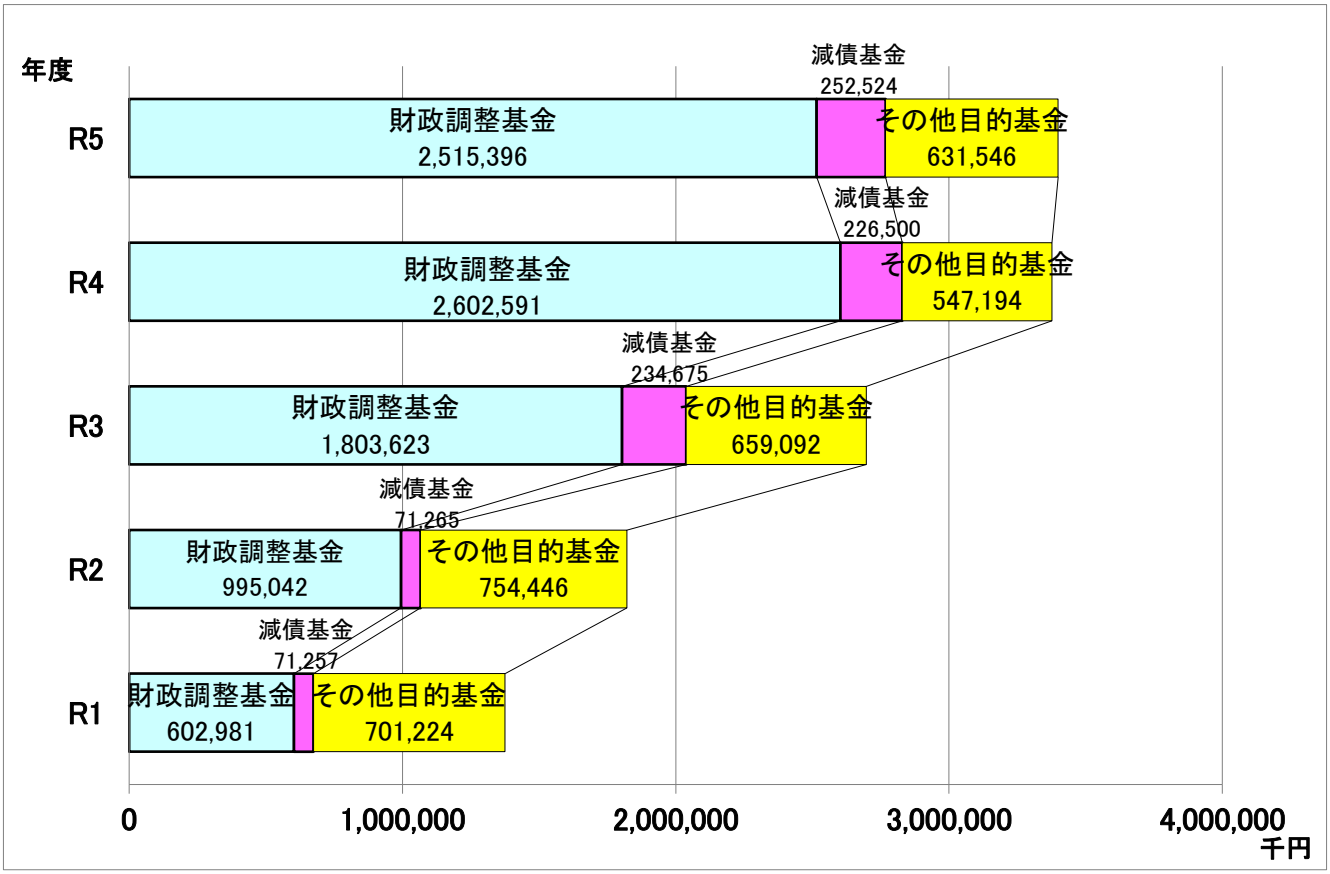
	令和５年度		令和４年度		前年度比	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	増減額 A-B=C	伸び率 C/B×100
（義務的経費）①	9,914,100	56.9	9,277,926	53.5	636,174	6.9
人　件　費	2,500,002	14.3	2,312,582	13.3	187,420	8.1
扶　助　費	6,371,323	36.6	5,892,313	34.0	479,010	8.1
公　債　費	1,042,775	6.0	1,073,031	6.2	△ 30,256	△ 2.8
（投資的経費）②	674,181	3.9	654,263	3.8	19,918	3.0
普通建設事業	674,181	3.9	654,263	3.8	19,918	3.0
災害復旧事業	0	0.0	0	0.0	0	0.0
（その他の経費）③	6,837,326	39.2	7,407,742	42.7	△ 570,416	△ 7.7
物　件　費	2,206,777	12.7	2,309,881	13.3	△ 103,104	△ 4.5
維持補修費	206,248	1.2	127,806	0.8	78,442	61.4
補助費等	2,178,024	12.5	2,240,101	12.9	△ 62,077	△ 2.8
積　立　金	455,702	2.6	1,202,267	6.9	△ 746,565	△ 62.1
投資及び出資金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
貸　付　金	25,000	0.1	25,000	0.1	0	0.0
繰　出　金	1,765,575	10.1	1,502,687	8.7	262,888	17.5
合計（①＋②＋③）	17,425,607	100.0	17,339,931	100.0	85,676	0.5

一　般　会　計　歳　出　決　算　状　況　（目的別）

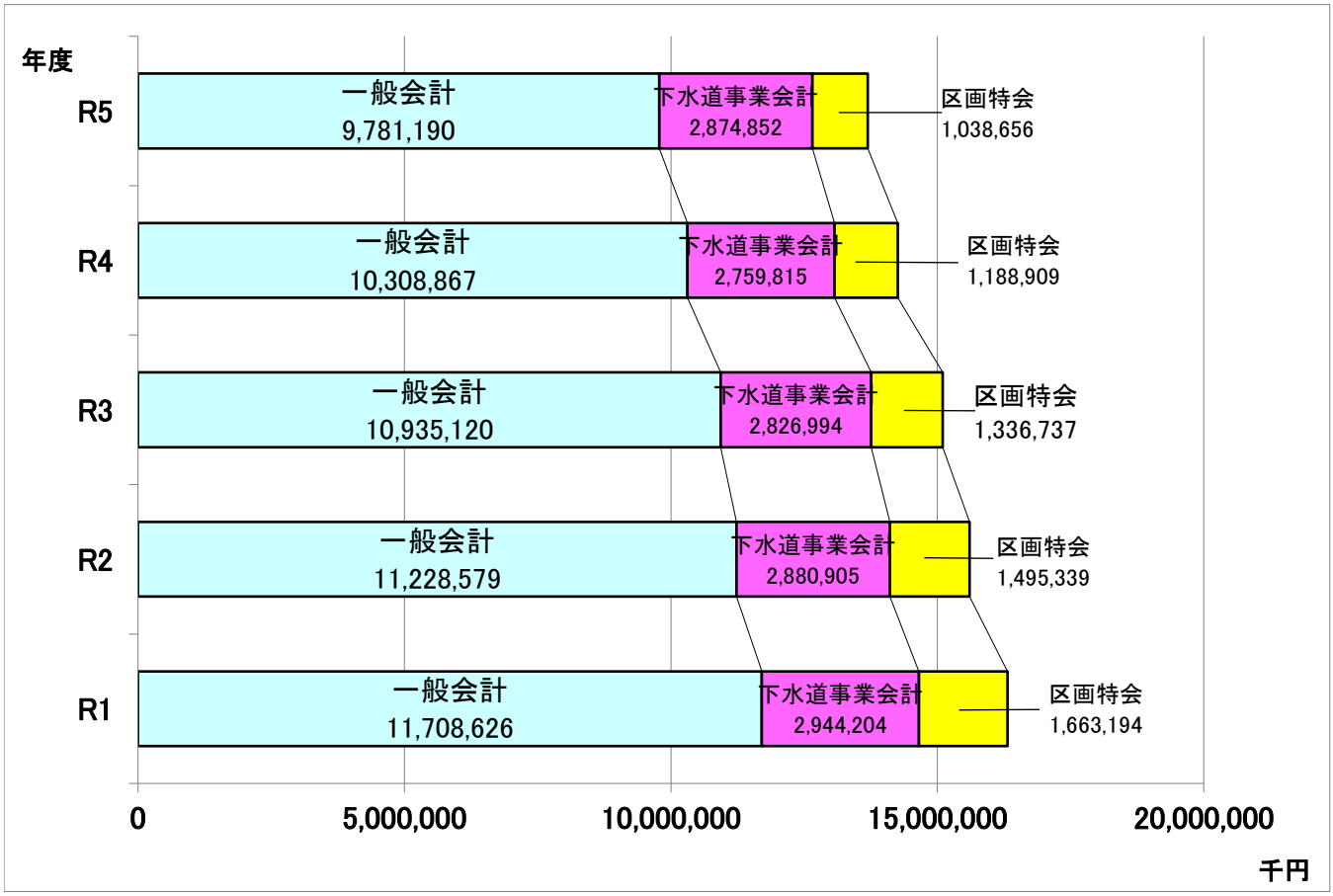
（単位：千円）

	令和５年度		令和４年度		前年度比	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	増減額 A-B=C	伸び率 C/B×100
議会費	135,234	0.8	111,381	0.6	23,853	21.4
総務費	1,826,423	10.5	2,574,592	14.8	△ 748,169	△ 29.1
民生費	8,839,208	50.7	8,172,992	47.1	666,216	8.2
衛生費	1,321,967	7.6	1,265,201	7.3	56,766	4.5
労働費	40,073	0.2	31,689	0.2	8,384	26.5
農林水産費	93,684	0.5	84,704	0.5	8,980	10.6
商工費	229,355	1.3	424,988	2.5	△ 195,633	△ 46.0
土木費	1,010,227	5.8	966,184	5.6	44,043	4.6
消防費	583,376	3.4	526,949	3.0	56,427	10.7
教育費	2,303,285	13.2	2,108,219	12.2	195,066	9.3
災害復旧費	0	0.0	0	0.0	0	-
公債費	1,042,775	6.0	1,073,031	6.2	△ 30,256	△ 2.8
諸支出金	－	－	－	－	－	－
合計	17,425,607	100.0	17,339,930	100.0	85,677	0.5

基金残高の状況



町債残高の状況



令和5年度 主要施策の成果に関する報告書　事業一覧表（第五次総合計画体系別）

まちづくり目標	達成の柱	事業名称	担当課	ページ
みんなで考え、みんなで創るわくわくするまち	情報の共有でひらかれたまち	議会広報広聴活動強化事業	議会事務局	11
		議会映像インターネット配信事業	議会事務局	12
		広報・広聴事業	総務課	13
	自ら考え、行動し、みんなで創るまち	町善行・功労賞事業	総務課	14
		区長（自治会長）事務委託事業	総務課	15

まちづくり目標	達成の柱	事業名称	担当課	ページ
きらきらと輝く人が育つまち	安らぎと豊かな人間関係、生きる力を育む、家庭教育	教育相談事業	学校教育課	17
	地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育	子ども平和学習交流事業	生涯学習文化課	18
		国際交流事業（育英会）	生涯学習文化課	19
		放課後子ども教室推進事業	生涯学習文化課	20
		地域学校協働活動推進事業	生涯学習文化課	21
		はえばる大学運営事業	生涯学習文化課	22
		陸軍病院壕公開活用事業	生涯学習文化課	23
		公民館活動の充実事業	生涯学習文化課	24
		公民館講座事業	生涯学習文化課	25
	個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育	学校給食用材料に係る経費	教育総務課	26
		調理場運営事業	教育総務課	27
		就学奨励事業	学校教育課	28
		幼稚園就園援助事業	学校教育課	29
		幼稚園にかかる経費（各幼稚園経費除く）	学校教育課	30
		各幼稚園にかかる経費	学校教育課	31
		英会話教育の充実	学校教育課	32
		学校教育事業	学校教育課	33
		特別支援教育支援員（ヘルパー）配置事業	学校教育課	34
		学力調査事業	学校教育課	35
		学校ICT推進事業	学校教育課	36
		小学校（学校管理費・教育振興費）	学校教育課	37
		中学校（学校管理費・教育振興費）	学校教育課	38
		学習支援員等配置事業	学校教育課	39
		幼稚園体育活動充実事業	教育総務課	40
		小学校照明LED化事業	教育総務課	41
		北丘小学校体育館等整備事業	教育総務課	42

令和5年度 主要施策の成果に関する報告書　事業一覧表（第五次総合計画体系別）

まちづくり目標	達成の柱	事業名称	担当課	ページ
ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち	ちむぐくるで支えあう安心して暮らせるまち	社会福祉団体育成事業	こども課	43
	健康づくりの推進	国民健康保険事業（国民健康保険特別会計）	国保年金課	44
		高齢者医療対策費	国保年金課	47
		住民健診（健康診査）事業	国保年金課	48
		婦人がん検診事業	国保年金課	49
		後期高齢者医療事業(後期高齢者医療特別会計)	国保年金課	50
		妊婦一般健康診査事業	国保年金課	51
		産婦健康診査事業	国保年金課	52
		新生児妊産婦訪問指導事業	国保年金課	53
		未熟児養育医療事業	国保年金課	54
		乳児一般健康診査事業	国保年金課	55
		3歳児健康診査事業	国保年金課	56
		長寿県復活　食の応援事業	国保年金課	57
		予防接種事業	国保年金課	58
	子ども・子育て支援の充実	宮平保育所運営事業	こども課	59
		認可保育園事業・補助（保育所運営費）	こども課	60
		延長保育促進事業	こども課	61
		発達支援児保育事業	こども課	62
		認可保育園事業・町単独事業	こども課	63
		地域型保育事業・補助	こども課	64
		保育対策総合支援事業	こども課	65
		母子父子家庭医療費助成事業	こども課	66
		こども医療費助成事業	こども課	67
		子供の貧困緊急対策事業	こども課	68
		病児保育事業	こども課	69
		児童館運営事業・単独	こども課	70
		学童保育事業・補助	こども課	71
		放課後児童の居場所づくり支援事業	こども課	72
		ファミリーサポートセンター事業	こども課	73
		地域子育て支援拠点事業	こども課	74
		児童手当事業	こども課	75
		認定こども園事業・補助	こども課	76
		出産・子育て応援事業	国保年金課	77

令和5年度 主要施策の成果に関する報告書　事業一覧表（第五次総合計画体系別）

まちづくり目標	達成の柱	事業名称	担当課	ページ
ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち	障がい者（児）・高齢者支援の充実	包括的支援事業	保健福祉課	78
		生活支援体制整備事業	保健福祉課	79
		家族介護支援事業	保健福祉課	80
		高齢者地域支援体制整備・評価事業	保健福祉課	81
		介護予防事業	保健福祉課	83
		認知症施策推進事業	保健福祉課	85
		介護保険運営事業	保健福祉課	86
		重度心身障害者医療費助成事業	保健福祉課	87
		自立支援医療費事業	保健福祉課	88
		市町村地域生活支援事業	保健福祉課	89
		介護給付・訓練等給付事業	保健福祉課	91
		敬老会事業	保健福祉課	92
		高齢者慶祝記念品支給事業	保健福祉課	93
		敬老月間啓発事業	保健福祉課	94

まちづくり目標	達成の柱	事業名称	担当課	ページ
工夫と連携で産業が躍動するまち	南風原産品を創り伸ばす農業の振興	農業委員会運営事業	産業振興課	95
		地力増強対策事業	産業振興課	96
		さとうきび振興対策事業	産業振興課	97
		農地深耕・荒廃地解消事業	産業振興課	98
		新規畑人支援事業	産業振興課	99
		多面的機能支払交付金	産業振興課	100
	賑わい・就労を創る商業、製造業、新規産業の振興	住宅リフォーム支援事業	まちづくり振興課	101
		商工会の育成強化	産業振興課	102
		商品開発・技術力強化事業	産業振興課	103
		価格高騰生活者支援事業	産業振興課	105
	地域の連携で創る観光の振興	観光事業	産業振興課	106
		観光PR促進事業	産業振興課	107
		ヒーローのまちづくり事業	産業振興課	108
		黄金森公園スポーツ施設活性化事業	教育総務課	109
	歴史と伝統を誇る工芸産業の振興	琉球絣等伝統工芸事業	産業振興課	110

令和5年度 主要施策の成果に関する報告書　事業一覧表（第五次総合計画体系別）

まちづくり目標	達成の柱	事業名称	担当課	ページ
みどりとまちが調和した安全・安心のまち	安全・安心に暮らせるまちづくり	消防力の整備強化	総務課	113
		防災体制強化事業	総務課	114
		不発弾処理促進事業	総務課	115
		災害時等避難施設改修事業	総務課	116
	快適で文化的に暮らせるまちづくり	津嘉山公園整備事業	都市整備課	117
		都市公園管理事業	都市整備課	118
		下水道事業（公営企業会計）	区画下水道課	119
		河川整備事業	都市整備課	120
		公園施設長寿命化計画策定事業	都市整備課	121
		黄金森公園整備事業	都市整備課	122
	利便性のよい魅力あるまちづくり	道路維持事業	都市整備課	123
		道路交通安全施設等整備事業	都市整備課	124
		都市計画振興事業	まちづくり振興課	125
		町道10号線道路改良事業	都市整備課	126
		津嘉山中央線街路事業（2工区）	都市整備課	127
		津嘉山北土地区画整理事業（土地区画整理事業特別会計）	区画下水道課	128

まちづくり目標	達成の柱	事業名称	担当課	ページ
環境と共生する美しく住みよいまち	環境への取り組み	環境保全対策事業	住民環境課 区画下水道課	131
		公害対策事業	住民環境課	134
		指定ごみ袋還元基金事業	住民環境課	135
		ごみ処理対策事業	住民環境課	136
		し尿処理事業	住民環境課	137

まちづくり目標	達成の柱	事業名称	担当課	ページ
行財政計画	効率的で健全な行財政運営	議会運営事業	議会事務局	139
		企画事務事業	企画財政課	140
		電子計算事務事業	企画財政課	141
		基幹系事務事業（番号制度関係等）	企画財政課	142
		DX推進事業	企画財政課	143
		ふるさと納税推進事業	企画財政課	144
		住基・印鑑登録・旅券事務事業	住民環境課	145
		町県民税に係る経費	税務課	146
		固定資産税に係る経費	税務課	147
		賦課徴収事業	税務課	148

１　みんなで考え、
みんなで創るわくわくするまち

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	議会広報広聴活動強化事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	議会事務局	局長名	新垣　圭一		款	議会費	01
連絡先	889－3097				項	議会費	01
目　標	みんなで考え、みんなで創るわくわくするまち				目	議会費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	議会の活動状況を広く町民に知らせます。 議会だよりは、町民への情報公開としての役割があり、議会の審議、活動状況を広く町民に知らせる重要な役割を担っています。

事業の実施内容

1. 議会広報紙「はえばる議会だより」を定例会ごとに年4回発行しています。表紙写真や町民の声を公募し、表紙の題字も募集し、児童等に提供してもらう等、町民の皆さんが議会活動により関心を持つよう工夫しています。

2. 議会の活動内容をより詳しく伝えるため、全戸配布に加え公共施設、金融機関、医療機関、コンビニや大型商業施設等にも広報委員自らが設置依頼し、広報活動に努めています。

3. 町議会ホームページの充実を図るため、はえばる議会だよりや会議録を掲載しています。また、定例会・臨時会の審議結果や議員個々の賛否、議会運営の動き、毎月のスケジュール等を公開するなど、議会活動を町民の皆さんにわかりやすく伝えることを常に心がけ、情報発信に努めています。

4. 令和5年度は、4年振りに議会報告会・意見交換会を対面で開催し、町民の皆さんへの情報提供を行いました。今後もあらゆる機会を通して、町民の皆さんの意見等を議会の討議及び政策に反映させるよう努めていきます。

○議会広報紙「はえばる議会だより」発行
（電子版は町ホームページに掲載）
A4版　12ページ
発行部数　16,000部×4回
予算額　3,665千円　　決算額　3,520千円

▲第12回議会報告会

▲令和5年度発行　はえばる議会だより

事業の成果

議会広報紙「はえばる議会だより」は分かりやすく、町民の皆さんに関心をもっていただく文面・写真の選定を心がけ編集し、各広報委員においても積極的に研修会へ参加することで編集能力の向上に努め、町民目線に立った広報紙づくりに取り組みました。また、「はえばる議会だより」の発行や町議会ホームページ等の充実によって、議会活動を分かりやすく町民の皆さんに伝え、【開かれた議会】を目指し、多くの広報広聴活動を実施することで町民の皆さんの貴重なご意見を伺うよう努めています。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,665	3,520					3,520

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	議会映像インターネット配信事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	議会事務局	局長名	新垣　圭一		款	議会費	01
連絡先	889－3097				項	議会費	01
目　標	みんなで考え、みんなで創るわくわくするまち				目	議会費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	議会映像をインターネットで配信し、パソコンやスマートフォン等で議会傍聴ができるようにすることで、議会の様子を広く発信します。

事業の実施内容

○議会中継システム保守委託料　　594千円

議場音響設備等を定期的に機能点検・調整等を実施し、機能維持・故障の防止します。

○議会映像をインターネット上で配信

議会映像を、本会議場に設置されたカメラ及び音声設備等を利用し、インターネット上で町議会本会議の審議状況をライブ配信及び録画中継で配信します。
また、今年度よりLIVE配信において、字幕をつけています。

・議会録画映像編集費委託料　　110千円
・LIVE字幕中継追加　初期設定委託料　　220千円
・議会映像配信システム使用料・機器賃借料　　1,012千円

議会中継の様子

事業の成果

議会の本会議の様子を、インターネット上で配信をすることで議会を傍聴することができない住民等へ情報公開を行うことができました。また、LIVE配信に字幕をつけることで、より利便性を高めることができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,464	1,936					1,936

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	広報・広聴事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　総務課	課長名	仲村　兼一		款	総務費	02
連絡先	889－4415				項	総務管理費	01
目　標	みんなで考え、みんなで創るわくわくするまち				目	文書広報費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	広報誌やホームページ、掲示板等を用いて町行政情報を発信し、住民との情報共有を図ることを目的としています。また、ホームページ等を用いて、町行政に対する住民の意見、要望、提案等を反映させます。

事業の実施内容

○広報誌『広報はえばる』の発行　　印刷製本費　7,920千円（全20ページ　半ページカラー）

・表やイラスト、写真等を使い、分かりやすく、興味を持ってもらえるようなレイアウトを心がけました。
・ページ数を4ページ増やして、行政情報及び町民サービスの発信の充実に努めました。

年度	印刷製本代	毎月発行部数	1部単価
R5	7,920千円	15,600部	42.3円
R4	5,940千円	15,600部	31.7円
R3	5,610千円	15,600部	30.0円

令和5年度の有料広告掲載状況
広告収入　1,826千円

・町内全戸配布（区長委託方式）、町関係機関や報道局へ郵送し、町内のショッピングセンター等へ設置しています。

○修繕料（広報掲示板設置工事）　　1,210千円

○委託料
・ポータルサイトデータセンター保守委託料　　611千円
・ホームページの充実（町HP　http://www.town.haebaru.lg.jp）
　見やすく・分かりやすい情報の提供及び掲載情報の充実を図りました。

ホームページアクセス数/日	
R5	3,396件
R4	4,617件
R3	4,663件

○その他広報公聴活動経費　　91千円

○まちメール
・町民の皆さまからのご意見やご提案をお伺いし、町政運営の施策に反映するため、ホームページや庁舎1階に町政提案箱を設置しています。

事業の成果

住民の行政に対する意見、質問、要望や提案など、住民ニーズを的確に把握するため、住民との情報共有に努めるとともに、行政側から積極的に情報を発信することを心がけました。広報誌で発信している行政情報を広く届けるため、戸別配布、ホームページに加え、スマートフォンアプリ「マチイロ」を利用し配信を行っています。
繰越事業となったホームページのリニューアル及びLINEの機能拡充は令和7年3月の完了予定です。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	31,818	9,832	0	0	0	0	9,832

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	町善行・功労賞事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	総務部　総務課	課長名	仲村　兼一		款	総務費	02
連絡先	889－4415				項	総務管理費	01
目標	みんなで考え、みんなで創るわくわくするまち				目	地域づくり推進事業費	12

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	南風原町民	教育文化、社会福祉、産業経済等に関して功労善行の顕著なる個人又は団体で他の規範として推奨に値する業績があった方を表彰し、その業績を讃える。また、よいこと沖縄一・日本一賞となった個人・団体の表彰を行います。

事業の実施内容

○報償費　140千円
- ・受賞者用図書券　75千円
- ・功労賞・善行賞受賞者記念品　55千円
- ・文化協会余興への謝礼金　10千円

○需用費　223千円
- ・賞状・額縁入れバッグ（受賞者用）　12千円
- ・祝賀会消耗品　5千円
- ・表彰式典花代　8千円
- ・祝賀会食事代　122千円
- ・記念写真撮影　76千円

功労賞・善行賞・よいこと沖縄一・日本一の皆さん

事業の成果

令和5年度は、功労賞7名、善行賞3名・1団体及びよいこと沖縄一賞48名・8団体の合計58名・9団体の方々を表彰しました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	481	363					363

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	区長（自治会長）事務委託事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　総務課	課長名	仲村　兼一		款	総務費	02
連絡先	889－4415				項	総務管理費	01
目　標	みんなで考え、みんなで創るわくわくするまち				目	諸費	11

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内全字・全自治会	町政を円滑に運営するため事務委託要綱に定めている事務を委託します。

事業の実施内容

◆委託料　　48，268千円

本町が委託する業務は下記のとおりとなっております。

①広報・連絡事務
・ 広報誌配布・広報掲示板への掲示等

②災害時協力事務
・ 災害時における一時避難所対応等

③その他
・ 諸統計調査に関すること。
・ 保健衛生に関すること。
・ 援助物資の配給に関すること。
・ 社会福祉事業に関すること。
・ 国民健康保険に関すること。
・ 災害救助に関すること。
・ 環境に関すること。
・ 町県民税に関すること。
・ 土地事務に関すること。
・ 農業関係の調査協力に関すること。
・ 家畜に関すること。
・ 林業に関すること。
・ 商工鉱業に関すること。
・ 耕地、農業土木に関すること。
・ 土木事業及び維持管理に関すること。
・ 都市計画に関すること。
・ 選挙の啓蒙に関すること。
・ 議会における調査審査の協力に関すること。
・ その他各課及び消防、選挙、議会、教育及び農業において必要とする事項

事業の成果

各字・自治会へ各種事務事業を委託する事で町政を円滑に運営することができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	48,268	48,268					48,268

２　きらきらと輝く人が育つまち

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	教育相談事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	教育総務費	01
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	事務局費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立幼稚園の園児、小・中学校の児童・生徒、保護者、教諭等	児童・生徒の不登校、特別支援教育等の課題について、相談員等が、学校及び保護者、関係機関と連携して教育相談等により解決に努めます。また、幼稚園や学校に作業療法士を派遣し、児童等の多様性に対応した教育環境の構築を行います。

事業の実施内容

1. 報酬・報償費等　（予算額　19，415千円、決算額　18，924千円）
　○教育相談支援センターに青少年教育相談員、各小中学校に心の教室相談員を配置し、児童・生徒、保護者等の教育相談を行い、不登校の改善に努めました。また、教育委員会に特別支援教育相談員を配置し、発達障害等の子どもへの対応に悩みを持つ保護者に対して相談等の支援を行いました。
　○中学校に学習支援員（適応教室指導員、自立支援教室指導員）を配置し、教室に入れない生徒に個別指導等の学習支援を行いました。

2. 需用費、役務費　（予算額　374千円、決算額　371千円）
　○相談業務に必要な消耗品や通信費、傷害保険料を支出しました。

3. 委託料　（予算額　5，167千円、決算額　5，167千円）
　○令和5年度作業療法士派遣委託業務委託料2，904千円
　○令和5年度Q-Uテスト委託業務委託料2，263千円

4. 備品購入費　（予算額　5，950千円、決算額　5，950千円）
　○各小学校および教育相談支援センターの登校支援車（5台）を購入しました。

南風原町の不登校児童・生徒の現状について（平成30年度～令和5年度）

（小学校）

年度	H30			R1			R2			R3			R4			R5		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
10～30日未満	19	24	43	33	26	59	100	87	187	56	40	96	145	124	269	84	66	150
30日以上	28	18	46	22	16	38	30	22	52	25	39	64	64	50	114	64	65	129
計	47	42	89	55	42	97	130	109	239	81	79	160	209	174	383	148	131	279

（中学校）

年度	H30			R1			R2			R3			R4			R5		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
10～30日未満	6	6	12	22	24	46	8	17	25	23	21	44	48	52	100	107	98	205
30日以上	33	37	70	38	40	78	22	15	37	39	25	64	58	64	122	55	65	120
計	39	43	82	60	64	124	30	32	62	62	46	108	106	116	222	162	163	325

※不登校の定義-「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるため年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの」（文部科学省定義）

事業の成果

不登校児童・生徒について、小中学校でそれぞれ増減はあるものの全体的に増加傾向となっていることが課題です。不登校の要因として小学校では「無気力、不安」や「親子の関わり方」が多く、中学校では「無気力、不安」、「生活リズムの乱れ・あそび・非行」が多くなってます。教育相談員および心の教室相談員は、学校や関係機関と連携し、個別会議や全体会議（登校支援会議等）を開催し、不登校児童・生徒の解消に努めています。また、学校や家庭と連携し、不登校児童・生徒の心情や不登校になった背景の理解に努め、学校に登校しやすい雰囲気づくりや訪問相談等を行っています。学習環境にうまく適応できない幼児、児童生徒のケアや教諭等への助言を行うため、幼稚園、小中学校に作業療法士を派遣し、児童等の多様性に対応した教育環境の構築や研修に取り組みました。
各小学校に登校支援車を配置し、不登校傾向にある児童・生徒の登校支援を行うことで、不登校の未然防止に取り組みました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	30,906	30,411		23,691			6,720

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	南風原町子ども平和学習交流事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　生涯学習文化課	課長名	野原　学		款	総務費	02
連絡先	889－7399				項	総務管理費	01
目　標	きらきらと輝く人が育つ町				目	地域づくり推進事業	12

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の4小学校の6年生	参加児童が、仲間意識を育みながら、平和や戦争、人権や差別などについて学習し、自分の考えや意見を積極的に交換できるようにします。あらゆる社会の出来事に目を向け、自分のこととして社会をより深く理解しようとする人材育成に努めます。

事業の実施内容

戦争や平和、人種や人権、差別などについて、町内の子どもたちに学習を深めさせる目的で事業を実施しています。各地の体験者や専門家の講話をはじめ、交流研修、施設見学を通して視野を広げていきます。

令和5年度は、町内4小学校の6年生8人が本事業に参加しました。県内研修および3泊4日の県外研修を実施し、学びの成果を報告会および報告書で発表しました。

【令和5年度事業の実施内容】
・令和5年5月　参加児童の決定（町内4小学校の6年生8人）
・令和5年6月～令和6年3月
■県内での研修
・座学での研修（南風原文化センター）
太平洋戦争・沖縄戦の流れ/松代大本営壕
広島原爆/ホロコースト/ウトロと在日朝鮮・韓国人/ハンセン病と愛楽園
・沖縄陸軍病院南風原壕周辺戦跡見学、飯上げ体験
・中部戦跡めぐり（米軍上陸の碑（北谷町）、チビチリガマ（読谷村））
・沖縄愛楽園交流会館（名護市）見学
・県外研修（7月28日～31日京都・広島）:ウトロ平和祈念館/京都市立堀川高校生徒との人権交流学習　ホロコースト記念館/広島市内戦跡めぐり/被爆体験者講話/広島平和記念資料館
■研修報告会（10月13日）
■報告書の作成

	【予算額】	【決算額】
引率旅費（職員、引率教諭特別旅費等）	275千円	195千円
平和学習ガイド、講師謝礼金等	100千円	25千円
施設使用料	10千円	1千円
補助金（生徒8人）	830千円	653千円
合計	1,215千円	876千円

飯上げ体験　先輩に教えてもらいながら

人権問題に関する意見交換　京都の高校生と

広島原爆　被爆体験者による講話

事業の成果

例年通り県内研修と京都・広島への県外研修を実施しました。今回は新たに、現地の高校生（京都市立堀川高校）との人権に関する交流学習を取り入れ、年齢が近い児童生徒間で意見交換をすることで、問題意識が高まった様子が見られました。広島では、戦跡めぐりや被爆体験者講話といった現地でしかできない経験ができました。
報告会では、実際に現地で見て直接話を聞いて実感したことや、そこから考えたこと、自身でさらに調べたことなどを報告しました。また、児童が研修で学んだことをまとめた報告書には、研修内容に加え今後学びたいことなど、人権問題や平和に関する関心の高まりがつづられています。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
・参加児童の保護者へのアンケートで、子どもによい変化がみられた:90% ・参加後、平和や戦争、人権や差別について社会の問題に興味がわいた児童:90%	・参加児童の保護者へのアンケートで、子どもによい変化がみられた:100% ・参加後、平和や戦争、人権や差別について社会の問題に興味がわいた児童:100%

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,215	876		700			176

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	国際交流事業（育英会）			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　生涯学習文化課	課長名	野原学		款	総務費	02
連絡先	889－0568				項	総務管理費	01
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	地域づくり推進事業費	12

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の中学生の国際交流	国際交流事業は中学生を海外に派遣し、ホームステイや学校体験入学等を通して、国際化時代に対応しうる青少年を育てます。

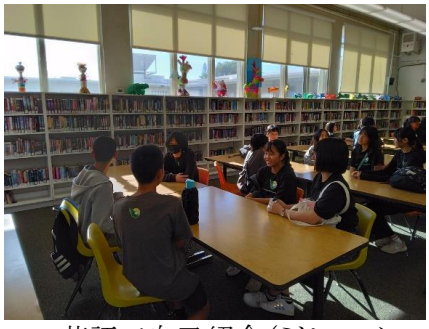
事業の実施内容

・南風原町育英会補助金（国際交流事業）　予算額　8，403千円　　決算額　6，925千円

〇令和5年度の内容（派遣期間：10月18日～27日）
今回の国際交流事業は、団長、引率2名、団員10名の計13名がアメリカ合衆国ハワイ州ホノルル市へ派遣され、ホームステイやミドルスクールへの体験入学、町人会、県人会、ホストファミリーとのアロハパーティー、教育施設の見学等の研修が実施されました。今後、団員がこの研修に参加したことにより大きく成長し、学校や地域でリーダーとして活躍することを期待しています。

町人会、ホストファミリーとのアロハパーティー

ホストファミリーとホノルル動物園へ



英語で自己紹介（ミドルスクール）

事業の成果

4年ぶりに行われた国際交流事業は、町内の中学生を海外（R5年度はハワイ）へ派遣し、現地の教育・文化・歴史産業などを視察学習、ミドルスクール（中学校）への体験入学、ホームステイを行い国際的視野を広げていくことや、現地町人会及び県人会、又、ホストファミリーとの関わりを通して人とのつながりを感じ学ぶことができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
・参加生徒と保護者へのアンケートで、外国語や海外文化への関心が高まり、国際的な視野がより深まったと回答：80%以上	・参加生徒と保護者へのアンケートで、外国語や海外文化への関心が高まり、国際的な視野がより深まったと回答：100％

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,403	6,925		5,211			1,714

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	放課後子ども教室推進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　生涯学習文化課	課長名	野原　学		款	教育費	10
連絡先	889－0568				項	社会教育費	05
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	社会教育総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の小学生	地域の方々が子どもたちといっしょに勉強やスポーツ・文化活動を行うことで、地域住民の交流の場を創り、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。

事業の実施内容

○放課後子ども教室推進事業

主な経費　3,085 千円

- コーディネーター謝礼金　1,056 千円
- 協働活動サポーター謝礼金、体験学習講師謝礼金　1,911 千円
- その他（消耗品費、保険料等）　118 千円

○事業実施内容

① 放課後子ども教室コーディネーターを各子ども教室に派遣し、円滑な実施を図るための調整を行いました。

② 各子ども教室に協働活動サポーターを配置し、1回あたり5名体制で実施しました。

③ 南風原小学校 ・・・ 64日開催、児童25人（延べ1,130人）参加
北丘小学校 ・・・ 60日開催、児童29人（延べ1,167人）参加
津嘉山小学校 ・・・ 61日開催、児童31人（延べ1,280人）参加
翔南小学校 ・・・ 64日開催、児童16人（延べ731人）参加

←南風原小の様子

←北丘小の様子

←津嘉山小の様子

←翔南小の様子

事業の成果

放課後に各小学校の余裕教室を利用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設けました。保護者や地域の方々の協力を得て、子どもたちとともに勉強・体験・交流・遊び・生活指導等を行うことにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりに寄与できました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
・開催数:60日	・南風原小学校64日　・津嘉山小学校60日 ・北丘小学校61日　・翔南小学校64日

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,164	3,085		1,541			1,544

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	地域学校協働活動推進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　生涯学習文化課	課長名	野原　学		款	教育費	10
連絡先	889－0568				項	社会教育費	05
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	社会教育総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の小学生・中学生及び地域住民など	地域全体で学校を支援することで、子どもたちが多様な体験・経験ができ、学校教育の充実を図ります。また、地域と連携する事で地域に開かれた学校としての環境を整備します。

事業の実施内容

○地域学校協働活動推進事業

主な経費　6,322 千円

- 報償費　（地域コーディネーター5名分、実行委員謝礼金）　5,796 千円
- 需用費（消耗品、食料費、印刷製本費）　323 千円
- 役務費（通信運搬費・ボランティア活動保険・振込手数料）　203 千円

○事業実施内容

- 実行委員会を2回開催。
- 学校支援ボランティア　　参加人数　483人（延べ人数　1,362人）
- 地域コーディネーターの配置　　5名
- 広報活動として、『広報はえばる』への掲載　全12回。壁新聞の発行　12回。

書写指導

駆除ハブで商品開発

毎週の放課後勉強会

沖縄戦に関する講話

事業の成果

町内6小中学校で学校支援活動を実施し、各学校で地域住民等の皆さんによる学校支援の活動分野が広がり、子どもと地域の人のふれあう機会が増えました。また、行き届いた指導が行われ教員の負担が軽減されたり、地域学習では教師側も地域の歴史や文化を学ぶ事で学習内容の深化ができたりし、学校教育の充実を図ることができました。さらに、地域住民がこれまで学んできた知識や経験等を生かす場が広がり、地域の教育力の活性化及び地域のきずなづくりも図ることができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
・ボランティアのべ参加人数:1,300人	・ボランティアのべ参加人数:1,362人

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	6,433	6,322		3,150			3,172

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	はえばる大学運営事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　生涯学習文化課	課長名	野原　学		款	教育費	10
連絡先	889－0568				項	社会教育費	05
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	社会教育総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	満18歳以上の南風原町在住・在学・在勤者	町民が生涯学習の一環として広く仲間づくりを行いながら自己の生きがいを探求し、自主的な学習活動を支援する。

事業の実施内容

○はえばる大学運営事業

主な経費　89 千円

- 報償費 （講師謝礼金、マイクロバス運転手謝礼金）　66 千円
- 需用費（消耗品、燃料費）　23 千円

○事業実施内容

- 講座8回、町内視察2回を開催。
- 生徒　9人

回	講　座　内　容
1	開校式、アイスブレイク、町の概要
2	町のまちづくりについて
3	南風原町の歴史について
4	おもいやりの南風原町①～児童福祉について～（ファミサポ・子ども食堂 等）
5	おもいやりの南風原町②～地域福祉について～（民生委員・高齢者福祉 等）
6	おもいやりの南風原町③～障がい者福祉について～（介護・就労・放課後デイ 等）
7	ちむどんどん！南風原まちまーい　～上村～
8	ちむどんどん！南風原まちまーい　～下村～
9	ゆんたく会　～南風原んちゅぬ主張～　OB・OGとの交流会
10	発表会　～はえばる大学の振り返り～　　修了式

町内視察

まちづくり講話

事業の成果

南風原町の足元をまず見つめ直し、本町のことを多面的に知ることで、これからの南風原町について学生が意見を交わしアイディアを出し、生涯学習として南風原町の文化や産業等について自主的に深く探求するこができた。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
・受講者数:20人	・受講者数:9人

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	127	89					89

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	陸軍病院壕公開活用事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　生涯学習文化課	課長名	野原　学		款	教育費	10
連絡先	889－7399				項	社会教育費	05
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	文化財保護費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民を含む全国民	戦争の悲惨さを知り、平和と命の尊さを学ぶ場として活用を行います。

事業の実施内容

主な経費

・壕管理人報酬	予算額	2，502千円	決算額	2，501千円
・壕管理人期末手当・費用弁償	予算額	616千円	決算額	560千円
・需用費（印刷費・光熱費・修繕料）	予算額	404千円	決算額	284千円
・役務費（保険料）	予算額	11千円	決算額	4千円
・委託料	予算額	9，930千円	決算額	9，918千円
・使用料および賃借料	予算額	19千円	決算額	9千円
・工事請負費	予算額	1，670千円	決算額	1，485千円
・備品購入費	予算額	93千円	決算額	93千円

令和5年度は令和4年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症に対する一部感染症対策を実施しながら、20号壕の一般公開を実施しました。壕内部を通り抜けることを可能とし、質疑応答は外で行うなどして、見学案内を行いました。また、20号壕以外の屋外で見学可能な戦跡案内についても実施しています。

20号壕の安全対策については、新しいパイプ歪み計観測機器の設置、「飯あげの道」の防滑工事を行うとともに、例年通りパイプ歪み計・荷重計・変位計などの観測器機を使用し、安全性を確認するための経過観測も行っています。また、東部消防本部の協力を得て、文化財防火デーに合わせて防火訓練をしました。

壕出入り口周辺の景観整備のための樹木伐採業務を実施し、壕及び黄金森公園を利用しやすい環境づくりに務めました。

20号壕の見学案内については、南風原町の平和ガイド養成講座を受講したガイドの皆さんが説明案内を行っていますこれまでに12回実施したガイド養成講座に149名が修了しています。

現在、約40名のガイドが活動を行っており、午前2名、午後2名の体制で見学者の案内にあたっています。

パイプ歪計挿入施行状況

事業の成果

コロナ禍以前まで年間9,000～10,000人が訪れていた陸軍病院壕の見学者数は、新型コロナの影響が解消されたこともあり、令和3年度（904人）から令和5年度末時点（6,363人）に増加しました。一方で、コロナ禍以前と比較すると、見学者数は70%程度に留まっています。
また、20号壕内部の見学再開により、再度ご来訪する見学者もおり、20号壕内部の見学が待ち望まれていたことを確認しています。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
・陸軍病院壕の見学者数8,000名	・陸軍病院壕の見学者数6,363名

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	15,245	14,854		10,762			4,092

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	公民館活動の充実事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　生涯学習文化課	課長名	野原　学		款	教育費	10
連絡先	889－0568				項	社会教育費	05
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	公民館費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民・サークル活動等公民館利用者など	公民館講座、各種サークル等の事業を行うことにより、町民の生涯学習の向上を図るとともに交流の場として地域の活性化、発展に寄与する。

事業の実施内容

○主な経費

	36,901 千円
・ 報酬、手当(館長,管理事務,用務員,管理員)	10,103 千円
・ 需用費（光熱水費等）	8,187 千円
・ 役務費（通信運搬費等）	681 千円
・ その他（舞台技術操作委託、警備委託等）	17,930 千円

○事業実施内容

- 第44回生涯学習・公民館まつり・第15回自治公民館活動実践発表大会
- 公民館講座18講座を開催。
- 自治公民館出前講座9講座を開催。
- 公民館サークル46団体が活動。

○公民館まつり　サークル舞台発表

○自治公民館実践発表（北丘ハイツ）

事業の成果

「公民館まつり・自治公民館活動実践発表」を実施することにより、自治公民館や公民館利用者、サークル会員の一年間の活動の集大成として舞台の部、展示の部、体験コーナーと日頃の成果を発表する事ができました。また、公民館講座、各種サークル等の事業を行うことにより、町民の生涯学習機会の向上を図ることができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
・来館者数10万人	・来館者数57,559人

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	37,593	36,901					36,901

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	公民館講座事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　生涯学習文化課	課長名	野原　学		款	教育費	10
連絡先	889－0568				項	社会教育費	05
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	公民館費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民および町内の事業所に勤務する者	町民の学習意欲を高め豊かな人間性と創造力を身につけます。

事業の実施内容

○地域学校協働活動推進事業
主な経費
・ 各種講座講師謝礼金　646 千円

（公民館学級講座）全18講座
・ 自分で出来るハンドマッサージ&爪ケア
・ 手ごねパン教室
・ 子ども三線教室
・ スマートフォン講座【初級】
・ バルーンアート
・ 沖縄の野草を見つけよう
・ スマートフォン講座【中級】
・ 島ぞうりアート
・ 整理収納（断捨離）
・ くらしとお金のセミナー（FP講座）
・ 夢ロゴアート
・ 体に優しい発酵おうちごはん
・ 貯筋体操教室
・ 読み聞かせ講座
・ フラワーデザイン講座
・ 正しい歩き方と靴の知識
・ アメリカンフラワーの魅力
・ ドローン教室

（自治公民館出前講座）全9講座
・ 宮城カラオケサークル（宮城）
・ 民舞講座（北丘ハイツ）
・ 沖縄民踊（本部）
・ 沖縄民踊（津嘉山）
・ 沖縄民踊（兼城）
・ 組踊り「立ち方」講座（喜屋武）
・ 子どもさんしん教室（山川）
・ 子供獅子舞講座（宮平）
・ 男の料理 第2弾（宮城）

○フラワーデザイン

○発酵おうちごはん

○ドローン教室

事業の成果

公民館は、各種講座を通して生涯学習の場、豊かな心の育成、仲間づくり・地域づくり等につながり、生活の向上に役立っています。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
・公民館学級講座(20回、内「家庭教育」に関する講座6回)、出前講座(20回)	・公民館学級講座(18回、内「家庭教育」に関する講座4回)、出前講座(9回)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,000	646					646

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	給食材料に係る経費			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　教育総務課	課長名	比嘉 純子		款	教育費	10
連絡先	889－3691				項	保健体育費	06
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	学校給食賄費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立の幼稚園の園児、小学校・中学校の児童・生徒	「食」について正しい理解と習慣を養い、栄養の確保に十分配慮した「おいしく・楽しい・魅力ある学校給食」を実現します。

事業の実施内容

園児児童生徒に給食を提供することで、食事について正しい理解を深め健全な食生活を営むことができる判断力を培い、学校生活を豊かにし、明るい社交性及び共同の精神を養います。また、園児児童生徒の健康の増進を図り、食料の生産・消費についての理解を深めます。

一年間に幼稚園児は一人当たり一食220円で月額3,200円の11ヶ月分、小学生は一人当たり一食248円で月額4,500円の11ヶ月分、中学生は一食275円で月額5,000円の11ヶ月分の給食費を徴収しています。

賄い材料費として、280,125千円を食材等の購入に支出しました。

	予算額	決算額
・需用費（賄い材料費）	285,107千円	280,125千円

中学3年生の特別給食
（ｻｲｺﾛｽﾃｰｷ、さけﾁｰｽﾞﾌﾗｲ、野菜ｿﾃｰ）

七夕の日の給食
（野菜あんかけ、ｼｿﾞごはん、ﾋﾞｰﾌﾝｽｰﾌﾟ、ｾﾞﾘｰ）

・需用費（賄い材料費）280,125千円は、給食費（現年度）より支出いたしました。

事業の成果

安全でおいしい給食の提供や地産地消の取り組みとして、関係機関と連携して町内産、県内産の食材を使った給食を提供しました。新型コロナウイルス感染症による物価高騰による経済的負担軽減支援のため、給食費5ヶ月分の免除を行いました。
給食費については、滞納者への文書催告及び電話催促を強化し、分割納付の促進及び児童手当窓口給付での納付促進により、現年度分徴収率が99.29％（前年度98.52％）、滞納繰越分収納率13.55％（前年度11.21％）となりました。前年度と比較し現年分収納率と過年度分は各上昇しました。また、南風原町学校給食費徴収条例を制定したことにより、今まで徴収困難だった行方不明者や貧困世帯等を減免することが可能となり、支払い能力のある滞納者へより一層集中して徴収業務にあたることが可能となりました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	285,107	280,125				280,125	0

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	調理場運営事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　教育総務課	課長名	比嘉 純子		款	教育費	10
連絡先	889－3691				項	保健体育費	06
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	共同調理場運営費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立の幼稚園の園児、小学校・中学校の児童・生徒	いつも、安全・安心でおいしい給食が提供できるよう、衛生的な施設の維持を図ります。

事業の実施内容

安全・安心でおいしい給食を提供するために、学校給食共同調理場の施設・設備等は常に清潔で、安全に稼働できるようにしておかなければなりません。そのために、人の体に悪影響を与える細菌がいないか定期的に検査したり、機械・設備等が安定的に稼働できるように専門業者に業務委託をしています。

	予算額	決算額
・需用費	2,630千円	2,622千円
・役務費	881千円	872千円
・委託料（野そ等防除委託料等）	12,128千円	11,934千円
・使用料及び賃借料（マイコンスライサー使用料等）	1,155千円	1,144千円
・工事請負費（調理場の増築等）	1,813千円	1,765千円
・備品購入費（給食用配送車等）	9,169千円	9,169千円
・償還金（保護者等への還付金）	34千円	33千円
・公課費（車検時の重量税）	139千円	139千円
合　計	27,949千円	27,678千円

学校へ給食を運ぶ為の配送車を購入

北丘幼稚園の給食センター見学の様子

事業の成果

学校給食衛生安全基準を遵守し、調理員や施設・設備の衛生管理を徹底しました。それにより、児童生徒の適切な栄養摂取による健康の保持、増進を図るための「安全・安心でおいしい」給食を提供することができました。また、老朽化による配送車の購入や安全基準を満たすための野菜を納品チェックする為の検収室の増築工事を行いました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	27,949	27,678					27,678

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	就学奨励事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	小学校費・中学校費	2・3
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	教育振興費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者及び特別支援学級に在級する児童生徒の保護者	学用品費や給食費等の援助をすることで、保護者の就学に対する経済的負担を軽減し、児童生徒の義務教育の円滑化を実現します。

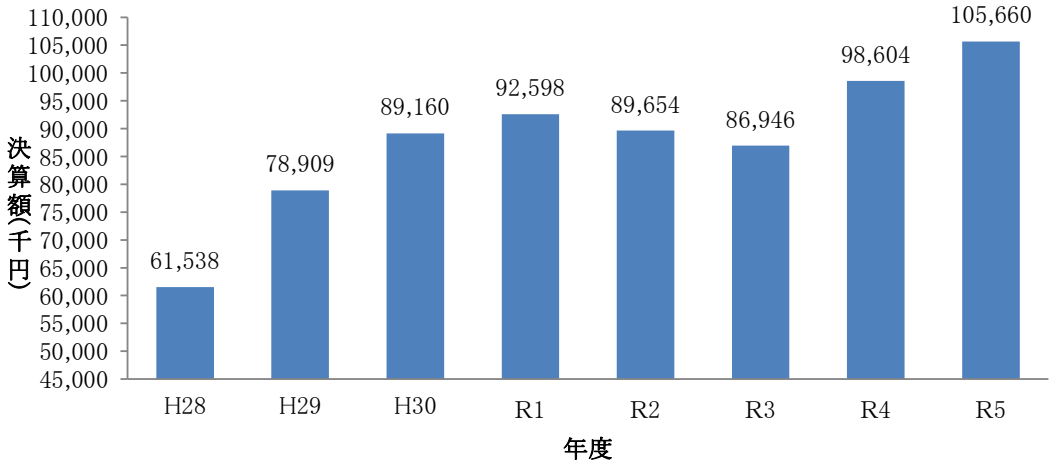
事業の実施内容

就学奨励事業（予算額　106，753千円、決算額　105，660千円）

要保護準要保護児童生徒援助費
○小学校（予算額　59,156千円、決算額　58，780千円）
要保護準要保護児童援助費支給者数
・要保護　2人　　・準要保護　855人
○中学校（予算額　46，592千円、決算額　46，278千円）
要保護準要保護生徒援助費支給者数
・要保護　4人　　・準要保護　413人

特別支援教育就学奨励費（予算額　1,005千円、決算額　602千円）
○小学校（予算額　575千円、決算額　328千円）
支給者数　17人
○中学校（予算額　430千円、決算額　274千円）
支給者数　8人

就学奨励事業費決算額推移



事業の成果

経済的な理由等により就学困難な児童生徒の保護者に対してや、特別支援学級に通うお子様がいる世帯に対して援助をすることにより、児童生徒が義務教育を円滑に受けることに資することができました。また、入学予定者に対して、入学準備金の前倒し支給を行うことにより、より援助者に対して充実した事業となりました。これをふまえて、町内小中学校の全児童生徒にかかる就学援助割合が小学生26％、中学生28％を支援することができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	106,753	105,660	139	12,687			92,834

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	幼稚園就園援助事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	幼稚園費	04
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	幼稚園費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立幼稚園に通う園児のいる世帯で、生活保護世帯及び町民税非課税世帯にあたる世帯。	おやつ代等を援助することで、保護者の就園に対する経済的負担を軽減し、園児の幼稚園生活が円滑に行われるようにします。

事業の実施内容

幼稚園就園援助事業(予算額1,903 千円　決算額　1,887千円)

○町立幼稚園に通う園児で、預り保育を利用している下記に該当する世帯に対し、おやつ代等を援助しました。

・生活保護受給世帯

・町民税非課税世帯

○援助費（予算額1,903千円　決算額1,887千円）

○幼稚園別援助人数

南風原幼稚園
援助人数　18人

津嘉山幼稚園
援助人数　31人

北丘幼稚園
援助人数　25人

翔南幼稚園
援助人数　13人

事業の成果

町立幼稚園に通う生活保護・非課税世帯等におやつ代等の援助を行うことによって、就園に対する経済的負担の軽減を行うことができました。また、就園援助対象者（預かり保育のみ）における就園援助割合が67％の生活保護・非課税世帯等に援助を行うことができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,903	1,887					1,887

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	幼稚園にかかる経費			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	幼稚園費	04
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	幼稚園費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立4幼稚園の園児	町立4幼稚園の教育時間及び教育時間終了後の預かり保育時間を充実させる事で、園児達の心身の発達を助長します。

事業の実施内容

町立の4幼稚園の園児たちが、安心して幼稚園での生活が送れるように、4歳児、5歳児の2年保育を実施しています。幼稚園の教育時間終了後は、共働き等の保護者ニーズに応え預かり保育を実施しています。
予算としては、主に会計年度任用職員等の人件費に係る経費等を支出しました。

●幼稚園決算額合計　133,908　千円

○一般事務費	予算額 17,340 千円	決算額 17,331 千円
○預かり保育事業	予算額 73,759 千円	決算額 73,096 千円
○会計年度任用職員	予算額 44,976 千円	決算額 43,407 千円
○日本スポーツ振興事業	予算額 77 千円	決算額 74 千円

事業の成果

各幼稚園へ専任の園長を配置し、午前の教育時間と午後の預かり保育時間について、充実した環境のもとで園児達の心身の発達を助長することができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	136,152	133,908					133,908

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	各幼稚園にかかる経費			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	幼稚園費	04
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	幼稚園費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立4幼稚園の園児	自・他の命を大切にし、健康・安全な生活習慣、食習慣を身につけさせます。1人1人の特性に応じ発達課題に即した指導を行い、自然や身近な動植物及び対人関係を通して道徳性を培います。

事業の実施内容

町立の4幼稚園の園児たちが、安心して幼稚園での生活が送れるように施設整備の維持（光熱費・園医委託料・消防設備保安委託・園施設修繕費等）や、教材費（行事用、教授用消耗品、飼育動物のえさ代等）に係る経費等を支出しました。

●各幼稚園決算額合計　19,524 千円

○南風原幼稚園	予算額	5,392 千円	決算額	4,978 千円
○津嘉山幼稚園	予算額	6,076 千円	決算額	5,725 千円
○北丘幼稚園	予算額	5,077 千円	決算額	4,895 千円
○翔南幼稚園	予算額	4,364 千円	決算額	3,926 千円

事業の成果

町立4幼稚園における幼稚園の維持管理運営経費(光熱費・消耗品・修繕料・役務費等)の適正な執行を行い事ができました。自然豊かな環境の中、教師やお友達と関わる中で親しみをもつことができました。また、草花への水やり、飼育活動、室内の清掃をみんなと協力してやり遂げ、日々の活動の中からあいさつ・持ち物の片付け・トイレなど基本的な生活習慣を身につけることができました。朝の会や帰りの会、集会などで話を聞く時の姿勢を日常的に確認させることで、人の話を最後まで聞くことができるようになりました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	20,909	19,524					19,524

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	英会話教育の充実事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	教育総務費	01
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	事務局費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立小・中学校に通う児童・生徒	小学校で英語に触れたり、外国の文化に慣れ親しむ体験活動を行い、中学校で外国人とのコミュニケーションにより英語に親しみ、国際社会で使える英語を習得させます。

事業の実施内容

○小学校英語指導助手報酬（予算額14，799千円、決算額14，653千円）
〈配置人数〉
・南風原小学校　1名　・津嘉山小学校　1名　・北丘小学校　1名　・翔南小学校　1名
・南風原小学校と北丘小学校の兼務　1名　・津嘉山小学校と翔南小学校の兼務　1名　合計6名

〈決算額内訳〉
・報酬　12，169千円　・期末手当　2，305千円　・通勤手当　179千円

○外国人英語指導助手（予算額7，923千円、決算額7，919千円）
〈配置人数〉
・南風原中学校　1名（ALT）　・南星中学校　1名（JTE）

〈決算額内訳〉
・報酬　7，392千円　・期末手当　503千円　・通勤手当　24千円

外国人英語指導助手（左）による授業風景

事業の成果

小学校英語指導助手・外国人英語指導助手の配置により、小学校は楽しみながら、中学校は外国人とコミュニケーションをとりながら英語に親しみ、英語の基礎学力の向上に貢献しました。
中学校においては、沖縄県学力到達度調査において本町の平均正答率が県の平均正答率より中学1年生が－1．1ポイント下回り、2年生が1．2ポイント上回る結果となりました。小学校においては、アンケート調査で「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたい」と思う児童の割合が86．5％となり、外国への興味・関心を高めることができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
【小学校】外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う児童の割合：80%以上 【中学校】沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差　中学校1年・2年　英語＋0.0ポイント以上	【小学校】外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う児童の割合：86.5% 【中学校】沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差　中学校1年・2年　英語　：＋0.1ポイント

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	22,722	22,572		14,919			7,653

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	学校教育事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	教育総務費	01
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	事務局費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	幼稚園の幼児、小学校の児童、中学校の生徒及び教諭	学校教育を円滑に運営するため、各種委員会の開催、施設の修繕や維持管理委託などを行います。

事業の実施内容

- 報酬　予算額　7,151 千円　決算額　6,771 千円
  教育支援委員会、いじめ防止等専門委員会の各委員報酬及び学校情報推進員の報酬として支出しました。
- 職員手当等　予算額　1,312 千円　決算額　1,311 千円
  会計年度任用職員3名の期末手当として支出しました。
- 報償費　予算額　6,576 千円　決算額　6,576 千円
  就学時健診の医師、登校支援委員、部活動等外部指導員への謝礼金として支出しました。
- 旅費　予算額　242 千円　決算額　197 千円
  各委員会の委員、会計年度任用職員への費用弁償として支出しました。
- 需用費　予算額　1,008 千円　決算額　970 千円
  就学時健診で使用する消耗品、知能検査用紙、防犯ブザーなどの購入費として支出しました。
- 役務費　予算額　205 千円　決算額　151 千円
  学習支援ボランティア及び学校備品の保険料として支出しました。
- 委託料　予算額　6,718 千円　決算額　6,486 千円
  ストレスチェック、知能検査、就学時健診、学校産業医、スクールロイヤーやパソコン保守管理などの委託料として支出しました。
- 使用料及び賃借料　予算額　2,396 千円　決算額　2,312 千円
  学校用サーバー等の賃借料やライセンスの使用料として支出しました。
- 備品購入費　予算額　968 千円　決算額　888 千円
  ネットワーク機器等の備品購入費として支出しました。
- 負担金、補助金等　予算額　8,583 千円　決算額　8,499 千円
  主な支出
  - 町学力向上推進委員会補助金　1,490 千円
  - 適応指導教室事業設置負担金　1,450 千円
  - 島尻地区教育研究所負担金　4,521 千円
- 補償、補填及び賠償金　予算額　1,000 千円　決算額　1,000 千円

事業の成果

・いじめ問題対策委員会を開催し、いじめの防止等に関する機関及び団体の連携に関し協議をするとともに、当該機関及び団体相互の連絡調整を図りました。また、いじめ防止等専門委員会では、いじめの防止等のための対策の推進に関する事項について審議し、いじめ防止に向けて取り組みました。
・令和6年4月に小学校入学予定のお子さんを対象に、健康状態を把握し、保健上必要な助言等を行うため、就学時健康診断を実施しました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	36,159	35,159					35,159

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	特別支援教育支援員（ヘルパー）配置事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	小学校費・中学校費・幼稚園費	2・3・4
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	学校管理費・幼稚園費	01

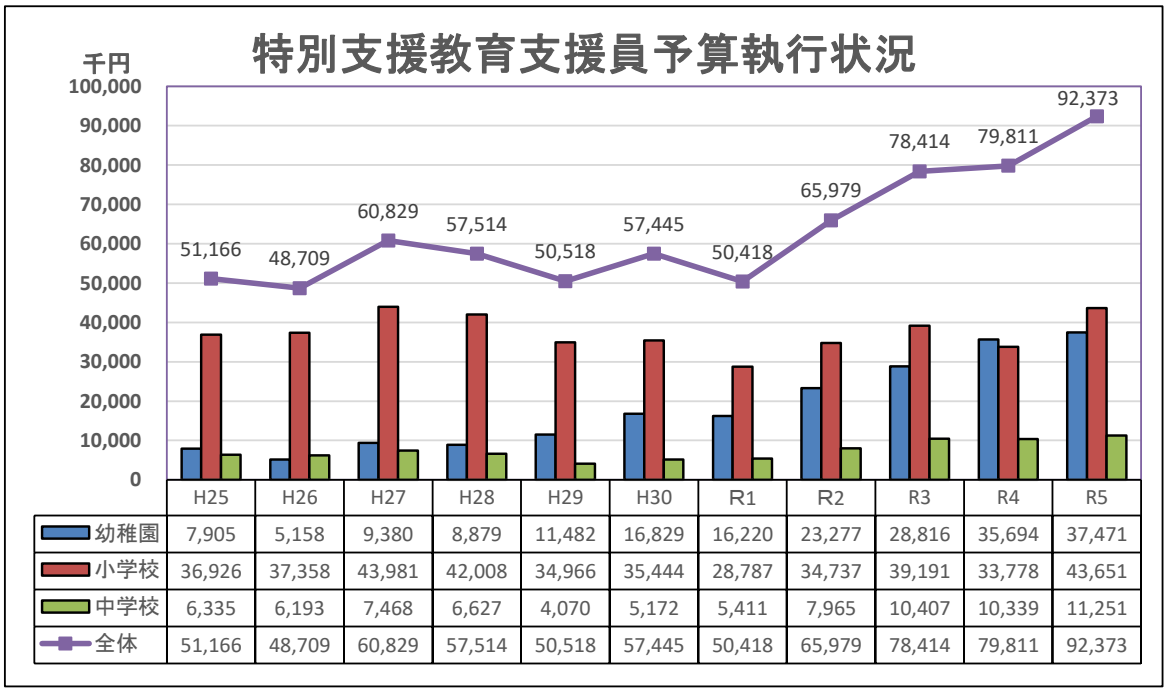
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立幼稚園、小学校、中学校に通う特別な支援を要する園児及び児童生徒	対象の園児及び児童生徒が安全に学校生活を送れるよう、特別支援教育支援員を配置し支援を行います。

事業の実施内容

○小学校（予算額　44，392千円、　決算額　43，651千円）
配置人数　23名
・南風原小学校　5名　　・津嘉山小学校　7名
・北丘小学校　　6名　　・翔南小学校　　5名

○中学校（予算額　11，510千円、　決算額　11，251千円）
配置人数　6名
・南風原中学校　3名　　・南星中学校　　3名

○幼稚園（予算額　37，886千円、　決算額　37，471千円）
配置人数　25名
・南風原幼稚園　5名　　・津嘉山幼稚園　8名
・北丘幼稚園　　5名　　・翔南幼稚園　　7名



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
幼稚園	7,905	5,158	9,380	8,879	11,482	16,829	16,220	23,277	28,816	35,694	37,471
小学校	36,926	37,358	43,981	42,008	34,966	35,444	28,787	34,737	39,191	33,778	43,651
中学校	6,335	6,193	7,468	6,627	4,070	5,172	5,411	7,965	10,407	10,339	11,251
全体	51,166	48,709	60,829	57,514	50,518	57,445	50,418	65,979	78,414	79,811	92,373

事業の成果

町立幼稚園、小学校及び中学校へ特別支援教育支援員を配置したことで、特別な支援を要する園児及び児童生徒が安全な園生活、学校生活を送ることができました。
また、夏休み期間中に特別支援教育支援員に対して、特性に応じた支援方法等の研修を行い支援員としての能力の向上を図りました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援教育支援員の対応への満足度　80％以上	アンケートの結果、特別支援教育支援員の対応への満足度95．9％の成果がありました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	93,788	92,373		72,370			20,003

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	学力調査事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	教育総務費	01
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	事務局費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立小・中学校の児童生徒、教諭等	学力調査等により個々の学力を把握することで、一人ひとりの課題を明確にし、学習の目的意識の醸成をはじめ、「わかる授業」の強化や家庭学習の習慣化を通して「確かな学力」の向上に繋げます。

学力調査事業委託料（予算額　11，320千円　　決算額　10，763千円　）

○学力調査等により個々の学力を把握することで、一人ひとりの課題を明確にし、学習の目的意識の醸成をはじめ、「わかる授業」の強化や家庭学習の習慣化を通して「確かな学力」の向上に繋げるため、学力調査等を実施しました。

また、リーディングスキルテストにより読解力の課題を把握するとともに、外部講師による公開授業を実施し、読解力の向上を取り入れた授業改善に取り組みました。

①標準学力調査の実施
・小学校4校　2年：国語・算数　　決算額　787千円

②学力調査の実施
・中学校2校　3年：国語・数学・理科・社会・英語　　決算額　742千円

③到達度確認テストの実施
・中学校2校　1年～3年
決算額　4，579千円

④リーディングスキルテストの実施
・小学校4校　5年～6年
・中学校2校　1年～2年
・教員　決算額　3，498千円

⑤外部講師による講演会等の実施
決算額　287千円

⑥先進地視察研修の実施
決算額　870千円

【外部講師による講演会の様子】

事業の成果

標準学力調査、学力調査、到達度確認テスト、リーディングスキルテストについて、対象の小中学校で計画どおり実施する事ができました。また、外部講師による講演会も計画通りにおこない、学力向上による授業改善に取り組んでいる先進地（板橋区）への視察研修も実施しました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
①標準学力調査の平均正答率が目標値以上の科目数　・小学2年：2科目/2科目 【小学校】沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差の合計　算数-1.0ポイント以上 【中学校】沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差の合計　数学＋1.0ポイント以上	・標準学力調査の平均回答率が目標値以上の科目数 小学校：2年（1科目）、3年（0科目） ・【小学校】沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差の合計 （小5 算数 -1.4、小6 算数 -1.5） ・【中学校】沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差の合計 （中1 数学－1.1、中2 数学＋0.4）

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	11,320	10,763		7,914			2,849

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	学校ICT推進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889-6181				項	小学校費・中学校費	02・03
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	教育振興費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	小・中学校にICT環境を整備します。	小・中学校に電子黒板等のICT機器を整備し、学力向上を目的とした魅力ある授業づくりを目指します。

事業の実施内容

小中学校にICT支援員を配置し、電子黒板やタブレットなどのICT機器を活用した授業の他、オンラインでの学習や行事などの支援を行いました。また、支援員による様々な研修会を行い、教諭のICTスキルの向上に努めました。その他では、新たに増えたクラスへの電子黒板一式の整備や普通教室へ入れない児童生徒の学力向上を図るため、特別教室へICTネットワークの整備を実施しました。

小中学校決算合計額　　13,398　千円

○ICT支援員委託料（1名）
小学校（予算額　4，437千円、決算額　4，437千円）
中学校（予算額　2，219千円、決算額　2，218千円）

○学校通信ネットワーク整備委託料
小学校（予算額　1，859千円、決算額　1，859千円）
中学校（予算額　1，320千円、決算額　1，320千円）
・小学校：8教室、中学校：5教室

○備品購入費
小学校（予算額　3，564千円、決算額　3，564千円）
・電子黒板一式（3台）

↑　新たに増えたクラスへ配置した電子黒板一式

事業の成果

ICT支援員を配置したことで、教諭や児童・生徒のICT機器に対する苦手意識が軽減され、ICT機器の授業での活用、教材づくり等の支援に役立てることができました。また、一部の行事をオンラインで行うなど、ICT支援員が積極的に支援することで、スムーズに実施することができました。
ICT機器においては、新たに増えたクラスへ電子黒板一式の整備を図り、学習環境の整備を行いました。
また、特別教室へICTネットワークの整備を行い、普通教室へ入れない児童生徒の学びの保障及び学力向上を図ることができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった（授業でICT機器を活用して指導できる）と答えた割合：80％以上 ・児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすいと答えた割合：80%以上	・アンケートの結果、94.29％が習熟度が上がったと答え、目標を達成することができた。 ・アンケートの結果、83.77%が電子黒板等を整備したことで授業が楽しく分かりやすかったと答えており、目標を達成することができた。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	13,399	13,398		10,718			2,680

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	小学校（学校管理費・教育振興費）			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	小学校費	02
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	学校管理費・教育振興費	1・2

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	小学校の児童	小学校に通う児童が学習しやすい環境をつくります。

事業の実施内容

町内にある4小学校のこどもたちが、安心して学校生活を送れるように、施設設備の維持（光熱水費・消防用設備管理委託・学校施設修繕費等）、児童健康診断費用、各教科（教育振興備品・各種大会派遣費等）などにかかる経費を支出しました。
また、4小学校で消防用設備等の保守管理委託料は14,226千円、教育振興備品は1,131千円を支出しました。

小学校決算合計額 114,664 千円 （内、286千円R4繰越分）

○南風原小学校	予算額 29,678 千円 （内、71千円R4繰越分）	決算額 28,307 千円 （内、71千円R4繰越分）
○津嘉山小学校	予算額 34,246 千円 （内、215千円R4繰越分）	決算額 32,773 千円 （内、215千円R4繰越分）
○北丘小学校	予算額 33,954 千円	決算額 30,946 千円
○翔南小学校	予算額 23,858 千円	決算額 22,637 千円

令和5年度に購入した教育振興備品

事業の成果

町立4小学校の学校管理・運営等で使う物品の購入・修繕・役務費・使用料及び賃借料等の学校管理費、授業や学校行事等で使う教育振興費を、効率的な予算執行に努めた結果、教育環境の整備を図ることができ、児童の健全育成及び学力向上に繋げることができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	121,735	114,664					114,664

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	中学校（学校管理費・教育振興費）			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	中学校費	03
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	学校管理費・教育振興費	1・2

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	中学校の生徒	中学校に通う生徒が学習しやすい環境をつくります。

事業の実施内容

町内にある2中学校の生徒たちが、安心して学校生活を送れるように、施設設備の維持（光熱水費・消防用設備管理委託・学校施設修繕費等）、生徒健康診断費用、各教科にかかる経費（教育振興費の備品・各種大会派遣費等）を支出しました。
また、2中学校で消防用設備等の保守管理委託料は7,635千円、教育振興備品は1,350千円を支出しました。

中学校決算合計額　61,594　千円　（内、72千円R4繰越分）

○南風原中学校　予算額 34,933 千円（内、72千円R4繰越分）　決算額 33,272 千円（内、72千円R4繰越分）

○南星中学校　予算額 29,536 千円　決算額 28,322 千円

令和5年度に購入した振興備品（体育）

事業の成果

町立2中学校の学校管理・運営等で使う物品の購入・修繕・役務費・使用料及び賃借料等の学校管理費、授業や学校行事等で使う教育振興費を、効率的な予算執行に努めた結果、教育環境の整備を図ることができ、生徒の学力向上及び健全育成に繋げることができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	64,469	61,594					61,594

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	学習支援員等配置事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　学校教育課	課長名			款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	小学校費・中学校費	2・3
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	学校管理費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立小・中学校に通う学習支援を必要とする児童・生徒	教員免許を有する者を学習支援員として各校に派遣し、担任教諭の助手として、各学級及び各学年で遅れのある児童生徒への学習支援を行い、学力の向上を図ります。

事業の実施内容

○小学校　（予算額　20，275千円、決算額　19，897千円）
〈配置人数〉
・南風原小学校 2名　・津嘉山小学校 2名　・北丘小学校 2名　・翔南小学校 2名

〈決算額内訳〉
・報酬　16，502千円　　・期末手当　3，207千円　　・通勤手当　188千円

○中学校　（予算額　10，851千円、決算額　10，789千円）
〈配置人数〉
・南風原中学校2名　　・南星中学校2名

〈決算額内訳〉
・報酬　8，918千円　　・期末手当　1，750千円　　・通勤手当　121千円

学習支援員による授業風景

事業の成果

町立4小学校及び2中学校へ学習支援員を配置することにより、個別指導や補習指導支援を行うことができ、児童生徒の基礎学力向上および定着のための環境整備を図ることができました。
沖縄県学力到達度調査で県の平均正答率より、小学校については数学が−1．45ポイント、中学校については算数が−0．75ポイント下回る結果となりました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
【小学校】沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差の合計　算数−1.0ポイント以上 【中学校】沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差の合計　数学＋5.1ポイント以上	【小学校】沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差の合計　算数:−1.45ポイント 【中学校】沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差の合計　数学:−0.75ポイント以上

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	31,126	30,686		24,187			6,499

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	幼稚園体育活動充実事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　教育総務課	課長名	比嘉　純子		款	教育費	10
連絡先	889－2620				項	幼稚園費	04
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	幼稚園費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立4幼稚園5歳児及び4歳児	専門的な知識を持つ講師による体育指導を実施し、運動することの楽しさを教え、さらには運動能力を向上させます。

事業の実施内容

・委託料　　予算額　1，895千円　　決算額　1，839千円
※プロポーザルの際の提案額により、予算額より56千円減

○南風原町立幼稚園児5歳児及び4歳児クラスを対象に、各園体育指導を実施（5歳児27回、4歳児9回）し、模倣遊びやバルーン遊びで運動することの楽しさを学び、平均台・鉄棒・跳び箱運動で運動能力の向上に努めました。

○年間の委託業務数の中で、幼稚園職員への体育指導（2回）を行いました。

項目	令和4年度		令和5年度	
	人数	割合	人数	割合
5歳児クラス幼児数	340人	－	337人	－
逆上がり習得者	145人	42.6%	181人	53.7%
跳び箱3段習得者	301人	88.5%	313人	92.9%
体育遊びが好きな人（アンケート）	320人	94.1%	317人	94.1%

・保護者アンケート

項目	割合
お子さんが体育指導（体育遊び）を楽しみにしていた	94.8%
お子さんの運動能力が上がったと感じる	95.8%
体育指導（体育遊び）はよい取り組みだと思う	98.7%

事業の成果

指導について事前に各園と受託事業者と調整を行い、日程等の実施スケジュールを組むことができました。前年度と比べると、逆上がり習得者、跳び箱3段習得者の割合が増加しています。
保護者アンケートでも体育指導（体育遊び）はよい取り組みだと思うと、98.7％の人が回答しています。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
運動する楽しさを実感したか(80％以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	体育遊びが好きな人（アンケート）　94.1%

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,895	1,839		1,471			368

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	小学校照明LED化事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　教育総務課	課長名	比嘉　純子		款	教育費	10
連絡先	889－2620				項	小学校費	02
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	学校建設費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民・翔南小学校児童	避難箇所に指定されている翔南小学校体育館を避難所として有効な調光式LED照明に更新し避難生活環境の質の向上を計る目的

事業の実施内容

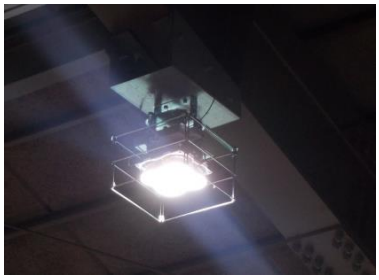
○翔南小学校体育館LED照明設置工事　（予算額　10,748千円、決算額10,133千円）

○着手前

○アリーナ　既設高天井照明（ハロゲン）

○完成後

主な工事内容
アリーナ照明（LED）　26台
一般照明、舞台照明、避難誘導灯



○アリーナ　高天井照明（LED）

事業の成果

翔南小学校体育館にある既存照明（ハルゲン灯、蛍光灯）を調光式のLED照明へ切り替えて避難所として有効な照明とする事が出来きました。また、照明をLED化することで低炭素化社会の実現にも貢献しています。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	10,748	10,133	0	0	10,100		33

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	北丘小学校体育館等整備事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　教育総務課	課長名	比嘉　純子		款	教育費	10
連絡先	889－2620				項	小学校費	02
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	学校建設費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	北丘小学校の児童	老朽化した体育館の建て替え及びプール施設を改修する事で、児童が安全安心に活動できる環境づくりのため、体育館とプールを整備する。

事業の実施内容

令和4年度北丘小学校屋内運動場（体育館）の改築工事、北丘小学校プール施設改修工事を令和5年度に繰り越しました。北丘小学校プール施設改修工事を令和5年9月に完了しています。北丘小学校屋内運動場（体育館）については、令和5年度中に完成できず、令和6年度へ事故繰越し手続きを行い、完成に向けて事業を進めています。

○令和4年度北丘小学校屋内運動場改築事業【繰越】（予算額　458,191千円、決算額322,322千円）
○令和5年度北丘小学校屋内運動場改築事業（予算額　51,722千円、決算額0千円）

○プール施設改修工事

○プール管理棟

○濾過装置

体育館イメージ図

事業の成果

令和4年度　　繰り越し工事の北丘小学校プール施設改修工事を令和5年9月に完了
北丘小学校体育館改築工事については事故繰越しで令和6年8月完了

令和5年度　　解体工事及び周辺整備工事については繰越しで令和6年度完了予定

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	509,913	322,322		97,583	174,501		50,238

３　ちむぐくるでともに
つくる福祉と健康のまち

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	社会福祉団体育成事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	社会福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	社会福祉協議会、民生委員連合会、沖縄県市町村総合事務組合災害弔慰金等負担金	住み慣れた地域で健康で安心した生活を送れるよう、社協をはじめ各福祉団体と協働で地域福祉を推進し「ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち」をめざします。

事業の実施内容

社会福祉協議会、民生委員連合会への補助金交付を行うことにより、福祉活動の協働・推進・支援を行いました。

●南風原町社会福祉協議会への助成　100，077千円

（内訳）①運営補助金　76，494千円

・職員の人件費、役務費、県社協負担金、通信運搬費、雑費、委託費となっています。

②支えあうまちづくり事業補助金　16，227千円

・主な活動実績として、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）を9人配置し、地域とともに積極的な関わりを行うことによって福祉課題を解決しました。相談支援の件数は訪問が633件、来所が117件、電話985件、その他が155件、合計で1，890件の延べ相談件数となりました。

③福祉総合相談事業補助金　7，266千円

・町民の抱える心配ごとの解決を図るため、一般相談員を配置し適切な助言・援助を行うとともに法律相談、司法書士相談を実施。本年度の主な相談件数は生計に関する事3，376件、医療・健康に関する事222件、家族に関する事212件となっており、その他と合計して延べ4，752件の相談を受け問題解決に取り組みました。

④ボランティアセンター運営事業　90千円

・「福祉教育の推進」では福祉教育連絡会や町内教諭等福祉研修会の開催、福祉教育推進事業助成等を行いました。「ボランティア養成研修の充実」では、10代のボランティア研修会及び、手話ボランティア養成講座を開催しました。その他「ボランティアセンター基盤整備」ではボランティアの斡旋・活動支援等を行いました。

●民生委員児童委員連合会補助金　6，861千円

民生委員・児童委員の活動状況は、主な内容別相談として日常的な支援が122件と最も多く、次いで健康・保健医療に関する事が57件、生活環境に関する事が32件、子どもの教育・学校生活に関する事が29件となっています。分野別相談・支援件数は、高齢者に関する事が262件、子どもに関することが46件、障害者に関する事が29件、その他91件で合計428件の相談支援件数となっています。毎月1回の定例会の実施や各種研修会へ参加をしました。

●沖縄県市町村総合事務組合災害弔慰金等負担金　80千円

事業の成果

「地域福祉の推進を図る中核的組織」である社会福祉協議会、地域住民・関係機関・団体及び社会福祉施設等との連携を担う民生委員連合会に補助を行う事により、福祉のまちづくりの協働・推進が図られ町民の福祉向上に貢献できました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	113,609	107,018	2,250				104,768

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	国民健康保険事業（国民健康保険特別会計）			予算科目	会計	国民健康保険特別会計	02
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款		
連絡先	889－1798				項		
目　標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち				目		

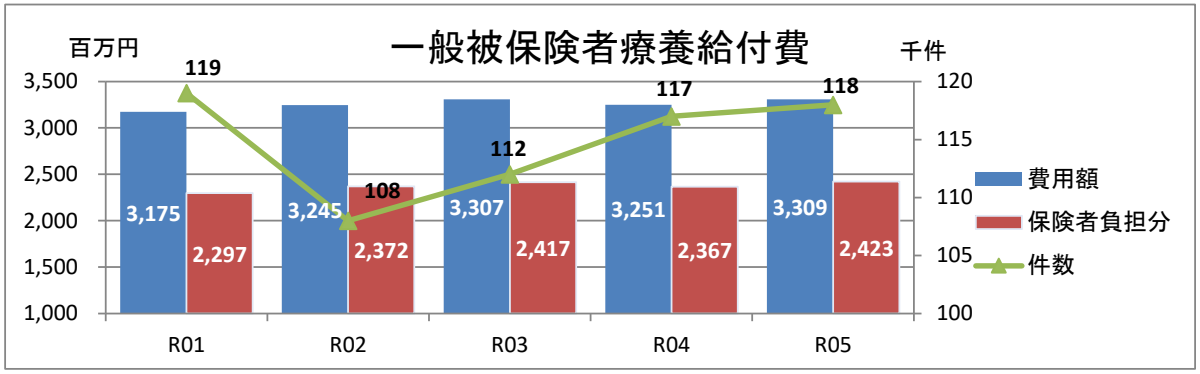
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	国民健康保険の加入者（被保険者）が病気やケガ、出産等により医療費等がかかった場合に保険給付を行います。	病気やケガにかかる医療等に対して保険給付を行うことにより、被保険者の経済的負担や心理的不安が軽減され、健康の増進や生活の安定を図ります。

事業の実施内容

病気やケガ等により医療機関で治療や投薬を受けると、被保険者はかかった医療費の3割を自己負担します。（70歳以上は2割又は3割、未就学児は2割を自己負担します。）残りの医療費は町の国保特別会計から支払われます。

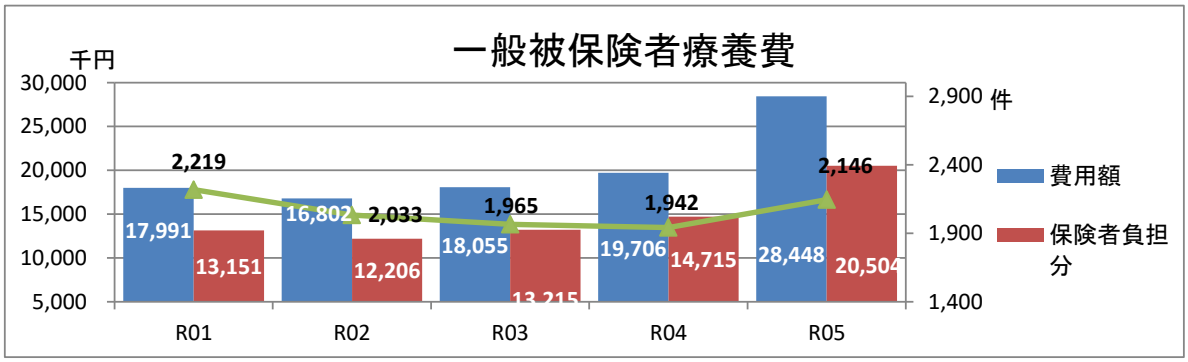
◆ 一般被保険者療養給付費　（2款1項1目）　（単位：千円）

件数	費用額	保険者負担分
118,422	3,308,989	2,422,556



◆一般被保険者療養費（2款1項3目）　（単位：千円）

件数	費用額	保険者負担分
2,146	28,448	20,504



◆一般被保険者高額療養費（2款2項1目）　（単位：千円）

件数	保険者負担分
5,499	425,428

◆一般被保険者高額介護合算療養費（2款2項3目）（単位：千円）

件数	保険者負担分
16	548

◆出産育児一時金（2款4項1目）　（単位：千円）

件数	保険者負担分
54	26,767

◆葬祭費（2款5項1目）　（単位：千円）

件数	保険者負担分
31	620

次ページへ続く　→

事業の実施内容

◆傷病手当金（2款6項1目）

件数	保険者負担分
4	93

（単位：千円）

◆国民健康保険事業費納付金（3款）　1,414,094　千円

平成30年度に始まった国民健康保険の県単位化に伴い、県が市町村ごとに決定した国保事業費納付金を、南風原町の納付金として県へ納付しました。

◆総務費 総務管理費 一般管理費（1款1項1目）　職員給与費等　121,617　千円

◆保険税収納率向上に係る経費　（1款2項2目）　11,958　千円

収納活動の円滑な実現が図られるよう納付指導員を4人採用し、納期内納付を推進するとともに滞納者等を対象に次のことを行いました。

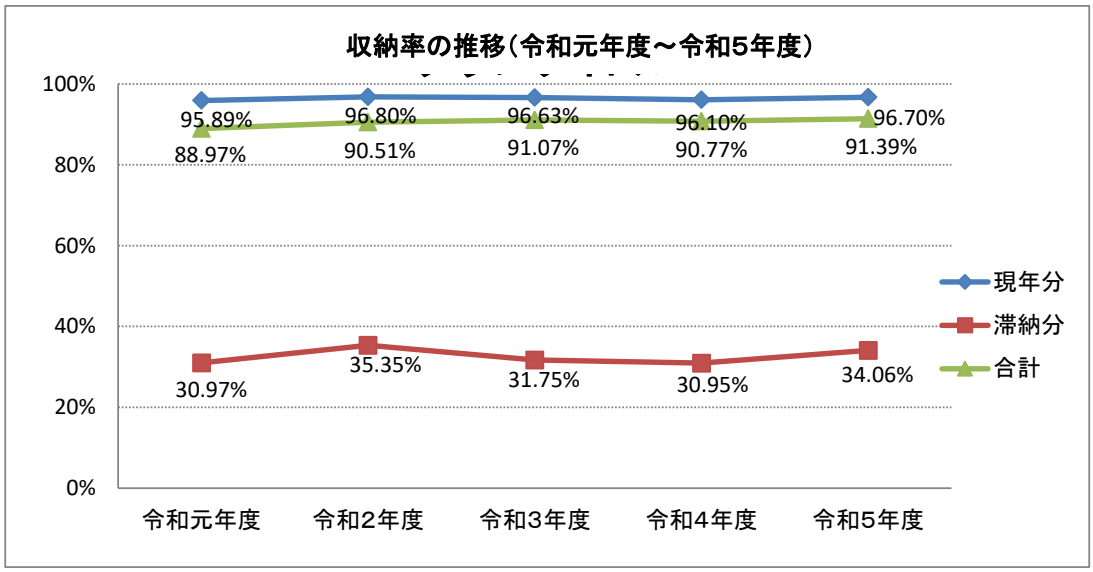
（1）夜8時までの夜間窓口を開設（毎週木曜日）し、納税相談等に利用しやすい環境づくりの実施。
（2）各地区に担当納付指導員を配置し、個別による納付相談の実施。

（3）電話による催促、文書の送付、呼び出し等による納税相談の実施。

（4）滞納者の生活状況、資産、収入の調査を行い、滞納処分（債権差押え）による徴収の強化。
生活困窮世帯からの相談には、社会福祉協議会相談員等との連携により、計画的に国保税の納付ができる環境づくりに努めました。

（収納率の推移）　単位（%）

年度	現年分	滞納分	合計
令和元年度	95.89	30.97	88.97
令和2年度	96.8	35.35	90.51
令和3年度	96.63	31.75	91.07
令和4年度	96.1	30.95	90.77
令和5年度	96.7	34.06	91.39



◆ 特定健康診査等事業　（6款1項1目）

対象者

南風原町国民健康保険被保険者のうち、特定健康診査実施年度中に40歳から74歳となる者。

内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病予防のための健診・保健指導を行い、自らの生活習慣における課題を認識して行動変容と自己管理を行うとともに、健康的な生活を維持することができるようサポートします。

特定健康診査等委託料　15,849千円　報酬・賃金・報償費等 20,780千円
その他 5,982千円

合計　42,611千円

次ページへ続く →

事業の実施内容

【健診項目】

1. 基本的な健診項目

身体測定(身長、体重、BMI、腹囲)、理学的検査(身体診察)、血圧測定、血液化学検査(中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール)、肝機能検査(GOT、GPT、r―GTP)、血糖検査(空腹時または随時)、HbA1c検査、尿検査(尿糖、尿蛋白)、腎機能検査(血清クレアチニン)、血清尿酸検査

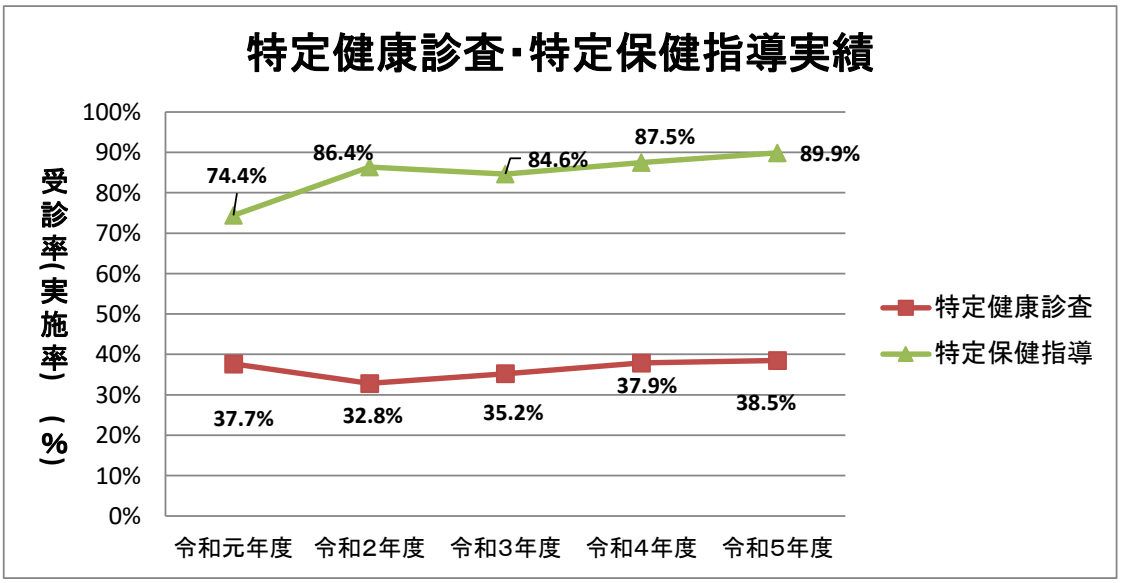
2. 詳細な検査の項目
心電図、眼底検査、貧血検査(赤血球数、血色素量[ヘモグロビン値]、ヘマトクリット値)のうち、一定の基準の下、医師が必要と判断したものを選択

3. 二次健診の項目
75g糖負荷検査、頸部エコー検査、血圧脈波検査(ABI、PWV)、微量アルブミン尿検査

特定健康診査・特定保健指導実績一覧表

項目 / 年度	特定健康診査			特定保健指導		
	対象者	受診者	受診率	対象者	実施者	実施率
R01	5,219	1,965	37.7%	258	192	74.4%
R02	5,222	1,715	32.8%	337	291	86.4%
R03	5,228	1,842	35.2%	241	204	84.6%
R04	5,101	1,935	37.9%	256	224	87.5%
R05	5,068	1,949	38.5%	267	240	89.9%

※上記実績は法定報告によるものです。令和5年度は法定報告がまだの為、R6.6月末現在値となっています。



事業の成果

〈給付に係る経費〉
被保険者への保険給付等を実施する事により、医療の普及、保健の向上、生活の安定を図り、健康の保持・増進に寄与しました。
〈保険税収納率向上に係る経費〉
収納率(合計)　令和3年度 91.07%　令和4年度 90.77%　令和5年度 91.39%
厳しい社会情勢の中、納税者の国保制度に対する深い理解と関係各課等と連絡を密にした徴収の取り組み等により、収納率は対昨年度より0.62ポイント上がりました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,665,842	4,535,454	357	3,058,636		10,500	1,465,961

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	高齢者医療対策費			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	民生費	03
連絡先	889－1798				項	老人福祉費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	高齢者医療対策費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	医療保険加入者で75歳以上の人又は65歳以上の一定以上の障がいをお持ちの人。	後期高齢者医療制度の安定的運営を維持することを目的とします。

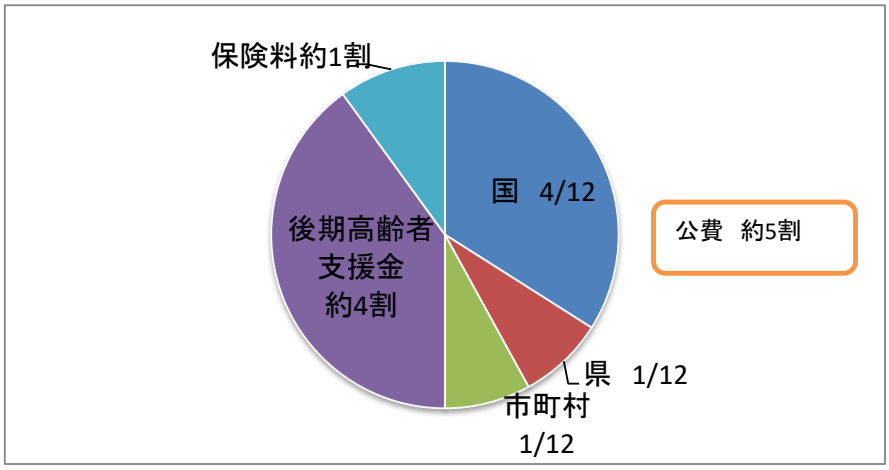
事業の実施内容

後期高齢者医療制度の安定的運営を目指して、保険者である沖縄県後期高齢者医療広域連合へ療養給付費のほか事務費、基盤安定（保険料軽減対策）などの負担金を支出しています。

◆ 後期高齢者医療制度に係る経費（決算額）

・会計年度任用職員報酬等（保健師、看護師）	6,369 千円
・消耗品費	36 千円
・公用車リース料	420 千円
・後期高齢者保険料保険基盤安定負担金繰出金	67,114 千円
・後期高齢者療養給付費負担金(現年度分)	269,672 千円
・後期高齢者医療広域連合負担金	26,936 千円
・後期高齢者特別会計へ事務費等繰出金	14,183 千円
・はり、きゅう、あん摩、マッサージ補助金	160 千円
合　計	384,890 千円

【参考　後期高齢者医療制度の財政の全体のイメージ】



事業の成果

これまでの医療費適正化事業に変わり、令和2年度より高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施が始まりました。保健師が健診データを分析し、看護師が保健指導・長寿健診受診勧奨を実施し、生活習慣病を重症化させないように努めることができました。後期高齢者の医療給付費・事務費等の費用の一部を負担することにより後期高齢者医療制度の安定的運営を維持することができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	385,215	384,890	0	50,335		6,965	327,590

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	住民健診（健康診査）事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち				目	成人保健対策費	05

事業の目的

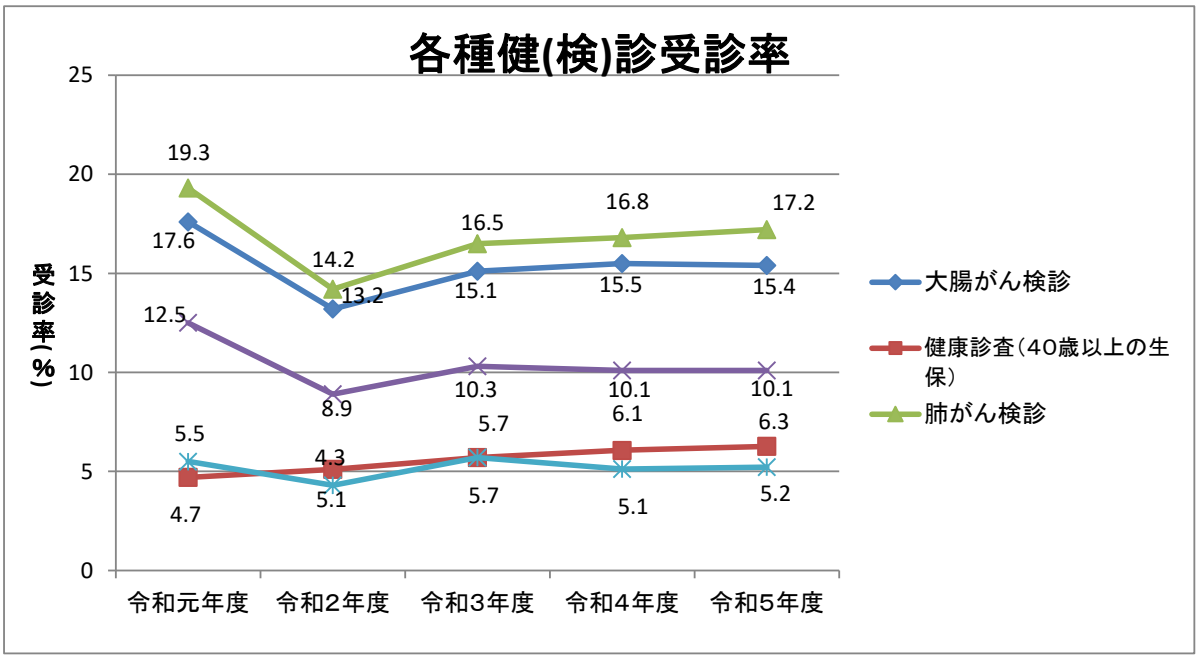
対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
40歳未満の方で、学校や職場等で健康診査を受ける機会がない方、及び40歳以上の生活保護受給者を対象に受診料を助成します。	受診料を助成し、経済的な面で受診しやすい環境を整えることで、町民の健康の保持と病気の早期発見、適切な医療の確保と、健康寿命の延伸を図ります。

事業の実施内容

40歳未満の方で、学校や職場などで健康診査を受ける機会がない方、及び40歳以上の生活保護受給者を対象に、住民健康診査（身長・体重・腹囲・尿検査・血液検査・医師の診察）を行います。希望者は、胃、肺、大腸がん検診及び眼底、心電図検査が受診できます。

住民健診(健康診査)事業費

基本健診委託料（40歳未満・生保）	2,811 千円
胃がん検診委託料	7,904 千円
肺がん検診委託料	6,930 千円
大腸がん検診委託料	4,177 千円
その他	1,224 千円



※40歳未満健診の受診率は、対象者名簿により算出しています。
※40歳以上で生活保護の方の健診の受診率は、健康増進事業費補助金事業実績報告より算定しています。
※各種がん検診受診率は、医療機関実績報告によりRKKシステムにて算定しています。（各種がん検診受診率は、今回作成分より算出方法を変更しています。）

事業の成果

各種検診を医療機関への委託により実施した結果、要注意者、要治療者等を早期に発見し、早期治療・事後指導に繋げることができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	26,110	23,046		192			22,854

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

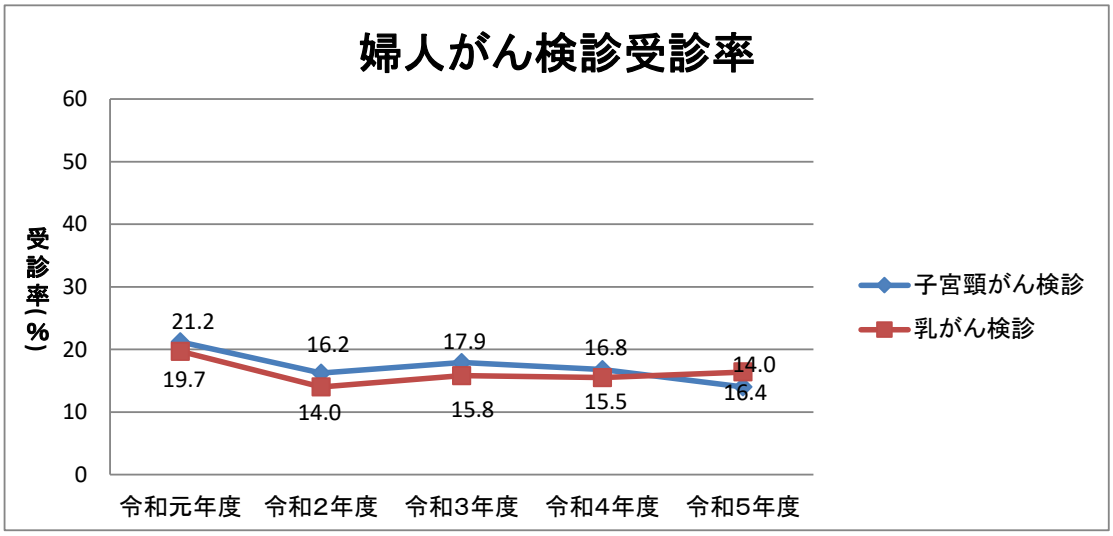
事業名	婦人がん検診事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち				目	成人保健対策費	05

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	職場等で婦人がん検診を受診する機会のない女性を対象としています。子宮がん検診は20歳以上、乳がん検診は40歳以上の受診料を助成します。	受診料を助成し経済的な面で受診しやすい環境を整えることにより、婦人がんの早期発見・早期治療に役立て、町民の健康の保持・増進を図ります。

事業の実施内容

○婦人がん検診事業費

婦人がん検診委託料	9,680 千円
婦人がん検診通知等（通信運搬費）	56 千円
その他	286 千円



※受診率＝医療機関実績報告によりRKKシステムにて算定しています。
※今回作成分より算出方法を変更しています。

○女性特有のがん検診推進事業

この事業は、がんの早期発見と正しい健康意識の普及及び啓発を図り、健康保持・増進を図るため、がん検診受診率を50％に上げることを目的として、以下の年齢の女性に対して、子宮頸がん及び乳がんに関する検診費用が無料となるクーポン券を送付し、受診促進を図ります。

クーポン対象年齢

【子宮頸がん検診無料クーポン券対象年齢】

年齢	生年月日
20歳	平成14年4月2日～平成15年4月1日

【乳がん検診無料クーポン券対象年齢】

年齢	生年月日
40歳	昭和57年4月2日～昭和58年4月1日

事業の成果

検診を受けることにより、受診者の「がん」に対する早期発見等の予防意識の高まりへ繋がりました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	10,734	10,022	66				9,956

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	後期高齢者医療事業			予算科目	会計	後期高齢者医療特別会計	09
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款		
連絡先	889－1798				項		
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目		

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
75歳以上の人に対して、高齢者の心身の特性や生活実態などを踏まえた医療サービスを行います。	高齢期における医療の確保を図るため、共同連帯の理念等に基づき、適切な医療の給付等を行い、保健の向上及び高齢者の福祉の増進を図ります。

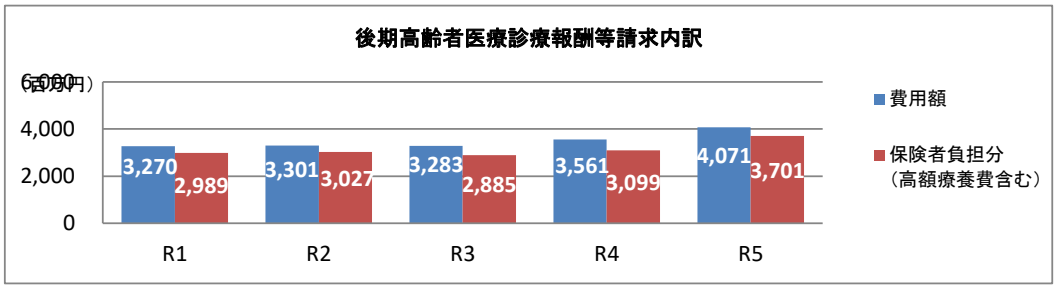
事業の実施内容

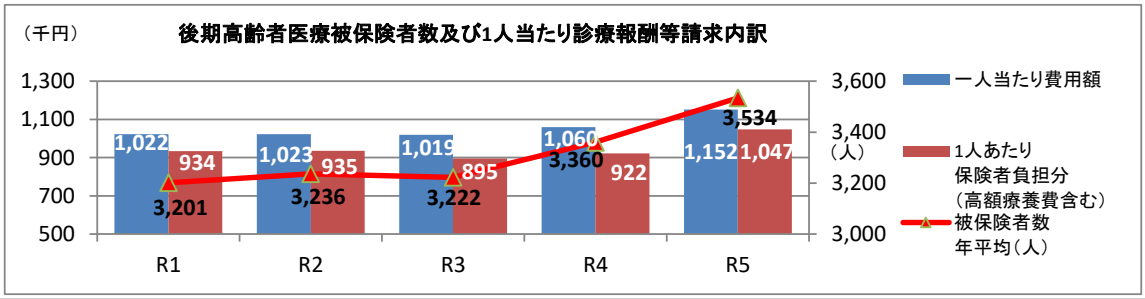
(1)対象者：75歳以上の方（一定の障害がある65歳以上の方）
(2)被保険者数：3,534人（令和5年度平均被保険者数）
(3)事業費（決算額）
・総務費（職員給与等）　14,457 千円
・後期高齢者医療広域連合納付金　357,909 千円
・諸支出金　452 千円

★主な事業内容
・被保険者の資格管理に関する申請及び届出の受付
・被保険者証及び資格証明書の引渡し・同返還の受付
・医療給付に関する申請及び届出の受付並びに証明書の引渡し
・保険料の徴収

【　保険料収納率　】　後期高齢者医療保険料収納率（%）

年度	現年度	滞繰分	計
令和元年度	99.41	62.67	99.23
令和2年度	99.82	55.70	99.57
令和3年度	99.05	27.46	98.32
令和4年度	99.17	74.76	99.14
令和5年度	99.68	79.19	99.62





事業の成果

沖縄県を単位とした広域連合が保険料の賦課及び医療給付を行い、高齢社会の中で財政基盤の安定化を図りました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	374,309	372,818				293,708	79,110

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	妊婦一般健康診査事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健衛生総務費	01

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
親子（母子）健康手帳の交付を受けた妊婦のうち、本町に住所を有する者	保険適用外である妊婦の健康診査を公費負担とすることで、経済的負担を軽減し、妊婦の健康の保持増進を図ります。

事業の実施内容

妊婦健康診査内容及び公費負担額等

公費補助（全14回）	望ましい健診時期（有効期限）	健診内容	公費負担額
1回目	妊娠初期	1. 基本的な健康診査　2. 血液検査（血液型検査、不規則抗体検査、梅毒血清反応検査、B型肝炎抗原検査、C型肝炎抗体検査、血糖検査、貧血検査）3. 子宮頸がん検査　4. 超音波検査	9,000円
2回目	（20～23週）	1. 基本的な健康診査　2. 超音波検査	5,000円
3回目	（24～28週）	1. 基本的な健康診査　2. 血液検査（貧血検査、血糖検査）　3. 超音波検査	6,000円
4回目	（29～33週）	1. 基本的な健康診査　2. 血液検査（貧血検査）　3. 超音波検査	6,000円
5回目	（34～出産）	1. 基本的な健康診査　2. 血液検査（貧血検査、GOP、GPT）　3. 帯下培養　4. 超音波検査	6,000円
9－1回目	9－1回目～9－9回目は順番が前後することも可能	1. 基本的な健康診査	5,040円
9－2回目		1. 基本的な健康診査　2. 超音波検査	9,820円
9－3回目		1. 基本的な健康診査	5,040円
9－4回目		1. 基本的な健康診査　2. 超音波検査	9,290円
9－5回目		1. 基本的な健康診査	5,040円
9－6回目		1. 基本的な健康診査　2. 超音波検査	9,820円
9－7回目		1. 基本的な健康診査	5,040円
9－8回目		1. 基本的な健康診査	5,040円
9－9回目		1. 基本的な健康診査	5,040円
風疹・HIV・ｸﾗﾐｼﾞｱ検査	1回目・できるだけ早い時期	風疹ウイルス抗体価検査、HIV抗体価検査、ｸﾗﾐｼﾞｱ抗原検査	5,640円
HTLV-1抗体検査	3～5回目 30週頃までに	HTLV－1抗体価検査	2,290円

※「1. 基本的な健康診査」では、問診等による健康状態の把握、体重測定、血圧測定、尿検査等の定期検査、保健指導が行われます。

※上記それぞれの検査については、公費負担により無料で受診することができますが、項目以外の検査料は自己負担となります。

・・・例えば、超音波検査がない回に超音波検査を受けた場合の検査料金は自己負担になります。

※親子（母子）健康手帳交付時の週数に応じて必要な回数の受診票が発行されます。

（2・3・4・5回目の受診票には有効期限が設けられています。妊娠がわかったら早めに親子健康手帳の交付を受けましょう。）

主な経費	委託料	40，359千円
	需用費	349千円
	扶助費	193千円
	合　計	40，901千円

●妊婦健康診査受診状況（令和5年度）

受診実人員　485 人

受診件数　4,720 件

事業の成果

経済的な理由による妊婦健診未受診を抑制します。健診受診結果より、高血圧等リスクの高い妊婦等に対して、安心して出産ができるように保健指導につなげています。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	47,298	40,901					40,901

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

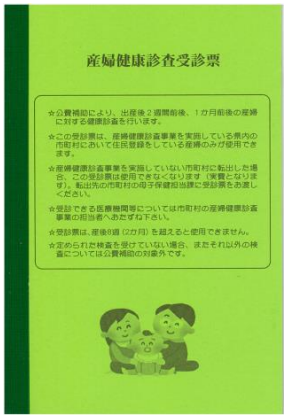
単位：千円

事業名	産婦健康診査事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健衛生総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	子を出生して8週以内の産婦のうち、本町に住所を有する者	産後2週間、産後1か月の出産後間もない時期の産婦に対して健康診査（母体の心身機能の状態把握や授乳状況）の費用を助成し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行います。

事業の実施内容

■健診の項目
・問診及び診察
・問診及び診察血圧測定
・体重測定
・尿検査
・エジンバラ産後うつ質問票
・赤ちゃんへの気持ち質問票
・育児支援チェックリスト



主な経費		
	委託料	4，521千円
	扶助費	36千円
	消耗品費	37千円
	合　計	4，594千円

●産婦健康診査受診状況（令和5年度）
1回目　399　人
2回目　393　人

事業の成果

産婦健診を実施することで、健診結果や医療機関からの情報提供から支援を必要としている産婦の把握に繋がり、切れ目のない支援の実施を行っています。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	6,244	4,594	2,220				2,374

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	新生児妊産婦訪問指導事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健衛生総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	第1子目の新生児または乳児とその産婦 （第2子以降は希望のあった方）	産前産後の母体の体調回復や新生児の発育状態の確認、子育ての相談・指導をとおして母親の不安を解消し、母子共に健康な生活を送ることができるように支援します。

事業の実施内容

訪問従事者・・・助産師、保健師

《妊婦訪問》

対象：　訪問が必要と判断された妊婦

指導内容
・健康状態、現状などの問診
・健康診査の励行
・妊娠、分娩、産褥（さんじょく）及び育児に関する知識
・生活環境
・精神保健
・妊娠期における歯科疾患の予防、及び治療励行
・家族計画等

《新生児・乳児及び産婦訪問》

対象：　第1子目の新生児または乳児とその産婦
（第2子以降で希望のあった方）

指導内容
・新生児、産婦の健康状態などの問診
・母乳栄養について
・抱き方、寝かせ方
・乳房マッサージ施行
・予防接種について
・新生児の生理について
・産後の経過について
・産後の休暇の取り方
・事故予防について
・母子制度の説明
・清潔、皮膚の手入れ
・操体法実施
・ベビーマッサージ施行
・オムツの当て方
・家族計画
・その他

主な経費
委託料　　1，420千円

事業の成果

延べ284件の訪問指導を実施し、産前産後のさまざまな悩みや不安を感じやすい時期に、助産師・保健師が訪問し相談相手となることで、不安や悩みの解消を図り、母子ともに健康な生活が送れるよう支援しました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,420	1,420	450	450			520

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	未熟児養育医療事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健衛生総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	出生時体重2,000グラム以下もしくは医師が入院養育を必要と認めた乳児	医療を必要とする未熟児に対して、入院養育に必要な医療の給付を行うことにより、乳児の健康管理と健全な育成を図ります。

事業の実施内容

○未熟児養育医療とは

身体の発達が未熟なまま出生した乳児に対して、医師が入院養育を必要と認めた場合、費用の一部を国、県、市町村が負担する制度です。（保護者の所得に応じて自己負担額が決められます。また自己負担分はこども医療費助成の対象になります。）

○対象

南風原町に住所を有し、次のいずれかの症状があり、医師が入院養育を必要と認めた乳児が対象となります。

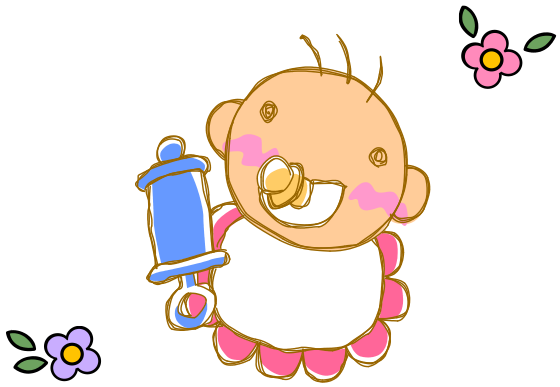
1. 出生時の体重が2,000g以下のもの。
2. 生活能力が特に薄弱であって医師が入院養育を必要と認めたもの。

主な経費

扶助費	10，085千円
委託料	3千円
償還金	1，971千円
合　計	12，059千円

＜令和5年度＞

給付実人員	26人
給付延件数	62件
給付延日数	1178日



※実績報告により国庫支出金2,123千円、県支出金832千円追加交付予定。

事業の成果

養育に必要な医療の給付を行うことにより、乳児の健康管理と健全な育成を図りました。
また、保健師による退院後の訪問指導（相談）につなげることで継続した支援を行っています。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	12,844	12,059	2,289	1,373		1,221	7,176

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	乳児一般健康診査事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健衛生総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	生後3か月を超え、満1歳に達しない乳児（前期：4か月～5か月児、後期：9か月～10か月児）	健康診査、栄養指導、保健指導を行い、母子保健に関する知識の普及に努め、乳児の健康の保持及び増進を図ります。

事業の実施内容

乳児一般健康診査（毎月実施／年12回）

会場：　ちむぐくる館

健診内容
- 身体測定（体重・身長・胸囲・頭囲）
- 貧血検査（血色素量）（後期児のみ）
- 小児科医による診察
- 栄養指導
- 保健指導

スタッフ
- 小児科医師　3名
- 検査技師　2名
- 看護師　3名
- 栄養士　6名
- 保健師　5名
- 母子保健推進員　4名
- 事務職員　6名

（対象人数によって調整）

主な経費

乳児健診委託料	6，461千円
健診案内通知等	88千円
消耗品費、印刷製本費	29千円
合　計	6，578千円

令和5年度　乳児健診受診状況

対象者数	受診者数	受診率
925	863	93.3%

健診結果内訳（延べ件数）

問題なし	既医療	要観察・相談	要医療	要精密検査
687	52	60	3	61

事業の成果

乳児期の発育発達の確認や、心身の異常の早期発見はもとより、心身ともにすこやかに成長できるための育児環境づくり、各月齢ごとの発達の様子をまとめた「子どもノート」を活用し育児不安の解消を図りました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	7,836	6,578					6,578

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	3歳児健康診査事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健衛生総務費	01

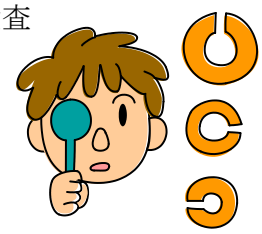
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	満3歳5か月を超え4歳に達しない幼児	健康診査、保健指導を行い、母子保健に関する知識の普及に努め、幼児の健康の保持及び増進を図ります。

事業の実施内容

3歳児健康診査（毎月実施／年15回）
※コロナ感染症拡大防止のため延期あり（当初予定　年15回）

会場：　ちむぐくる館

健診内容
- 身体測定（体重・身長・胸囲・頭囲）
- 尿検査（尿蛋白・尿糖）
- 屈折検査・視能訓練士による眼科検査
- 小児科医による診察
- 歯科医による診察
- 歯科衛生士の指導及び相談
- 保健指導及び相談
- 栄養指導及び相談
- 心理相談（必要時）



スタッフ
- 小児科医師　1名
- 歯科医師　1名
- 歯科衛生士　1名
- 検査技師　1名
- 視能訓練士　3名
- 看護師　1名
- 心理相談士　1名
- 栄養士　2名
- 保健師　3名
- 母子保健推進員　3名
- 事務職員　2名

主な経費

3歳児健診委託料	2，154千円
健診スタッフ等謝礼金	686千円
消耗品費、印刷製本費	728千円
健診案内通知等	212千円
合　　計	3，780千円

令和5年度　3歳児健診受診状況

対象者数	受診者数	受診率
561	526	93.8%

健診結果内訳（延べ件数）

問題なし	既医療	要観察・相談	要医療	要精密検査
385	20	20	0	101

事業の成果

幼児期においての視覚、聴覚も含めた発育・発達の確認をし、心身の障がいを未然に防止するとともに、生活習慣の自立、社会性の発達の確保ができるよう支援ができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,993	3,780					3,780

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	長寿県復活食の応援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健対策推進費	06

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内に住所を有する小学5年生及び中学2年生	将来の生活習慣病の予防に向け、町内の小学校5年生及び中学校2年生を対象に生活習慣病予防健診及び健診結果説明会を実施する。

事業の実施内容

1．学童期における生活習慣病予防健診及び保健指導
　小学5年生、中学2年生への生活習慣病予防健診（採血等）の実施と結果に基づいた保健指導の実施

《　生活習慣病予防健診　》

○主な経費
・学童期生活習慣病予防健診　・・・・・・　2，616千円
・通信運搬費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　112千円

年度		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
対象者		908	976	932	990	1,032	1,031	1,035	1,105
	小5	464	509	476	516	512	540	527	591
	中2	444	467	456	474	520	491	508	514
受診者		241	321	310	463	305	363	414	390
	小5	154	206	187	280	170	204	231	242
	中2	87	115	123	183	135	159	183	148
受診率（%）		26.5	32.9	33.3	46.8	29.6	35.2	40.0	35.3
	小5	33.2	40.5	39.3	54.3	33.2	37.8	43.8	40.9
	中2	19.6	24.6	27.0	38.6	26.0	32.4	36.0	28.8
結果説明会参加数（結果説明会参加含む）		209	197	220	301	29	21	24	195
	小5	—	143	127	172	14	7	13	125
	中2	—	54	93	129	15	14	11	70
保健指導率		86.7	61.4	71.0	65.0	9.5	5.8	5.8	50
	小5	—	69.4	67.9	61.4	8.2	3.4	5.6	51.7
	中2	—	47.0	75.6	70.5	11.1	8.8	6.0	47.3

※R2,3,4年度はコロナ感染拡大防止の観点から集団結果説明会は実施せず、ハイリスク者のみ指導
（ハイリスク者以外は健診結果と生活改善のためのパンフレット等を郵送）

（目標実績）

成果の目標（指標）	R3	R4	R５
中学2年生の継続受診率60％	56.6%	78.1%	61.5%

事業の成果

将来の生活習慣病の発症予防に向けて食生活や生活習慣の改善に係る知識の普及と図るため、予防健診及び健診結果説明会を実施することができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
・中学2年生の継続受診率60％（令和2年度小学5年生で受診した者のうち、中学2年生でどれだけ健診を継続して受診できたか）	・中学2年生の継続受診率（小学校5年生時にも受診）は61.5％でした。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,729	2,728		2,181			547

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	予防接種事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち				目	予防費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	乳幼児や児童・生徒及び65歳以上の高齢者等を対象に実施します。	伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防し、町民の健康の保持に努めます。

事業の実施内容

令和5年度決算内訳　　単位：千円

予防接種医師委託料	164,504
その他	5,768
合　　計	170,272

令和5年度定期予防接種状況

接種項目	接種	対象人数	接種者数	接種率	対象年齢
ヒブ	1回	457	448	98.0%	2ヶ月 ～ 5歳未満
	2回	457	450	98.5%	
	3回	457	460	100.7%	
	追加	469	472	100.6%	
小児用肺炎	1回	457	449	98.2%	2ヶ月 ～ 5歳未満
	2回	457	451	98.7%	
	3回	457	460	100.7%	
	追加	469	468	99.8%	
4種混合	1回	458	485	105.9%	3ヶ月 ～ 7歳半未満
	2回	458	492	107.4%	
	3回	458	500	109.2%	
	追加	497	450	90.5%	
BCG	1回	458	437	95.4%	5ヶ月 ～ 1歳未満
ロタウイルス	1回	457	426	93.2%	生後2ヶ月～24週（32週） ※ワクチンによって接種回数と期限が異なります。
	2回	457	424	92.8%	
	3回	457	53	11.6%	
ＭＲ	1期	499	473	94.8%	1歳 ～ 2歳未満
	2期	556	450	80.9%	5歳～7歳未満で小学就学前の1年間
水痘	1回	469	480	102.3%	1歳 ～ 3歳未満
	2回	497	422	84.9%	
B型肝炎	1回	457	446	97.6%	2ヶ月 ～ 1歳未満
	2回	457	448	98.0%	
	3回	457	427	93.4%	
日本脳炎1期	1回	547	514	94.0%	6ヶ月 ～ 7歳半未満
	2回	547	517	94.5%	
	追加	565	545	96.5%	
日本脳炎	2期	542	528	97.4%	9歳 ～ 13歳未満
ＤＴ	2期	590	476	80.7%	11歳 ～ 13歳未満
子宮頸がん	1回	273	121	44.3%	13歳 ～ 16歳になる女性 ※左記の接種者数には、特例措置(20歳まで)が含まれています。
	2回	273	85	31.1%	
	3回	273	77	28.2%	
インフルエンザ	1回	8,205	4,327	52.7%	65歳以上
高齢者肺炎	1回	1,798	269	15.0%	令和5年度中に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる者、100歳以上になる者
風しん	抗体検査	3,389	24	0.7%	昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれで未検査の男性（予防接種は、抗体検査の結果「抗体なし」と判断された者）
	予防接種		4		

事業の成果

予防接種を実施することにより、伝染の恐れがある疾病及びまん延を予防する事ができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
・外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数　0件	・外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生はなかった。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	184,345	170,272	1,450	7,776			161,046

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	宮平保育所運営事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	就労家庭等保育を必要とする世帯の子どもたち。	家庭に代わりこども達が安全で楽しく過ごせるよう保育に努めます。支援を必要とする子への適切な対応、早期発見が望まれるようなケースについても、先駆けとなって丁寧な保育に取り組んでいきます。

事業の実施内容

宮平保育所運営事業

主な経費

○ 会計年度任用職員報酬・給料・職員手当等　30，697千円
日常の保育業務を行う会計年度任用職員（保育士）や、非常勤の調理員を雇用しており、その賃金や手当として使われています。

○ 給食材料費　5，864千円
栄養のバランスがとれた園児の給食・おやつ・ミルクの材料費として使われています。

○ 光熱水費　2，838千円
保育所を運営するために必要なエネルギーである、電気・水道・ガスの使用料金として使われています。

○ 消耗品　1，316千円
保育用教材・薬品・洗剤や、施設内の消耗品・事務用品等の購入に使われてい

○ 工事請負費　28，760千円
熱中症対策として園庭にシェード（日よけ）工事等の、保育を行うための安心・安全な環境作りに使われています。

○ 備品費　2，497千円
保育業務や給食業務を行う為に必要な備品の購入及び買い換えに使われています。

○ その他の費用　5，626千円
保育所を運営するために必要不可欠な行事費、健康診断料、施設の修繕費、電話料金、保険料、衛生管理費等として使われています。

おおきなちょうちょが出てきたよ！（飼育活動）

きんぎょさん、うまくすくえるかなー（夏祭り）

事業の成果

保護者と連携を図りながら、乳幼児期のこども達の健やかな成長・発達を促し、保育の充実と子育ての支援に取り組みました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	81,122	77,598				6,808	70,790

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	認可保育園事業・補助（保育所運営費）			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
認可保育園に在籍する児童とその保護者	就労等で保育が必要な保護者に代わって保育を行い、入所児童の心身の健全な発達を確保します。

事業の実施内容

1．入所児童数　（令和6年3月1日現在）　　単位：人、％

施設名	定員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	弾力化
宮平保育所	60	6	8	12	16	12	0	54	90.0%
公立計	60	6	8	12	16	12	0	54	90.0%
津嘉山保育園	160	26	30	30	34	20	0	140	87.5%
かねぐすく保育園	100	15	17	18	21	17	14	102	102.0%
南風原はなぞの保育園	141	12	24	30	30	22	19	137	97.2%
若夏保育園	120	17	24	27	27	19	0	114	95.0%
みつわ保育園	136	13	28	28	30	23	12	134	98.5%
さんご保育園	180	12	30	36	38	35	25	176	97.8%
はえばる保育園	150	17	36	36	37	21	0	147	98.0%
マイフレンズ保育園	120	17	24	23	24	24	5	117	97.5%
ていだ保育園	120	18	24	24	30	27	0	123	102.5%
なのはな保育園	120	15	24	24	26	19	13	121	100.8%
よなは保育園	97	9	18	18	18	15	15	93	95.9%
ももの木保育園	60	9	12	18	22	15	0	76	126.7%
やまがわ保育園	107	9	30	24	29	21	0	113	105.6%
南風原やまびこ保育園	60	0	10	13	18	11	0	52	86.7%
明星保育園	90	15	18	23	27	12	15	110	122.2%
よなは第2保育園	90	12	14	17	18	16	13	90	100.0%
広域入所	－	2	0	1	2	0	1	6	－
私立計	1,851	218	363	390	431	317	132	1,851	99.7%
合計	1,911	224	371	402	447	329	132	1,905	99.4%

2．運営費支弁額　（令和5年度実績）

単位：千円

施設名	運営費
津嘉山保育園	194,468
かねぐすく保育園	127,989
南風原はなぞの保育園	169,239
若夏保育園	155,408
みつわ保育園	161,608
さんご保育園	193,545
はえばる保育園	187,686
マイフレンズ保育園	144,692
ていだ保育園	167,864

施設名	運営費
なのはな保育園	156,672
よなは保育園	125,718
ももの木保育園	116,795
やまがわ保育園	138,056
南風原やまびこ保育園	110,947
明星保育園	134,508
よなは第2保育園	120,756
広域入所	4,383
合計	2,410,334

事業の成果

保育所において家庭や地域社会と連携を図り、こどもが安全で情緒の安定した生活ができるよう環境を整備し、健全な心身の発達を図り、豊かな人間性を育むことができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況

予算額	決算額	決算額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,439,819	2,410,334	1,166,854	466,513	0	224,794	552,173

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	延長保育促進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	法人保育園に入所した児童	法人保育園における保育士配置の充実を図ることにより11時間の開所時間の始期及び終期前後の保育需要への対応の推進を図ります。

○　認可保育園延長保育促進事業補助金（19園）　13,056千円
利用者延人数(22,490人)　　1日平均93人

- 対象児童は実際に延長保育を利用した保育所入所児童です。
- 対象児童に対し、適宜、間食等を提供します。
- 保護者が仕事をする上で終業が遅くなったときなど、安心してこどもを預ける事ができます。

延長保育促進事業利用状況（各月1日当たり平均人数）　　単位：人

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年1日平均
津嘉山保育園	2	2	1	2	3	1	2	1	2	1	1	1	2
かねぐすく保育園	8	7	6	9	6	6	8	8	6	7	8	6	7
南風原はなぞの保育園	6	7	6	6	7	7	7	5	1	5	7	6	6
若夏保育園	5	5	5	5	6	6	5	6	6	5	5	5	5
みつわ保育園	7	8	7	7	7	7	7	7	8	7	7	7	7
さんご保育園	13	14	13	14	11	12	12	13	12	12	13	14	13
はえばる保育園	2	2	2	2	2	2	2	2	3	1	2	2	2
マイフレンズ保育園	5	5	5	6	6	7	6	7	7	7	8	7	6
てぃだ保育園	6	6	5	6	4	6	6	7	7	7	8	7	6
なのはな保育園	2	2	3	3	5	5	5	5	5	5	6	4	4
よなは保育園	7	10	9	8	9	11	10	10	10	9	6	7	9
ももの木保育園保育園	5	6	5	6	5	6	6	6	5	4	5	5	5
やまがわ保育園	1	3	3	4	4	5	4	6	4	3	4	4	4
南風原やまびこ保育園	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
よなは第２保育園	10	11	8	8	7	7	9	10	9	12	10	7	9
明星保育園	3	2	3	2	4	3	3	3	3	2	4	3	3
開邦幼稚園	5	2	1	1	4	2	1	1	2	2	3	2	2
くわの実保育園	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	91	95	85	93	93	96	98	100	90	91	99	90	93

○新型コロナウイルス感染症対策支援事業補助金（延長保育事業分899千円
新型コロナウイルス感染症防止対策として延長保育に必要な人件費、消耗品や備品等の購入費などの経費に対し、補助を行いました。

事業の成果

就労形態の多様化等に伴いやむを得ない理由で、通常保育時間内（7時～18時）に保育園へ児童の送り迎えができない保護者に対して、延長保育を実施し安心して子育てができる環境を整備することにより、保育の充実を図ることができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	16,943	13,955	4,874	4,651			4,430

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	発達支援児保育事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の認可保育園に通う発達支援児を受け入れている園を対象とします。	保育を必要とし、かつ発達に課題がある児童に対して、集団保育の中で適切な指導を実施することによって、健常児とともに健全な成長、発達を促すことを目的とします。

事業の実施内容

南風原町発達支援児保育事業実施要綱等により行う事業を実施している認可保育園等に対し，補助を行いました。

決算額　：　53,092千円

補助金の額の算定方法

各月初日現在の対象児童数	基準額	対象経費
1名	71，000円（月額単価）×入所月数	発達支援児保育実施に必要な経費
2名	197，000円（月額単価）×入所月数	
3名以上	3名以上については、197，000円（月額単価）に、対象児童数が1名増すごとに126，000円を加算した金額×入所月数	

令和5年度　発達支援児保育事業補助金　実施実績

	施設名	対象園児数	補助実績額
1	津嘉山保育園	2人	2,364,000円
2	南風原はなぞの保育園	3人	3,876,000円
3	若夏保育園	3人	3,876,000円
4	みつわ保育園	11人	12,066,000円
5	さんご保育園	2人	2,364,000円
6	はえばる保育園	2人	2,364,000円
7	マイフレンズ保育園	4人	5,766,000円
8	よなは保育園	1人	852,000円
9	ももの木保育園	5人	5,950,000円
10	やまがわ保育園	3人	2,742,000円
11	南風原やまびこ保育園	3人	3,120,000円
12	明星保育園	5人	6,900,000円
13	よなは第2保育園	1人	852,000円
－	合計	45人	53,092,000円

事業の成果

発達支援児保育事業は、集団保育が可能な発達支援児に対し、適切な保育を支援・実施する事業です。有識者による巡回指導、発達支援児交流会、発達支援児研究発表会なども行っております。巡回指導により、保育士が対象児童との関わり方を学び、さらに、成長・発達課題をしっかりおさえ、児童に合った働きかけを大切にすることで、社会性を育てるなど、発達支援児保育事業の充実を図ることができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	53,412	53,092		5,064			48,028

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	認可保育園事業・町単独事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち				目	児童福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の認可保育園、地域型保育施設及び認定こども園の運営を支援します。	施設や施設の職員を支援することにより安定した運営を促し、児童に対するよりよい保育の実施を図ります。

事業の実施内容

1. 発達支援児保育特別措置会議委員謝礼金　10千円
　発達に課題がある児童の適正な入所を図るため、有識者を含めた関係者による発達支援児保育実施会議を実施します。

2. 発達支援児保育巡回指導員謝礼金　390千円
　発達に課題がある児童について、児童が通う認可保育園等を有識者が訪問し、施設の職員及び保護者に保育・子育ての助言を行うことにより、児童の健全な社会性の成長、発達を促します。

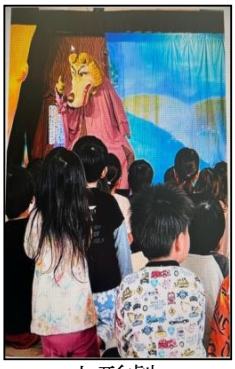
3. 発達支援児保育研修会講師謝礼金　40千円
　発達に課題がある児童の保育や子育てについて、認可保育園等の職員や保護者を対象に有識者による講演会や相談会などを実施することにより、保育や子育てをサポートします。

4. 保育料自動振替取扱手数料　61千円

5. 保育士等就職一時金　7,600千円
　待機児童の解消に向けた保育士確保を図るため、新たに認可保育所等に就職し、1年以上又は2年以上継続して勤務した保育士に対し、保育士就職支援一時金を交付します。
※就職支援一時金交付対象者76名
（1年以上継続して勤務：44名、2年以上継続して勤務：32名）

おいしい草をどうぞ♫
（よいサマリア人保育園）

☀お散歩に
（ひまわり保育園）


人形劇
（ももの木保育園）

事業の成果

有識者による巡回指導、発達支援児交流会、発達支援児研究発表会などを実施することにより、保育士や保護者に対し、発達に課題がある児童の保育や子育ての方法について助言・支援することができ、負担感を和らげることができました。また、発達に課題がある児童は、より適切な保育を受けることができるようになりました。
就職支援一時金を交付することにより、保育士を確保し待機児童解消を図ることができました。また、施設の安定した運営にもつながりました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,614	8,101					8,101

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	地域型保育事業・補助			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	地域型保育施設（小規模・事業所内保育施設）	事業所の施設等で従業員の児童を保育すると共に、地域枠を設け0～2歳児の保育を実施することで、待機児童の解消を行う。

事業の実施内容

1．入所児童数（令和6年3月1日現在）

○小規模保育施設　　単位：人

施設名	定員	0歳児	1歳児	2歳児	合計
めだか保育園	18	0	11	8	19
くわの実保育園	19	6	7	9	22
たいようのおか保育園	19	6	10	6	22
ぱすてる保育園つかざん園	19	6	6	10	22
ひまわり保育園	19	6	5	6	17
町内施設　計	94	24	39	39	102
チャイルドハウス西崎ネクスト	19	0	1	0	1
津山ひまわり園	19	0	1	0	1
広域入所　計	38	0	2	0	2
合計	132	24	41	39	104

○事業所内保育施設　　※町内在住者のみ

施設名	地域枠	従業員枠	合計
よいサマリヤ人保育園（南風原町）	5	2	7
町内施設　計	5	2	7
とよみキッズガーデンANNEX（豊見城市）	―	1	1
きらら保育園（八重瀬町）	―	5	5
ビンプ保育園（那覇市）	―	1	1
いずみのもり保育園（那覇市）	―	1	1
ふたば保育園（豊見城市）	―	1	1
	―	-	-
広域入所　計	―	9	9
合計	5	11	16

○地域型保育事業は、平成27年度より施行された子ども・子育て支援制度に伴い市町村が設置認可・確認を行い、待機児童の多い0歳児から2歳児を受け入れる施設です。その中のひとつである事業所内保育事業は、事業所の所在地の各市町村が設置認可・確認した事業所内保育所にて、従業員の児童以外に地域の待機児童の受け入れを行い、待機児童の解消を図っています。令和5年度現在、町認可施設として小規模保育施設5園、事業所内保育施設1園が運営を行っています。

2．運営費支弁額（令和5年度実績）　　単位：千円

施設名	運営費	施設名	運営費
めだか保育園	37,304	よいサマリヤ人保育園（南風原町）	9,777
くわの実保育園	45,137	とよみキッズガーデンANNEX	1,547
たいようのおか保育園	45,438	きらら保育園（八重瀬町）	6,292
ぱすてる保育園つかざん園	50,678	ビンプ保育園（那覇市）	2,690
ひまわり保育園	29,557	いずみのもり保育園（那覇市）	664
津山ひまわり園	155	ふたば保育園（豊見城市）	876
チャイルドハウス西崎ネクスト	603	事業所内保育運営費（小計）	21,846
小規模保育運営費（小計）	208,872	合計	230,718

事業の成果

地域型保育施設にて、0歳～2歳の子どもを受け入れる事で、健全な心身の発達を図り、豊かな人間性を育むことができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
―	―

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	235,778	230,719	130,068	46,757	0	0	53,894

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	保育対策総合支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立宮平保育所 町内の法人保育園及び地域型保育施設並び認可外保育施設	保育士が働きやすい職場の環境整備を行い、就業継続及び離職防止を図ります。

事業の実施内容

1. 保育体制強化事業補助金　20,365千円
実施園16園※保育士資格を有しない保育支援者を配置した認可保育園等に対して補助（人件費）を行いました。

2. 保育補助者雇上強化事業補助金　36,337千円
実施園15園　※保育士資格を有しない保育補助者を配置した認可保育園等に対して補助（人件費）を行いました。

3. 保育士宿舎借上支援事業補助金　6,302千円
実施園7園　※保育士の宿舎を借り上げした認可保育園等に対して補助（家賃）を行いました。

4. 認可外保育施設衛生・安全対策事業補助金　31千円
実施園1園※保育士等の感染症罹患の有無を発見するため、健康診断を受診した認可外保育施設に対して補助（健康診断費用）を行いました。

5. 保育環境改善等事業（新型コロナウイルス感染症対策支援事業）
・町立宮平保育所（消耗品費、備品購入費）　219千円
・認可保育園、地域型保育施設、認可外保育施設への補助　2,255千円
実施園12園（認可保育園8園、地域型保育施設2園、認可外保育施設2園）
※新型コロナウイルス感染症防止対策として必要な人件費、消耗品や備品等の購入費などの経費に対し、補助を行いました。

6. 保育環境改善等補助金（安全対策事業）　159千円
実施園1園　※睡眠中の事故防止対策に必要な機器の購入について、補助を行いまし

7. 保育環境改善等補助金（送迎用バスの安全装置の設置を行う事業）　264千
実施園2施設　※車中での置き去り事故防止のために必要な機器の導入について、補助を行いました。

発表会
（やまびこ保育園）

七夕会
（たいようのおか保育園）

事業の成果

保育対策総合支援事業は、保育士の業務や健康面での支援を行い、就業継続・離職防止を図る事業や保育士資格を有しない保育補助者に保育士資格の取得を促し、保育人材の確保を図る事業、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する事業などを実施することにより、日々、園児を対応している保育士等の業務環境の改善・充実を推進及び感染症拡大を防止する対策を図ることが出来ました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	82,895	65,932	5,807	47,072			13,053

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	母子父子家庭医療費助成事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	母子家庭の母と児童 父子家庭の父と児童 養育者が養育する、父母のいない児童	母子及び父子家庭等に対し、医療費の一部を助成することにより、生活の安定と自立を支援し、福祉の増進を図ることを目的とします。

事業の実施内容

令和5年度　母子及び父子家庭等受給者数調

区分／保険種別	母子家庭		父子家庭		養育者家庭	計	
	母	児童	父	児童	児童	父母	児童
国保分	189	356	22	33	9	211	398
社保分	401	645	28	41	2	429	688
合計	590	1001	50	74	11	640	1086

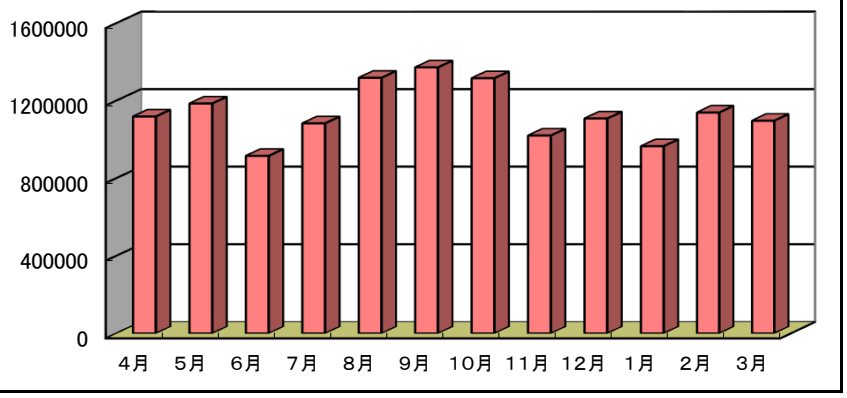
【令和5年度　助成実績】

◆　母子父子家庭医療費助成金　　扶助費決算額：　13，634　千円

（単位：円）

令和5年度　母子父子家庭医療費助成金

	助成額
4月	1,118,107
5月	1,185,120
6月	914,910
7月	1,082,850
8月	1,318,050
9月	1,371,691
10月	1,315,771
11月	1,019,875
12月	1,107,959
1月	964,910
2月	1,138,635
3月	1,096,223
合計	13,634,101



＊　通院の場合、1月1診療機関につき1，000円（一部負担金）を控除した額が助成となります。
【医科・歯科別総合病院においては、各診療科ごとに1，000円を控除した額を助成致します。】

＊　さらに、こども医療費助成の対象者については、上記1，000円（一部負担金）をこども医療費助成にて負担しております。

事業の成果

雇用状況や、経済基盤の不安定な母子父子家庭の親と子、養育者家庭の子に対し、医療保険各法適用後の自己負担額（通院分・入院分・調剤薬局も含む）から一部負担金を控除した額を助成することにより、経済的な負担軽減を図りました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	15,185	13,634		6,817			6,817

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	こども医療費助成事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	衛生費	04
連絡先	889－7028				項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健衛生総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	南風原町に住所を有する0歳～高校卒業（3月31日）までのこども	こどもの医療費の一部を助成することにより、健康の増進を図り、こどもの健やかな成長に寄与することを目的とします。

事業の実施内容

【 令和5年度　こども医療費助成実績 】

◆ 扶助費決算額：269,340千円

単位：円

令和5年度　こども医療費助成				
	助成対象者数（人）	助　成　額　（円）		
		償還分払分	現物給付分	助成額合計
4月	9,524	576,517	19,774,881	20,351,398
5月	9,557	615,083	20,836,120	21,451,203
6月	9,597	223,727	19,053,735	19,277,462
7月	9,628	338,879	21,897,935	22,236,814
8月	9,670	382,329	24,177,353	24,559,682
9月	9,694	414,385	25,009,321	25,423,706
10月	9,729	459,155	19,656,311	20,115,466
11月	9,771	338,209	22,830,832	23,169,041
12月	9,803	424,781	22,019,870	22,444,651
1月	9,830	450,905	20,566,406	21,017,311
2月	9,857	578,152	23,589,837	24,167,989
3月	9,890	343,121	24,782,236	25,125,357
	合計	5,145,243	264,194,837	269,340,080

＊ 令和4年10月１日より対象年齢を高校卒業(3月31日)まで拡充しました。

◆ 印刷製本費　　決算額：　19千円

◆ 役務費(通信運搬費、手数料)　　決算額：　6,370千円

事業の成果

医療保険各法適用後の自己負担額（通院分・入院分・調剤薬局も含む）の全額を助成することにより、こどもの疾病の早期発見と早期治療を促進し、こどもの健全な育成と子育て世代への負担軽減に役立っています。また、平成29年1月に導入した現物給付方式（窓口無料化）により、医療費を窓口で支払うことが困難な為に受診を控えていたこどもも、他のこどもと同様に医療を受けることができるようになりました。
また、令和4年10月１日より対象年齢を高校卒業(3月31日)まで拡充し、より一層の、子育て世帯の負担軽減へと繋がりました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	242,846	275,729		122,641			153,088

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	子供の貧困緊急対策事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	社会的孤立（貧困）家庭の子どもとその世帯	社会的孤立（貧困）家庭の子どもとその世帯の福祉の向上と、孤立（貧困）連鎖の打破に努めます。

事業の実施内容

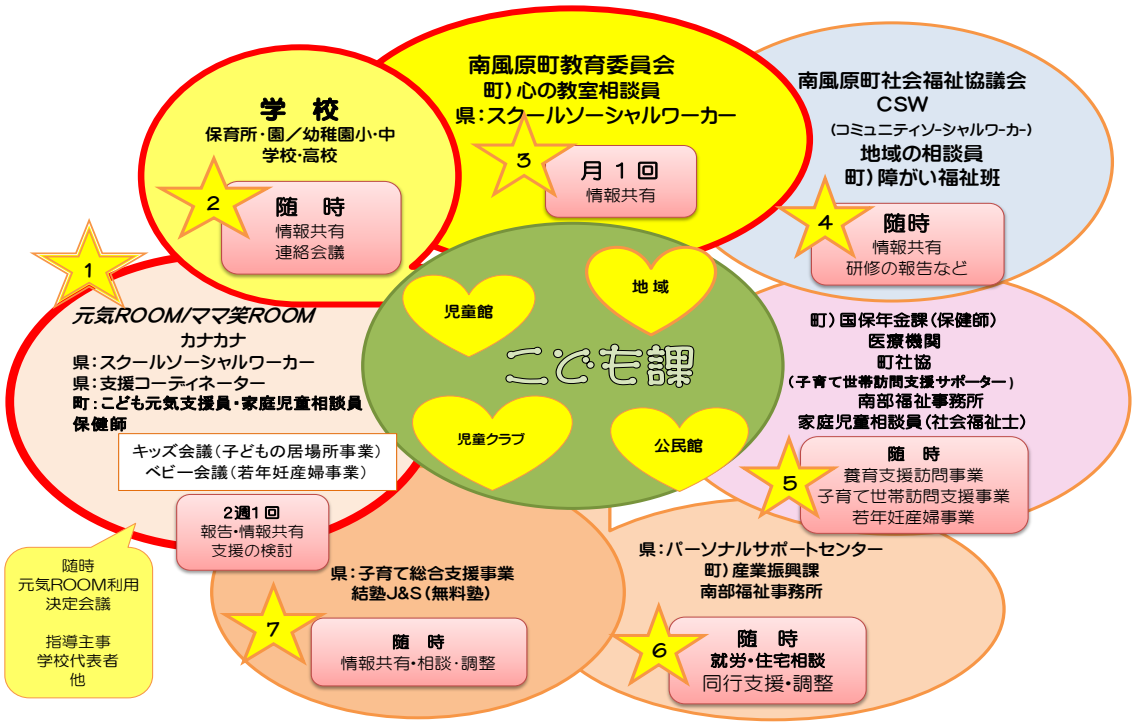
・子どもの貧困対策支援員配置事業

子どもの貧困対策支援員（子ども元気支援員）が地域に出向いたり関係機関からの情報を受け子どもの孤立（貧困）の現状を把握し、学校や学習支援施設、子どもの居場所づくりを行う事業所等の関係機関との情報共有・連携を図り支援を行っています。

また、町保健師等からの情報をうけ連携し、若年妊産婦の現状把握、若年妊産婦居場所へのつなぎ、居場所事業所と情報共有や連携を図り必要な行政サービスへつなぐ等の支援を行っています。

・子ども元気支援員（3人）（報酬、手当、旅費、共済費）　4，622千円

・庁費（需用費、役務費、賃借料）　475千円



・子どもの居場所、若年妊産婦の居場所の運営支援事業　38，407千円

元気ROOM（子どもの居場所）、ママ笑みROOM（若年妊産婦の居場所）において必要な支援を提供

①生活支援　④食事支援（提供）

②学習支援　⑤保護者の支援（養育支援）

③文化的活動支援　⑥若年妊産婦等支援

事業の成果

支援が必要な子どもを把握し元気ROOM等へ繋げることができました。また、元気ROOMを利用することで衛生の保持、基礎学習、食の確保等を支援し福祉の向上が図られました。

元気ROOMで生活支援をすることで心を開いてくれた子ども達も多く、その支援により不登校の未然防止につながりました。

保護者と信頼関係を築き養育支援をすることで、生活環境の改善や行政サービスへつなぐことができました。

ママ笑ROOMでは若年妊産婦に心の安まる居場所を提供し安心して出産・子育てができるよう専門的知識を持った助産師等と一緒に包括的に支援をすることで、不安や孤立を解消し必要な行政サービスへつなぐことができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況

予算額	決算額	決算額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
47,573	43,504	38,645				4,859

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	病児保育事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町在住のおおむね生後6ヶ月から小学3年生までの児童で、病気治療中又は、回復期にある病児保育を必要とする児童	児童が病気の治療中又は回復期にあり、集団保育および保護者による保育が困難な場合に、適切な処遇が確保される施設で一時的に預かることで、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成を図る。

事業の実施内容

平成27年度より、町内の医療機関へ委託して病児保育事業を実施しています。

○実施施設
医療法人わらべの会　わんぱくクリニック
南風原町字津嘉山1490番地　メディカルプラザつかざん2F

○利用時間

月～土	午前8時45分から午後5時30分まで（第5土曜日は午後1時まで）
休業日	日曜日・祝祭日・（第5土曜日は午後1時から休業）

○利用料金

区分	生活保護世帯	生活保護世帯以外
1日利用料	0円	1,500円
半日利用料		1,000円

1. 病児保育事業委託料　　6,499千円
（内訳）(1)基本額　　4,499,000　円
(2)利用人数に応じた委託料(150～199人)　　2,000,000　円
(3)利用料免除額(生保による被保護者)　　0　円

2. 病児保育施設年度別利用児童数

年度	実績												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
H28	38	23	24	30	39	21	21	11	12	4	6	28	257
H29	9	23	43	36	21	25	15	33	35	36	21	27	324
H30	18	45	28	20	52	35	41	31	43	36	40	32	421
R1	33	33	67	60	45	62	39	40	21	32	46	58	536
R2	15	0	28	23	4	22	28	30	35	12	0	11	208
R3	0	0	0	6	4	1	19	19	17	1	0	0	67
R4	0	8	17	10	2	6	15	15	16	32	21	26	168
R5	12	23	16	17	15	19	9	19	9	20	14	14	187

事業の成果

保護者が就労している場合等に、子どもが病気の治療中又は回復期にある児童を、安心して預ける事のできる病児保育施設に一時的に預ける事で、保護者の子育てと仕事の両立を支援することができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	6,999	6,499	2,166	2,166			2,167

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	児童館運営事業・単独			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童厚生施設費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	児童館を利用する児童等	児童に健全な遊びの場を与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とします。

事業の実施内容

【児童館活動の内容】

・館内活動
（主たる児童館活動で、遊戯室での体を使った遊びの他、読書や宿題の見守り等）

・体験活動
（各館で講師を招いての、手芸や工作、クッキング、英会話、チャンバラ遊び等）

・館外活動
（地域の清掃活動や自然観察、乗船体験、文化遺産巡り等）

【整備関係】

・遊戯室木床修繕、LED照明設置等

単位：千円

主な経費	決算額
児童厚生員報酬（12人）	17,869
職員手当等（12人）	3,611
体験活動等に伴う報償費	380
消耗品費	684
光熱水費	896
その他（修繕・工事含む）	6,608
合 計	30,048

年間利用者数	
北丘児童館	11,412 人
兼城児童館	11,965 人
本部児童館	8,499 人
津嘉山児童館	14,996 人
合計	46,872 人

○北丘児童館(サイエンス教室)

○兼城児童館(ハロウィンイベント)

事業の成果

子どもの遊びの拠点と居場所となり、地域の子どもの発達の増進と放課後等における安定した日常の生活支援を図られました。
年間利用者数前年度比115％

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	31,381	30,048					30,048

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	学童保育事業・補助			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間 博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童厚生施設費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	労働等により昼間保護者のいない家庭の小学校児童を預かる学童クラブ	学童クラブに補助金を交付することにより、労働等により昼間保護者のいない家庭における児童の健全育成を図ることを目的とします。

事業の実施内容

●学童クラブ支援員等資質向上研修委託料　900千円
資質向上研修を行い、放課後児童支援員等の専門性や学童クラブの質の向上を図ります。

●放課後児童クラブへの巡回支援事業委託料　4,000千円
巡回アドバイザーを配置し、学童クラブへの助言・指導を行うことで、子どもが安全・安心に過ごすことができ、また質の高い支援を確保します。

●学童保育事業・補助　　296,622千円
本町にある下記の22箇所（25支援）の学童クラブと令和6年度新規開所する2箇所（2支援）の学童クラブへそれぞれ補助金を支出しました。

令和5年度既存クラブ

学童クラブ名	補助額	学童クラブ名	補助額
みやび学童クラブ	12,487,000	第二ドルチェ学童クラブ	9,197,000
よなは学童クラブ	12,098,000	正道スマイリークラブ	14,580,000
よなは第2学童クラブ	13,125,000	いこい学童クラブ	14,861,000
北丘学童クラブ	10,751,000	いこい第二学童クラブ	14,133,000
第2北丘学童クラブ	9,892,000	翔南学童クラブ	10,293,000
学童クラブVI-VA	8,338,000	みつわ学童クラブ	14,485,000
学童クラブVI-VAぷら	8,173,000	学童クラブわんぱく家	8,428,000
こもれび学童クラブ	14,740,000	学童クラブうーまく家	12,036,000
いろは児童クラブ	9,862,000	竹の子学童クラブ	10,249,000
みつば児童クラブ	10,365,000	第二竹の子学童クラブ	11,473,000
キッズクラブ　カナカナ	9,998,000	津嘉山学童クラブ	9,876,000
キッズクラブ　リンク	11,191,000	津嘉山うむさ学童クラブ	12,920,000
ドルチェ学童クラブ	9,847,000	合計	283,398,000

令和6年度新規開所クラブ
環境整備事業（開所に向けた補修等の補助）

学童クラブ名	補助額
桃の木学童クラブ	11,697,000
かなさ児童クラブ	1,527,000
合計	13,224,000

事業の成果

昼間保護者が家にいない児童が、集団で安心して過ごすことができる場を提供することができ、その健全な育成が図られました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	308,537	301,522	101,323	98,603	0	0	101,596

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	放課後児童の居場所づくり支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童厚生施設費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	建物を賃貸している学童クラブ、生活保護世帯及び非課税世帯、ひとり親世帯の児童の保育料を減免した学童クラブ	家賃補助をすることで保育料を軽減し、また生活保護世帯及び非課税世帯、ひとり親世帯の児童の利用料を一部補助することにより、子どもの居場所である学童クラブを利用しやすくします。

事業の実施内容

●放課後児童の居場所づくり支援事業　　26,446千円

内訳　：　家賃補助　　20,429千円　　保育料減免補助　　6,017千円

	家賃補助	保育料減免補助	
施設名	補助金額（円）	対象児童数（人）	補助金額（円）
みやび学童クラブ	1,656,000	2	103,000
よなは学童クラブ	1,500,000	11	525,000
よなは第2学童クラブ	0	7	410,000
北丘学童クラブ	1,980,000	3	151,000
第2北丘学童クラブ	0	2	89,000
学童クラブVI-VA	1,620,000	11	328,000
学童クラブVI-VAぷらす	1,260,000	1	10,000
こもれび学童	0	5	201,000
いろは児童クラブ	1,080,000	1	60,000
みつば児童クラブ	1,656,000	0	0
キッズクラブカナカナ	1,380,000	3	160,000
キッズクラブリンク	0	10	490,000
ドルチェ学童クラブ	1,927,000	6	335,000
第二ドルチェ学童クラブ	1,240,000	3	126,000
正道スマイリークラブ	0	4	178,000
いこい学童クラブ	0	12	627,000
いこい第2学童クラブ	0	7	277,000
翔南学童クラブ	1,920,000	6	336,000
みつわ学童クラブ	0	5	246,000
学童クラブわんぱく家	1,200,000	4	222,000
学童クラブうーまく家	0	5	260,000
竹の子学童クラブ	1,170,000	5	260,000
第二竹の子学童クラブ	0	3	165,000
津嘉山学童クラブ	840,000	3	120,000
津嘉山うむさ学童クラブ	0	6	338,000
合計	20,429,000	125	6,017,000

事業の成果

学童保育料減免補助については、ひとり親家庭及び生活保護世帯、非課税世帯を対象として実施しました。その結果、対象となる学童クラブ利用者の保育料が引き下げられ利用者の負担軽減につながり、これまで経済的な理由で学童クラブの利用が困難だった世帯も、利用しやすくなりました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
・安心・安全に子供を預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか、本事業により、就労できた又は就労を継続できたか（80％以上）を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	保護者アンケートにおいて子育てへの負担感が軽減されたと答えた割合が97％であった。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	26,849	26,446	0	25,734	0	0	712

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	ファミリーサポートセンター事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	地域の子育て家庭	子育てのお手伝いを必要としている人（おねがい会員）と子育てのお手伝いをしたい人（サポート会員）とを結びつける会員制の相互援助活動を行います。

事業の実施内容

○ファミリーサポートセンター事業　　5，077千円

【センターの業務】
①会員の募集、登録に関すること
②相互援助活動の調整
③会員を対象に相互援助活動に必要な知識を習得するための講習会の開催
④会員の交流を深め、情報交換の場を提供するための交流会の開催
⑤子育て支援に関する関係機関との連絡調整に関する業務
⑥広報活動

【登録会員状況】　　単位：人

会員の種類	R1	R2	R3	R4	R5
援助を行いたい会員（提供会員）	106	106	104	107	119
援助を受けたい会員（依頼会員）	457	381	361	390	423
両方会員	68	69	64	58	58
合計	631	556	529	555	600

【活動実績】　　件数

活動の内容	R1	R2	R3	R4	R5	活動の内容	R1	R2	R3	R4	R5
保育所・幼稚園の登園前の預かり及び送り	8	13	18	290	56	保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	8	12	10	14	100
保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	216	255	113	140	90	保護者等の求職活動中の援助	1	0	0	0	0
学校の放課後の預かり	0	0	0	0	20	保護者等の外出の場合の援助	26	10	22	16	48
学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	22	43	19	7	12	保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	2	1	2	0	2
子どもの習い事等の場合の援助	132	144	86	224	156	保護者等の病気、その他急用の場合の援助	19	8	8	6	2
保育所・学校等休み時の援助	31	16	3	2	3	その他	267	172	126	14	29
保育所等施設入所前の援助	0	2	0	0	0	合計	732	676	407	713	518

事業の成果

急な用事等により一時的に子どもを預かって欲しいけれど頼れる人がいない世帯の子育て支援のために、育児について助け合う相互援助活動を通して、子育て世帯の負担を緩和することが出来ました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,687	5,077	1,692	1,692			1,693

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	地域子育て支援拠点事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	地域の子育て家庭	子育て家庭が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供・助言、子育てサークルなどへの支援や地域の保育需要に応じた支援を行います。

事業の実施内容

主な経費

○宮平保育所
（職員人件費、臨時職員賃金、消耗品費、備品購入費等）　5,469千円

○認可保育園子育て支援拠点事業補助金　25,917千円
新型コロナウイルス感染拡大防止事業補助　426千円

・令和5年度より「つぼみの広場（よなは第2保育園」）が開設されました。

・広報活動として「ふくぎの家だより（宮平保育所）」「たんぽぽ広場だより（津嘉山保育園）」「がじゅまる広場だより（かねぐすく保育園）」「つぼみの広場だより（よなは第2保育園」）を発刊しました。

・絵本の読み聞かせや育児講座、手作りおもちゃ作り、クッキング等、子育て親子のニーズや要望を取り入れて毎月1回以上行っています。

・子育て及び子育て支援に関する講習等を実施しました。

・ミニミニ運動会、歯と口の健康講座、交流誕生会、ベビーマッサージ、公民館子育てサロン、支援活動の実施、地域の公園での親子交流の実施を行いました。

子育て支援センター親子利用者状況　単位：人

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
宮平保育所	73	73	114	138	60	103	155	－	－	－	－	－	716
津嘉山保育園	42	75	68	69	53	142	169	146	133	156	187	152	1,392
かねぐすく保育園	64	87	76	75	63	92	96	141	127	118	146	127	1,212
よなは第２保育園	9	28	39	43	40	73	93	113	133	133	124	132	960
合計	188	263	297	325	216	410	513	400	393	407	457	411	4,280

事業の成果

実施する保育園に対し、補助金を助成することにより、子育て家庭等に対する育児不安などの相談及び指導、子育てサークル等への支援並びに地域の保育需要に応じ、地域の各保育所間の連携を図りながら子育て家庭への支援を図ることができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	31,812	31,812	10,392	10,392			11,028

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	児童手当事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	15歳到達後最初の3月31日までの間にある児童（中学修了前までの児童）を養育している方に支給されます。	家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的としています。

事業の実施内容

1. 児童手当の種類などについて

児童手当の支給対象は、15歳到達後最初の3月31日までの間にある児童(中学校修了前の児童)を養育している方で、手当を受給するには、一定の所得制限があります。支給額は月額で3歳未満の児童は一律15，000円、3歳以上小学校修了前の児童は10，000円（※第3子以降は15，000円）、中学生は一律10，000円となっています。また、所得制限限度額以上の場合は特例給付として月額一律5，000円を支給し、所得上限限度額以上の場合は支給無しとなります。なお、「被用者」とはサラリーマンなど厚生年金に加入している方のことで、「非被用者」とは自営業者など国民年金に加入している方のことです。

※「第3子以降」とは、高校卒業まで（18歳到達後最初の3月31日まで）の養育している児童のうち、3番目以降をいいます。

2. 児童手当の支給状況　　◆扶助費決算額　922，685 千円

区分			手当月額(円)	基礎となる延児童数(人)	支給額(円)
児童手当	被用者	0歳～3歳未満	15,000	12,117	735,875,000
		3歳～小学校修了前	10,000	30,427	
			15,000	9,022	
		小学校修了後中学校修了前	10,000	11,452	
			計	63,018	
	非被用者	0歳～3歳未満	15,000	2,389	180,225,000
		3歳～小学校修了前	10,000	7,570	
			15,000	2,612	
		小学校修了後中学校修了前	10,000	2,951	
			計	15,522	
特例給付		被用者	5,000	1,153	6,585,000
		非被用者	5,000	164	
			計	1,317	
				合計	922,685,000

◆需用費　41　千円
◆役務費　649　千円
◆償還金　27　千円

※ 令和4年度10月分からは制度改正に伴い所得上限限度額が設定され、所得がそれを超える場合は児童手当等は支給されません。

事業の成果

子育てや生活支援のために手当を支給することにより、家庭生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することに繋がりました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	965,374	923,402	643,302	139,637			140,463

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	認定こども園事業・補助			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	認定こども園（施設、在園児、保護者）	小学校就学前の児童を受け入れ、幼児教育・保育を一体的に行っていきます。

事業の実施内容

1．入所児童数（令和6年3月1日現在）

※町内在住者のみ　　単位：人

施設名		2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
開邦幼稚園	1号認定	0	4	2	4	10
	2･3号認定	12	21	14	17	64
町内施設　計		12	25	16	21	74
1号認定	光の子幼稚園	1	1	0	0	2
	相愛幼稚園	0	3	0	0	3
	ナザレ幼稚園	2	2	1	1	6
	聖マタイ幼稚園	1	3	0	0	4
	ゴスペル幼稚園	0	1	0	0	1
	童夢認定こども園	0	0	0	1	1
	善隣幼稚園	0	2	2	1	5
	津山幼稚園	0	1	0	1	2
	かぐらこども園	0	0	1	1	2
	米須こども園	0	0	1	0	1
	あおぞらこども園	0	1	0	0	1
	ゆたか認定こども園	0	0	1	0	1
	ドレミ認定こども園	0	1	0	0	1
	識名さつき認定こども園	0	0	1	0	1
	第2愛心こども園	0	1	0	0	1
	愛心こども園	0	2	0	0	2
	ポプラこども園	0	1	1	0	2
	わかば認定こども園	0	1	0	1	2
	浜田ハピネスこども園	0	2	0	0	2
	松の実こども園	0	1	0	1	2
2・3号認定	かぐらこども園	1	0	0	0	1
	松の実こども園	0	0	0	1	1
						0
						0
広域入所　計		5	23	8	8	44
合計		17	48	24	29	118

○認定こども園とは教育・保育を一体的に行う施設で、幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持っている施設です。令和元年度より町認可施設として1園が運営を行っています。

2．運営費支弁額（令和5年度実績）

単位：千円

施設名	運営費
開邦幼稚園（1号）	5,206
開邦幼稚園（2号）	54,678
町内認定こども園運営費（小計）	59,884
広域入所（1号）	66,999
広域入所（2号）	1,707
町外認定こども園運営費（小計）	68,706
合計	128,590

事業の成果

認定こども園においては幼児教育・保育を一体的に取り組むことができ、また、保育の必要理由の有無に関わらず子どもを受け入れることにより、集団活動や異年齢交流も確保できた。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	130,441	128,590	54,605	33,263	0	0	40,722

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	出産・子育て応援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健衛生総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	①出産応援ギフト・・・妊婦1人あたり5万円給付 ②子育て応援ギフト・・こども1人あたり5万円給付	国の施策に基づき、妊娠期から出産・子育てまで一貫して子育て家庭に寄り添い、様々なニーズに即した支援につなぐ伴走型相談支援と応援ギフトの給付を一体として実施することを目的としています。

事業の実施内容

○出産・子育て応援事業とは
　妊娠期から子育て期にかけて安心して生活・育児ができるように、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援（妊娠届出時・妊娠6～8ヶ月頃・出生後の面談等）を行うとともに、経済的支援（妊娠届出後および出産届出後にそれぞれ5万円相当のギフト支給）を行います。

○対象
　申請日時点で南風原町に住所を有し、妊娠届出時の面談（出産応援ギフト）出生後の面談（子育て応援ギフト）を行った妊婦もしくは保護者が対象となります。

①出産応援ギフト・・・妊婦1人あたり5万円給付
②子育て応援ギフト・・こども1人あたり5万円給付

主な経費

出産・子育て応援給付金	59，350千円
会計年度任用職員報酬	8，044千円
その他の経費	794千円
合　　計	68，188千円

＜令和5年度＞※令和4年度からの繰越分を含む

①出産応援ギフト		②子育て応援ギフト		
給付対象件数	628件	給付対象件数	559件	
給付件数	628件	給付件数	559件	
給付率	**100%**	**給付率**	**100%**	
給付金額	31,400千円	給付金額	27,950千円	合計額　59,350千円

事業の成果

妊娠期から子育て期にかけて安心して生活・育児ができるように、保健師や管理栄養士とともに伴走型の相談支援を行いました。
また、経済的支援（出産応援ギフト・子育て応援ギフト）を速やかに給付しました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	85,147	68,188	46,655	8,906			12,627

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	包括的支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889-3534				項	社会福祉費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内在住の高齢者と家族	地域包括支援センターに、社会福祉士・主任ケアマネージャー・保健師等の専門職を配置し、高齢者の心身の健康の保持及び生活の安定のために包括的な支援をします。

事業の実施内容

地域包括支援センターは介護・保健・福祉の専門職がチームとなって、高齢者及び家族からの相談や、高齢者の見守り、心身の状態に合わせた支援などを行う高齢者の総合的な相談支援の拠点です。

1）介護予防支援業務
①　令和5年度予防給付対象者（要支援1・2）　→　延べ2，786人
②　①の方への予防給付ケアマネジメント実施者　→　延べ1，285人

2）総合相談支援業務
相談・支援件数　4，232件

	内容	相談・支援件数（電話・来所・訪問）
1	介護、他生活に関すること	3,284
2	介護保険に関すること	148
3	福祉制度・サービスに関すること	800
	計	4,232

3）包括的・継続的ケマネジメント支援業
①地域ケア会議
福祉課題検討ケア会議では、前年度行った介護負担の調査のアウトリーチから相談窓口について周知が不十分である課題が明らかになったため、介護の日に合わせてイオン南風原にてパネル展を行いました。町社協の事業の説明や家族の会等、地域包括支援センターの介護予防事業や認知症、権利擁護等について周知を行い、出張相談も行いました。
ケアマネジメント支援ケア会議を行い、ケアプランに対して理学療法士・管理栄養士等多職種で自立支援に繋がる助言を行いました。（検討したプラン件数：22件、開催回数は12回）

②地域のケアマネージャーに対する支援
・沖縄県介護支援専門員南部支部の開催（定例会3回、役員会4回）
・支援困難な方への助言、関係機関調整

4）権利擁護業務

内　容	相談・支援延べ件数	相談対応実件数	新規相談実件数
高齢者虐待に関すること	873	24	21

成年後見制度に関すること　　町長申立：1件　　報酬助成：9件

主な経費　人件費（社会福祉士等）　23，009千円
委託料　13，293千円
使用料　2，071千円
その他　642千円

事業の成果

高齢者の様々な相談に関して、各関係機関と連絡調整し包括的に支援を実施しました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	40,149	39,015				39,015	0

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	生活支援体制整備事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889－3534				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内在住の高齢者及び地域住民、民間企業、社会福祉法人等	生活支援・介護予防サービスの充実に向けて、地域住民、ボランティア、民間企業、社会福祉法人等、多様な主体が関わり、地域における支え合いの体制作りを推進します。生活支援の担い手の養成や地域資源の開発、ネットワーク化などを行います。

事業の実施内容

1）生活支援コーディネーター業務　（町社会福祉協議会へ委託、2名配置）

主な経費：生活支援コーディネーター委託料　　6，166千円

活動内容		件数
資源開発	資源開発の情報収集	16
	地域への働きかけ	90
	関係機関への働きかけ	6
	生活支援の担い手・サービス開発	3
	計	115
ネットワーク構築	地域のネットワークづくり	330
	サービス提供主体間の連携体制づくり	34
	計	364
ニーズと取組みのマッチング	個別ニーズとサービスのマッチング	3
	社会資源の情報提供	50
	地域の支援ニーズとサービス提供主体の活動のマッチング	6
	計	59
その他	協議体に関すること	28
	ニーズ把握	50
	その他	118
	計	196
合　計		734

○ 地域の活動のサポート・周知

地域が企画したやりたいこと、やってみたいことができるようサポートし、地域住民が集まるイベントを開催することができました(女子カフェ、ナイトシアター等)。地域活動について町社協広報紙へ掲載したり、ポスターやチラシ等を作成し、各地域へ配布し周知を行いました。他の地域の活動を知ることで刺激となり、自分の地域でもやってみたい、という意欲へ繋げることができました。

○お宝探し講座開催

CLC（特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター）から講師を招き、新川・宮平・照屋・喜屋武の住民に対し、地域のお宝（つながりや支え合い）について講演していただきました。住民自身がふだん何気なく行っている活動に意味づけを行うことで、活動継続の意欲や自分の地域に対する愛着を高めることができました。

○地域のお宝発表会開催

生活支援コーディネーターが見つけた地域のつながりや支え合いを「地域のお宝」と認定し、町長による表彰を行いました。表彰を行う事で活動当事者の誇りや励みとなり、活動の継続につながるとともに、発表会に参加している他の地域の住民に対しても地域づくりに対する意識を高めることができました。

2）生活支援体制整備事業　協議体

「地域の情報交換会」としてお宝発表会と同時開催し、多くの地域住民が参加し、自分の地域を振り返る機会となりました。さらに、他の地域と意見交換を行うことで、課題解決のヒントや今後の地域活動のきっかけを得ることができました。

事業の成果

これまでコロナによって、できなかった事業活動もありましたが、協議体を開催することができ、「地域のことを地域の皆で話し合っていく」ことができる関係づくりができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	7,032	6,166				6,166	0

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	家族介護支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889-4416				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	高齢者等を自宅で介護している家族	家族が介護技術や保健福祉制度、介護者自身の健康づくりについて学び、精神的・身体的負担の軽減を図ります。また、家族同士の交流や情報交換及びレクリエーション等を通して、介護疲れを癒し、心身のリフレッシュを図ります。

事業の実施内容

1）家族介護者等支援事業　　決算額　：　310千円

	参加者
① ピクニック「トリムリサイクル工場見学～くがに市場」	17人
② 介護教室１「バラエティエクササイズ～運動を身近に感じよう～」講師：日吉知美 氏	9人
③ 介護教室２「体と脳を元気にする生活習慣～コグニサイズにチャレンジ！～」講師：屋良利枝 氏	14人
④ 介護教室３「みんなで考えよう血管若返りのコツ～血管はいくつになっても若返るってホント？」講師：真謝雅代・高良康雄 氏	10人
⑤ 介護教室４「認知症予防と笑いヨガについて～健康長寿の秘訣は笑いにあり～」講師：嘉数世利子 氏	5人

2）老人福祉医療助成金支給事業　　決算額　：　3，973千円　　支給人数　：　146人

在宅や入院中の要介護高齢者に対し、健康保険等の保険外負担となっているオムツ代の助成をしました。

3）介護用品支給事業　　決算額　：　308千円　　支給人数　：　5人

在宅で高齢者を介護している家族に対し、介護用品を支給することで、家族の負担を軽減し、要介護者の在宅生活の継続と向上を図りました。

4）南風原町介護者の会（にじの会）補助金　　決算額　：　100千円

介護者間の連携を密にし、協力と助け合いでよりよい介護に繋げ、在宅で安心して介護ができることを目的に結成された「にじの会」へ補助金を交付することにより、家族介護者の介護負担や介護疲れを軽減し、要介護者の在宅生活の継続と福祉の向上に向けて支援しました。

事業の成果

日頃の介護負担や介護疲れを軽減し、心身のリフレッシュを図りました。また介護用品やオムツ代等の経費を一部負担することで経済的負担を軽減し、在宅介護の福祉向上が図れました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,255	4,691				4,691	0

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	高齢者地域支援体制整備・評価事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889-4416				項	社会福祉費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯	介護保険で要介護に該当しない日常生活に支障のある高齢者世帯にホームヘルパーを派遣し、生活援助や定期的に電話をかけることで心のふれあいや健康状態を確認し、高齢者の自立と社会参加を図ります。

事業の実施内容

1）軽度生活援助事業　　委託料　：　372千円

介護保険の認定を受けてない高齢者で、日常生活を営むことに支障がある高齢者に対してホームヘルパーを派遣し、生活援助を行い、健康の保持及び生活の安定に向けて支援を行いました。

実人数　：　3人　　延べ人数　：　21人　　派遣時間　：　195時間

【　軽度生活援助サービス事業実績　】

	利用人数	派遣回数	派遣時間
4月	3	15	23.0
5月	3	16	22.0
6月	3	12	19.0
7月	3	8	15.0
8月	1	7	14.0
9月	1	7	14.0
10月	1	6	12.0
11月	1	12	12.0
12月	1	8	16.0
1月	1	7	14.0
2月	1	7	14.0
3月	2	11	20.0
合計	21	116	195.0

2）ふれあいコールサービス事業　　委託料　：　399千円

一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯に対し、定期的に電話をかけることで、健康状態や安否の確認及び心のふれあいを図りました。

【　ふれあいコールサービス事業利用者実績（月別）　】

	人数	回数
4月	16	133
5月	16	128
6月	16	126
7月	16	116
8月	14	90
9月	14	114
10月	14	114
11月	14	110
12月	14	106
1月	14	89
2月	12	79
3月	13	117
合計	173	1,322

利用者実人数　：　16人
利用者延べ人数　：　173人

次ページへつづく →

事業の実施内容

3)高齢者日常生活用具給付等事業　　22千円

高齢者の自立支援や介護予防を促進する事を目的に、日常生活用具の給付を行いました。(利用者世帯の所得に応じて費用負担が異なります。)

用 具 等	利用者数	金　額
歩行支援用具	0人	0千円
入浴補助用具	1人	22千円
腰掛便座	0人	0千円
合　計	1人	22千円

4)外出支援サービス事業　　3，259千円

公共交通機関を利用することが困難な高齢者について、リフト付き車輌により医療機関への送迎を行っています。また歩行に不安があるため、高齢者サロンや一般高齢者介護予防通所事業等への参加が困難な高齢者に対しても、送迎を行いました。

【 外出支援サービス事業利用者等実績(月別) 】

	高齢者支援		サロン活動等	
	人数	回数	人数	日数
4月	23	44	107	17
5月	16	27	86	13
6月	15	30	83	12
7月	12	21	87	14
8月	12	23	49	8
9月	8	13	102	15
10月	16	26	120	15
11月	14	25	88	13
12月	16	30	109	15
1月	10	18	72	15
2月	11	20	88	14
3月	89	25	89	15
合計	242	302	1,080	166

※実績表(月別)の高齢者支援の項目は高齢者の居宅と医療機関等との間の送迎。サロン活動等は高齢者の居宅と介護予防事業等を提供する場所との間の送迎。

5)高齢者外出支援タクシー利用料金助成事業　　751千円

75歳以上で非課税世帯の高齢者がタクシーを利用する場合に、経済的負担の軽減や日常生活の利便性向上を図るため、タクシー初乗り運賃相当(560円、R6年1月から600円)のチケットを1ヶ月につき4枚を助成しました。対象者は次の①～④全てに該当する方になります。

①75歳以上(介護保険施設、高齢者向け施設入所者を除く)のみで構成される世帯の方
②住民税非課税世帯であること
③世帯内に自家用車を所有している方がいないこと
④町内及び近隣市町村に自家用車を所有する協力的な親族がいないこと

令和5年度は、43名(1,080回)の方へチケット交付をおこないました。

主な経費:システム保守委託料等　126千円、 タクシー協会委託料　625千円

事業の成果

高齢者が安心した生活が送れるように、在宅生活を支えるサービスを提供し、自立した生活の支援および社会参加を図りました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,796	4,803					4,803

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	介護予防事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889-4416				項	社会福祉費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内在住の高齢者	地域における65歳以上の高齢者ができる限り要介護状態に陥る事なく、健康でいきいきとした生活が送れるよう、介護予防事業の充実を図ります。

事業の実施内容

1．一般高齢介護予防通所事業（地域型）　11,961千円

地域の公民館を拠点に、地域ボランティアの協力のもと、健康チェックやレクリエーション等を通して生きがいと健康づくり、介護予防、交流の場の提供、社会参加の促進と社会的孤立感の解消等の支援をしました。

主な経費：一般高齢介護予防通所事業委託料　11,961千円
実施自治会等：19カ所
参加者数：（延べ人数）4,285人

2．食の自立支援サービス事業（配食サービス）　1,676千円

毎日の食事の確保が困難な高齢者の栄養バランスを整えるとともに、定期的な訪問による安否の確認を行うことで、食の確保と健康維持、安全を確認する等の生活の支援をしました。

主な経費：栄養改善事業委託料　1,676千円
実利用者数：15人　　配食数：3,117食

3．高齢者水中運動教室　5,117千円

膝・腰などの関節に疾患がある方等を対象に、水中で浮力を使って効果的に運動することにより、身体機能を高めバランス能力を向上させ転倒予防を図りました。

主な経費：一般介護予防事業　水中運動教室委託料（一般・フォローアップクラス）　3,197千円
短期C介護予防・生活支援サービス事業　水中運動教室委託料（通年）　1,920千円
参加者数：一般クラス（実人数）13人、（延べ人数）181人
フォローアップクラス（実人数）28人、（延べ人数）783人
スイスイ運動教室（短期C）　（実人数）21人、（延べ人数）553人

4．運動機能向上事業（《元気アップ事業》訪問型サービス事業）

健康運動指導士・リハビリテーション職の専門職が、要介護状態及び要支援状態になるおそれのある高齢者の居宅を訪問し、要介護状態等になることを予防します。今年度は、本町会計任用職員の運動指導士において、訪問し運動指導等を行いました。

主な経費：講師謝礼金　0千円
利用者数：7人（実施回数：31回）

5．運動機能向上事業（通年型介護予防事業）　776千円

自主活動に繋げることを条件として希望する5地区へ、字公民館等にて、運動指導士等を派遣することにより運動習慣を身につけ、筋力柔軟性の向上を図ることで要介護状態となることを予防するための支援をしました。

主な経費：講師謝礼金　776千円
実施場所：山川集落センター・与那覇公民館・宮城構造改善センター、
兼平自治会集会所、第2団地集会所
参加人数：参加人数（実人数）80人、（延べ人数）1,227人、実施回数 152回

6．介護予防リーダー養成講座

介護予防の重要性についての講話や体操等の実技指導を行うことで、介護予防の担い手として活動する地域の介護予防サポーターを養成しました。今年度は、町社協と町保健師でタイアップし、町の介護の状況について学びましました。

主な経費：講師謝礼金　0千円
参加人数：（実人数、延べ人数）15人、実施回数：2回

次ページへつづく →

事業の実施内容	

7．リハビリテーション専門職派遣事業　528千円

地域における介護予防の取り組みを機能強化し、要介護状態になっても生きがい・役割を持って生活できる地域の実現を目指し、高齢者の自立支援に対する取り組みを図りました。

主な経費：講師謝礼金　528千円
実施場所：ちむぐくる館、各字公民館・集会所（一般高齢介護予防通所事業(地域型)）
実施回数:56回

8．その他各種介護予防事業等

①一般介護予防事業　高齢者筋力トレーニング教室（通年）　2,587千円

専門事業者による個々に合わせたプログラムで、自重負荷運動やマシントレーニング等活用した運動指導と介護予防に関する講話を行いました。

主な経費：委託料　2,587千円
参加者数：（実人数）56人、（延べ人数）620人

②介護予防・生活支援サービス事業　ちゃーがんじゅう教室　3,820千円

専門事業者による個々に合わせたプログラムで、自重負荷運動やマシントレーニング等活用した運動指導と介護予防に関する講話を行いました。

主な経費：委託料　3,820千円
参加者数:ちゃーがんじゅう教室（短期C）　（実人数）35人、（延べ人数）813人

③ノルディックウォーキング教室
2本のポールを使用し、関節・膝の負担を軽減しながらウェーキングを行いました。
参加人数:（実人数）10人、（延べ人数）63人

④介護予防ヨガ教室
介護予防のため、ヨガを通して筋力や持久力、バランス能力低下の予防を図りました。
参加人数:（実人数）19人、（延べ人数）122人

⑤操体事業　240千円

介護予防を目的とした健康体操の一つとして、操体法の講師を月2回派遣し、高齢者の運動機能の低下防止を図りました。

主な経費：講師謝礼金　240千円　実施場所：ちむぐくる館、津嘉山公民館
参加者数：（実人数）37人、（延べ人数）516人

⑥総合事業プラン作成委託料　3,426千円

要支援1．2及び基本チェックリストにより生活機能の低下がみられた方に対し、総合事業によるサービス等が適切に提供できるようケアマネジメントしました。

主な経費：総合事業プラン作成委託料3,426千円

9　その他
介護予防事業をスムーズに行うための経費
イ、介護予防事業保健師・看護師報酬　9,704千円
ロ、介護予防広報用パンフレット印刷・消耗品等　276千円
ハ、施設使用料　119千円

事業の成果	
介護保険事業における地域支援事業を活用し、令和4年度は介護予防・日常生活支援総合事業（介護予防・生活支援サービス及び一般介護予防事業）を実施し、高齢者（65歳以上）が要介護状態にならないための予防又は要介護状態の軽減若しくは悪化の防止を図ることができました。	
『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	41,109	40,230				40,230	0

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	認知症施策推進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889－3534				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内在住の高齢者と家族	認知症に関する相談や、必要な医療・サービスに繋がるよう支援を行います。認知症理解や地域での見守りを広げるための活動を行っていきます。

事業の実施内容

認知症地域支援推進員を配置し、個別訪問を中心に活動し、本人や家族に対して認知症に関する相談や、必要な医療・サービスに繋がるよう支援を行っています。
認知症の理解や地域での見守りを広げるため、認知症サポーター養成講座を開催しています。
また、認知症初期集中支援チームにて、早期に医療・サービスにつなぐ支援を実施しました。

■ 認知症地域支援推進員の主な仕事
(1)認知症の人やその家族を支援する相談業務
(2)医療機関や介護サービス地域の支援機関をつなぐコーディネーター
(3)認知症に関する理解・知識・制度等の住民への周知
(4)認知症サポーター養成講座の実施
(5)認知症に関する社会資源等の情報収集及び提供

①活動実績
対応件数（延べ人数）：501件

② 認知症サポーター養成講座
開催回数：3回

③認知症初期集中支援チーム
チーム員会議：12回

④認知証カフェ
開催回数：6回

主な経費　看護師嘱託員報酬等：　4，070千円
初期集中支援チーム報償費：　140千円
消耗品費等：　62千円

事業の成果

認知症本人・家族への個別相談を中心に活動しました。
認知症サポーター養成講座を町内3小学校で実施、認知症カフェを2回開催し、認知症に関する理解を拡めることができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,538	4,272				4,272	0

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	介護保険運営事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889-4416				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	介護保険事業費	09

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	介護保険第1号被保険者（65歳以上）及び第2号被保険者（40歳～64歳）	沖縄県介護保険広域連合へ負担金を支出し、介護保険事業の安定的な運営を図ります。

事業の実施内容

1. 令和5年度沖縄県介護保険広域連合への負担金　402，393千円

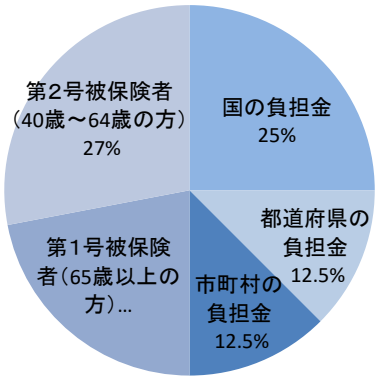
沖縄県介護保険広域連合負担金内訳　　単位：円

会計区分	事業項目	負担金額
一般会計	共通経費	45,058,159
	介護認定に関する経費	21,151,415
	国・県補助事業に関する経費	10,601,718
	令和4年度決算に伴う負担金	1,428,011
一般会計に要する経費小計		78,239,303
特別会計	介護給付に要する経費	300,729,198
	地域支援事業に係る負担金	23,424,750
特別会計に要する経費小計		324,153,948
介護保険広域連合負担金合計		402,393,251

2. その他の経費
　イ、介護保険窓口業務会計年度任用職員報酬等　4，497千円
　ロ、消耗品費、通信運搬費、委託料等　70千円

【 介護保険制度の財源内訳 】

全体（100%）
- 公費（50%）
  - 国の負担金 ・・・・・・・・（25%）
  - 都道府県の負担金 ・・（12.5%）
  - 市町村の負担金 ・・・・（12.5%）
- 保険料（50%）
  - 第1号被保険者 ・・・・・（23%）（65歳以上の方）
  - 第2号被保険者 ・・・・・（27%）（40歳～64歳の方）



事業の成果

介護給付・予防給付費に要する費用の一部を負担金として沖縄県介護保険広域連合に支出しています。構成する29市町村の介護保険業務を広域的に運営し、保険料やサービスの適正化等を図っています。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	406,993	406,960					406,960

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	重度心身障害者医療費助成事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889－4416				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	心身障害者福祉費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	心身に重度の障害のある障がい者（児）に対し、医療費の一部を助成します。	医療費の一部を助成することによって保健の向上に寄与し、もって重度心身障がい者（児）の福祉の増進を図ることを目的とします。

事業の実施内容

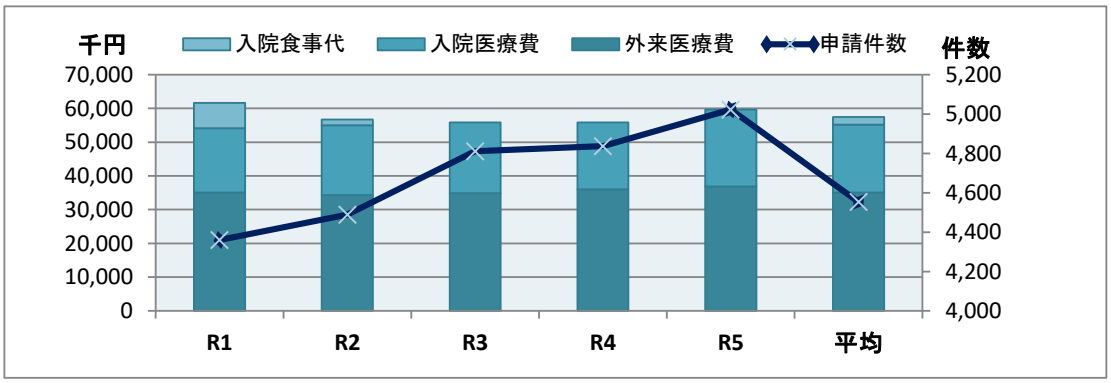
1 印刷製本費　23千円
2 委託料　450千円
3 扶助費　59,609千円
4 備品購入費　183千円

重度心身障がい者（児）医療費助成受給資格者に対し、保険適用診療分の医療費の自己負担額を助成しました。（所得制限があります）

＜受給対象者（障害程度）＞
- 身体障害者手帳1級または2級
- 療育手帳A1またはA2
- 身体障害者手帳3級かつ療育手帳B1
- 療育手帳B1かつ障害基礎年金1級受給
- 療育手帳B1かつ特別児童扶養手当1級受給

◆ 医療費助成の内訳
対象者数・・・717名　申請件数（延べ）・・・ 5,023件（月平均419件）
助成額（総額）・・・ 59,608,150円　うち外来医療費・・・ 36,908,991円
うち入院医療費・・・ 22,699,159円
※入院食事代はR2年4月診療分以降廃止

◆ 医療費助成額の推移



（単位：円）

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平均
申請件数	4,373	4,489	4,811	4,837	5,023	4,628
外来医療費	35,073,081	34,268,997	34,873,866	36,031,140	36,908,991	35,061,771
入院医療費	19,110,659	20,749,016	20,937,357	19,797,829	22,699,159	20,148,715
入院食事代	7,445,891	1,678,280	0	0	0	2,281,043
合計	61,629,631	56,696,293	55,811,223	55,828,969	59,608,150	57,491,529

事業の成果

重度心身障がい者（児）の医療費負担軽減を図り、健康増進及び福祉の向上を図ることができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	60,683	60,265		29,790			30,475

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	自立支援医療費（更生・育成医療・療養介護）事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	098-889－4416				項	社会福祉費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	心身障害者福祉費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	【更生医療】18歳以上の身体障害者手帳を有する者 【育成医療】18歳未満の特定の障害を有する児童または、現存する疾患を放置すると将来においてこれらの障害を残すと認められる児童	身体の障害またはその原因となる疾患を除去・軽減する手術等の治療によって確実に効果が期待できる医療に対して、自己負担額を軽減することにより適切な医療受診及び自立支援を図ります。

事業の実施内容

◎更生医療とは

更生医療は疾病、事故、災害等による身体的損傷が、一般医療によってすでに治癒（欠損治癒や変形治癒等の不完全治癒）した身体障がい者に対し、日常生活能力、社会生活能力または職業能力を回復または向上、もしくは獲得（更生）させることを目的として行うものです。

・更生医療給付費　53,594 千円　　・更生医療審査事務委託料 75千円

更生医療費給付実績　　単位：円

	給付件数	医療費総額	保険負担	自己負担	公費負担
心　臓	17	57,616,110	54,730,225	112,165	2,773,720
じん臓	248	448,368,364	396,904,511	4,617,466	46,846,387
肢体不自由	2	0	0	0	0
その他	17	10,380,880	6,256,732	150,399	3,973,749
合　計	284	516,365,354	457,891,468	4,880,030	53,593,856

・償還金　116千円

◎育成医療とは

育成医療とは身体上の障害を有する児童又は現存する疾患を放置した場合、将来において障害を残すと認められる児童に対し、健全な育成を図ることや生活の能力を得るために必要な医療のことです。

・育成医療給付費　3,705　千円　　・育成医療審査・判定事務委託料　49千円

育成医療費給付実績　　単位：円

	給付件数	医療費総額	保険負担	自己負担	公費負担
心臓	0	0	0	0	0
じん臓	2	1,599,480	1,424,617	21,236	153,627
肢体不自由	8	14,583,989	11,330,748	42,708	3,210,533
音声・言語等	5	1,139,580	927,307	47,412	164,861
聴覚・平衡機能	0	0	0	0	0
その他	6	1,592,630	1,401,765	15,000	175,865
合　計	21	18,915,679	15,084,437	126,356	3,704,886

※自立支援医療（更生・育成）の対象施術
・心臓手術（冠動脈バイパス術、ペースメーカー埋込術、ｽﾃﾝﾄ留置術など）
・人工透析・腎臓移植手術など　　・唇顎口蓋裂にかかる手術や歯科矯正

◎療養介護とは

医療を必要とするとともに、常時介護を必要とすると認められた障がい者（児）に対して、病院や施設等で機能訓練、療養上の管理、看護を行う医療費のことです。

・療養介護医療費　7,341　千円　　・療養介護医療審査事務委託料　5千円

事業の成果

更生医療・育成医療、それぞれにおいての必要な医療を、各医療機関及び県判定機関との連携を図りながら実施することで自立支援を行うことができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	69,729	64,885	34,663	16,932			13,290

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	市町村地域生活支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	098－889－4416				項	社会福祉費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	心身障害者福祉費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	地域で生活する障がい者及び障がい児を対象としています。	障がい者（児）が自立した日常・社会生活を営むことができるよう、南風原町の特性や障がい者（児）のニーズに応じた事業を実施していきます。

事業の実施内容

1．相談支援事業

・障がい者相談支援　15,905千円

地域の障がい者（児）の福祉に関するいろいろ問題について、障がい者本人や家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等を行う為の事業を町社協へ委託し実施しました。（R5延べ相談件数：3,312件）

・基幹相談支援センター　5,168千円

相談支援体制の強化・困難事例や相談支援専門員への助言・相談支援員の人材育成・地域移行及び定着支援事業の促進・関係機関ネットワークの構築・権利擁護及び虐待防止体制の支援・自立支援協議会運営体制の支援等に取り組みました。

2．意思疎通支援事業

・設置手話通訳者報酬等　2,967 千円
・手話・要約筆記奉仕員派遣謝礼金　673 千円
・手話奉仕員派遣事業委託料　384 千円
・通信運搬費（手話通訳用タブレット等）　229 千円
・奉仕員傷害保険料　22 千円
・頸肩腕症検診料　23 千円
・手話奉仕員養成事業委託料　468 千円

意思疎通を図ることに支障のある聴覚障がい者の支援を目的に、手話通訳者を設置し庁舎内での手話通訳や、要望に応じて通院、学校行事（三者面談、家庭訪問など）への派遣、団体主催の講演会や職場会議などでの手話通訳及び要約筆記（斡旋含む）のコーディネートを行っており、令和5年度は275件の通訳依頼がありました。また、時間外や緊急時への手話通訳派遣対応として沖縄県聴覚障害者協会に委託しました。

3．子ども発達支援事業

・発達支援心理士報酬等　2,506千円
・謝礼金（ペアレント・プログラム託児）　56千円
・発達支援事業委託費　6,052千円
（親子通園事業　巡回訪問支援事業　ペアレントプログラム）

子どもの発達が気になる段階から保護者や支援者等に対して子の健やかな発達支援を図るための支援を各種事業を通して行いました。

□発達相談事業　発達が気になる未就学児童の保護者等に対して健診会場や個別での発達相談を行う事業（R5実績　健診時相談：182件　個別相談：36件）
□親子通園事業　親子で通園し、小集団による療育を行う事業（R5実績 14組48回）
□巡回支援専門員派遣事業　保育所等への巡回訪問支援を行い保育士等に対して助言等を行う事業（R5実績 13園90人）
□ペアレントプログラム　子どもの良いところを見つけ”ほめるコツ”を学び子育てが楽しくなる講座（R5実績　前期：5人　後期：6人）

4．自立支援協議会

・協議会委員謝礼金　72千円

相談支援事業をはじめとする地域の障がい福祉に関する体制づくりに関し、中核的な役割を果たす「南風原町障がい者自立支援協議会」を開催しました。

5．声の広報等発行事業　441千円

ボランティアの方が、毎月町広報と社協だよりをCD等に録音し、視覚障がい者を対象に配布する事業を町社協に委託し実施しました。令和5年度の利用者は約16人でした。

次ページへつづく →

事業の実施内容	6. 福祉機器リサイクル事業　137千円 福祉機器の有効利用を図るため、不用になった福祉機器を回収し必要とされる方へ貸し出す事業です。町では社会福祉協議会へ業務を委託しています。令和5年度は、車イス、電動ベッド、ポータブルトイレ、シャワーチェア、歩行器等において38件の利用がありました。 7. 地域活動支援センター事業　5,000千円 障がい者の居場所づくりや地域活動の支援のために、創作活動や生産活動を行う基礎的事業を「てるしのワークセンター」に委託し実施しました。 8. 社会参加促進事業　200千円 障がい者・障がい児が個々の能力や適性に応じて自立した日常生活を営む事ができるようにスポーツ教室を開催しさまざまな運動を行いました。 9. 日常生活用具給付事業　6,533千円 障がい者(児)の日常生活の便宜をはかるため、日常生活用具の給付をおこなっています。令和5年度は173件の用具給付実績がありました。 10. 移動支援事業　3,586千円 屋外での移動が困難な障がい者(児)への余暇活動などの社会参加促進のため、外出時の移動の支援を行いました。 11. 日中一時支援事業　1,736千円 障がい者(児)が充実した生活をおくれるよう、また日常的に障がい者(児)を介護している家族の一時的な休息(レスパイト)を図るため、障がい者(児)の日中における活動の場を提供する事業を行いました。 12. 地域活動支援事業支払委託料　19千円 13. 障害程度区分認定調査等事業 障がい者の介護の必要度を認定する為の調査及び認定審査会での審査を行いました。 ・区分認定調査員報酬(介護福祉士)　5,285千円 ・主治医意見書作成手数料　532千円 14. 成年後見制度利用支援事業費　423千円 15. 障害者週間にかかる啓発事業　21千円 16.障がい者虐待防止対策支援事業　61千円 17. 償還金　349千円 18.補償、補填及び賠償金　2,473千円 委託事業において、消費税非課税事業と誤認し委託していましたが、受託先が消費税修正申告を行ったため、当該事業に係る消費税相当額及び附帯税相当額の保証金等を受託先へ支出しました。

事業の成果		
	地域生活支援事業で行う各種事業を通じて、障がい者(児)が自立した日常生活・社会生活が営むことができるよう事業推進に取り組みました。	
	『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
	・手話奉仕員養成講座修了生の数:7人 ・親子通園事業利用者数:10組 ・ペアレントプログラム参加者数:12人 ・地域活動支援センター利用者数(延べ):1,200人 ・レクリエーション活動支援事業(Mixスポーツ)参加者数(延べ):180人	・手話奉仕員養成講座修了生の数:6人 ・親子通園事業利用者数:14組 ・ペアレントプログラム参加者数:11人 ・地域活動支援センター利用者数(延べ):1,251人 ・レクリエーション活動支援事業(Mixスポーツ)参加者数(延べ):136人

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	67,135	61,321	8,491	4,646			48,184

令和5年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	介護給付・訓練等給付事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889－4416				項	社会福祉費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	心身障害者福祉費	03

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
○身体に障がいのある方 ○知的障がいのある方 ○精神障がい（発達障害を含む）のある方 ○難病等の方（対象疾患に該当する方） ※すべて児童を含む	障がい児（者）が特性に応じた日常生活等を営むことができるように、個々に即したサービスの支給を行い、福祉の増進を図ります。また、障がいの有無にかかわらず、地域住民が尊重し合い、安心して暮らせる地域社会の実現に寄与します。

事業の実施内容

1. 自立支援給付費　1,024,764 千円

内訳

サービスの種類	決算額（円）	延べ件数
居宅介護	41,559,023	939
重度訪問介護	28,826,440	97
行動援護	2,079,734	46
同行援護	27,506,542	322
療養介護	28,899,670	102
生活介護	280,668,384	1,295
短期入所	15,823,447	267
施設入所支援	106,439,887	736
共同生活援助（GH）	113,181,646	668
宿泊型自立訓練	3,664,920	33

サービスの種類	決算額（円）	延べ件数
自立訓練（機能訓練）	2,490,471	15
自立訓練（生活訓練）	4,734,734	56
就労移行支援	17,187,120	110
就労継続支援（A型）	48,750,721	291
就労継続支援（B型）	283,818,439	2,230
就労定着支援	371,430	15
地域移行支援	0	0
計画相談支援給付費	18,626,640	1,235
高額障害福祉サービス費	134,790	47
合計	1,024,764,038	8,504

2. 障害児通所給付費　578,436 千円

内訳

サービスの種類	決算額（円）	延べ件数
児童発達支援	147,490,289	1,403
放課後等デイサービス	383,612,039	3,288
障害児相談支援給付費	17,700,790	1,104
高額障害児通所給付費	143,292	42
医療型児童発達支援	1,265,243	36
保育所等訪問支援	28,028,336	610
居宅訪問型児童発達支援	0	0

サービスの種類	決算額（円）	延べ件数
肢体不自由児通所医療費	195,671	35
やむを得ない事由による措置費	0	0
合計	578,435,660	6,518

3. その他費用　内訳　3,201 千円

自立支援給付費事務委託料	1,371,437
障害児通所給付費事務委託料	1,116,416
総合支援ソフト賃貸借料	712,800
合計	3,200,653

4. 補装具給付費（購入・修理）　7,827 千円

内訳

補装具の種類	購入		修理	
	決算額（円）	延べ件数	決算額（円）	延べ件数
義肢	0	0	356,802	1
装具	1,501,096	13	103,370	6
座位保持装置	1,090,347	4	933,152	3
盲人安全杖	29,144	5	0	0
義眼・眼鏡	21,000	1	0	0
補聴器	728,945	10	219,954	12
車椅子	1,397,392	5	291,498	4
電動車椅子	597,370	1	254,050	4
座位保持椅子	266,228	3	0	0
歩行器	20,500	1	0	0
歩行補助つえ	16,599	1	0	0
重度障害者用意思伝達装置	0	0	0	0
合計	5,668,621	44	2,158,826	30

事業の成果

委託相談支援員（町社協CSW）、計画相談支援員、基幹相談支援員、その他関係機関及び地域等と連携し、障がい者（児）の状況に応じた福祉サービスの支給や補装具給付による支援を行うことで、自立生活の促進を図ることができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況

予算額	決算額	決算額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,616,117	1,614,228	791,093	395,546			427,589

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	敬老会事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889－3534				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内在住の80歳以上高齢者	敬老会を開催し長寿を祝います。

事業の実施内容

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と参加者及び関係者の健康と安全を優先に考え、令和2年度から開催中止としていた敬老会を4年ぶりに行いました。

多年にわたり郷土の発展に貢献した町内の80歳以上高齢者を招待して、舞踊・民謡等の余興で長寿を祝いました。

1. 敬老会飲食代等　　442千円

2. 敬老会余興代　　150千円

※令和5年度は240名余の参加がありました。

【　敬老会の様子　】

事業の成果

高齢者の人口増加に伴い、会場の収容規模に対し参加者が多く見込まれることから、安全性の確保のため対象年齢を70歳以上から80歳以上に引き上げ、更に感染症対策の観点から、午前・午後と2回に分けて開催しました。客席の様子から次年度からは1回での開催も検討しています。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,091	592				0	592

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	高齢者慶祝記念品贈呈事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889-4416				項	社会福祉費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	トーカチ、カジマヤー、新100歳の高齢者に記念品を支給します。	老人の日の前後に各対象者宅を訪問し長寿を祝います。

事業の実施内容

高齢者の長寿を祝い、多年にわたり社会に貢献した功績に感謝し、慶祝記念品を贈呈しました。

○ 慶祝記念品等　　1，819千円

トーカチ（88歳）　・・・・・　99人

カジマヤー（97歳）・・・・・　30人

新100歳　　・・・・・　10人

↑　町長による慶祝訪問での記念品贈呈

事業の成果

長年にわたり社会に貢献してきた功績に感謝し、あわせて敬老思想の高揚を図るため、慶祝記念品を贈呈しました。希望者に対しては、感染症予防対策を図りながら、ご自宅等へ訪問し、記念品を贈呈するなど、長寿を祝いました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,855	1,819					1,819

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	敬老月間啓発事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889－3534				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内在住の65歳以上高齢者	外出する機会が少ない高齢者でも場所を問わずに運動してもらうことで、フレイル（加齢により心身が衰える状態）予防を図ります。

事業の実施内容

Ⅰ．事業概要

南風原町の高齢者が場所を問わずに元気でいきいきと運動でき、身体機能低下の改善を図る目的で、自宅参加型のイベントを開催しました。参加した方には抽選でお米券や、ツナ缶、サバ缶を景品として贈呈しました。

①事業内容

高齢者が自身でできる運動をして、広報はえばる9月号又は同イベントチラシに掲載されているスタンプカードに運動した日にサインします。サインが20個たまると応募でき、抽選で健康関連グッズ等景品を贈呈するものです。

②開催期間：9月１日～10月10日まで

③対象者：令和6年3月末時点で65歳以上で本町に在住の方

Ⅱ．実施結果

①参加者数

令和6年3月末時点で本町在住65歳以上の方約8,000名のうち、650名を見込んでいましたが結果は365名で参加率は4.6％でした。

（単位：名）

男性	女性	合計
139	226	365

（単位：名）

60代	70代	80代	90代以上	合計
62	195	92	16	365

主な経費　賞品代　680千円
印刷製本費　133千円
その他　23千円

令和5年度の贈呈式の様子　⇒

事業の成果

今回の企画に対する肯定的な意見・感想は150件あり、「普段行っているウォーキングなどでご褒美がもらえるようで嬉しい」、「素晴らしい企画だと思います。」、「ずっと継続してほしい。」などの意見が多数見られました。運動を始めるきっかけになったとの声もあり、高齢者の運動機能向上に寄与できました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
参加者数：650人	実際の参加者数：365人

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	950	836				836	0

４　工夫と連携で
産業が躍動するまち

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	農業委員会運営事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　農業委員会	課長名	松本　仁志		款	農林水産業費	06
連絡先	889－4163				項	農業費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農業委員会費	01

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
農業委員、農業者	農地法に基づく許可申請、届け出等の審査及び農地利用状況の調査等を行い、農地利用の適正化を図ります。又、農業者年金事業を通じて老後生活の安定等を図り、担い手の確保に繋げます。

事業の実施内容

	予算額	決算額
・ 農業委員報酬	4,587千円	4,520千円
・ 農地利用最適化推進委員報酬	2,058千円	2,028千円
・ 会計年度任用職員報酬/期末手当	2,393千円	2,094千円
・ 旅費（費用弁償）	517千円	483千円
・ その他（消耗品費等）	370千円	352千円
・ 委託料	1,204千円	1,096千円
・ 負担金、補助及び交付金	83千円	83千円
合　計	11,212千円	10,656千円

○農地法に基づく「許可申請」及び「届出」の状況
・3条申請（　14件）　・4条申請（　6件）　・5条申請（　28件）
・3条届出（　14件）　・4条届出（　5件）　・5条届出（　35件）

▲　農業委員会総会

▲　現場確認・農地パトロール

事業の成果

農地の耕作放棄地解消取組みにおいて、遊休農地取組の促進強化と解消の推進を図りました。
農業者の老後生活の安定、福祉向上のために農業者年金の加入促進に関する研修参加、また担い手への説明を実施しました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	11,212	10,656		1,722		178	8,756

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	地力増強対策事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　産業振興課	課長名	松本　仁志		款	農林水産業費	06
連絡先	889－4163				項	農業費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農業振興費	03

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
農家	土づくり用堆肥の購入費補助をすることで農家の負担を軽減するとともに、土地に栄養を与え、作物を育てる力を強くします。

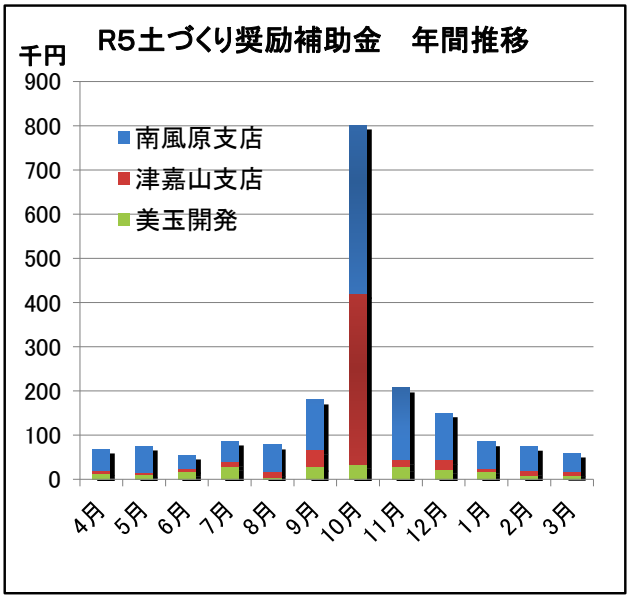
事業の実施内容

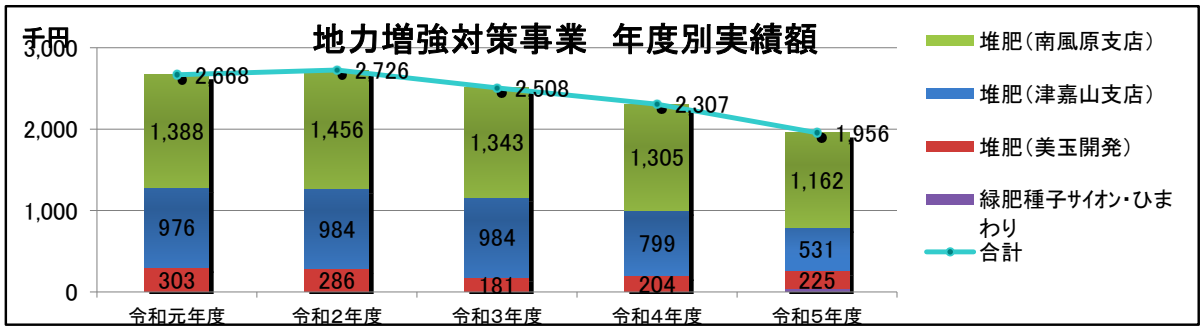
○地力増強対策事業　予算額　2,829 千円　決算　1,956 千円

①土づくり奨励補助金
事業内容：堆肥購入一袋（15kg）に対し50円の補助
予 算 額：　2,728 千円
決 算 額：　1,918 千円
（内訳）
50円 ×　38,356 袋＝　1,917,800 円

②緑肥種子およびサイオン土壌改良補助金
事業内容：対象品目購入費の30％を補助
予 算 額：　91 千円
決 算 額：　33 千円
（内訳）
400円 ×　55　袋＝　22,000 円
420円 ×　12　袋＝　5,040 円
660円 ×　9　個＝　5,940 円

③緑肥ひまわり種子補助金
事業内容：購入費の80％を補助
予 算 額：　10 千円
決 算 額：　5 千円
（内訳）
1,000円 ×　5 袋＝　5,000 円





事業の成果

農作物を作る上で土づくりは大変重要なものであり、堆肥の購入補助は農家の負担を軽減し、圃場の地力増強も図られ、秀品率の向上につなげることができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況

予算額	決算額	決算額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,829	1,956				1,500	456

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	さとうきび振興対策事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　産業振興課	課長名	松本　仁志		款	農林水産業費	06
連絡先	889－4163				項	農業費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農業振興費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	さとうきび農家	本町のさとうきび農家について、苗の無償配布や収穫用ハーベスターの利用料補助、さとうきび競作会の開催など、さとうきび生産振興への寄与を図ります。

事業の実施内容

○春植用さとうきび種苗ほ設置事業　　予算額　540 千円　決算額　169 千円

さとうきび種苗の適切な肥培管理を委託し、町内の希望農家に切り出してもらい無償で配布する事業

肥培管理された「さとうきび」の種苗ほ

○さとうきび収穫機械機能向上支援事業補助金
予算額　2,555 千円　　決算額　2,555 千円

県の一括交付金を活用した事業で、耐用年数を経過したハーベスターの老朽化等により、性能が低下した部品を最新の部品に交換し長寿命化を図ります。

○さとうきび収穫機械利用経費補助金
予算額　　673 千円　　決算額　　372 千円

さとうきび作の生産増加及び効率化を図るための機械化を推進し、ハーベスターの利用経費を補助

ハーベスター

○その他の経費

さとうきび競作会の報償費やさとうきび生産見込調査の消耗品費等

報償費	予算額	72 千円	決算額	14 千円
消耗品費	予算額	37 千円	決算額	29 千円
食料費	予算額	20 千円	決算額	5 千円

事業の成果

苗の無償配布や収穫用ハーベスターの機能向上および利用料補助、さとうきび競作会の開催など、本町のさとうきび生産振興を図りました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,897	3,144		2,612			532

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	農地深耕・荒廃地解消事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　産業振興課	課長名	松本　仁志		款	農林水産業費	06
連絡先	889－4163				項	農業費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農業振興費	03

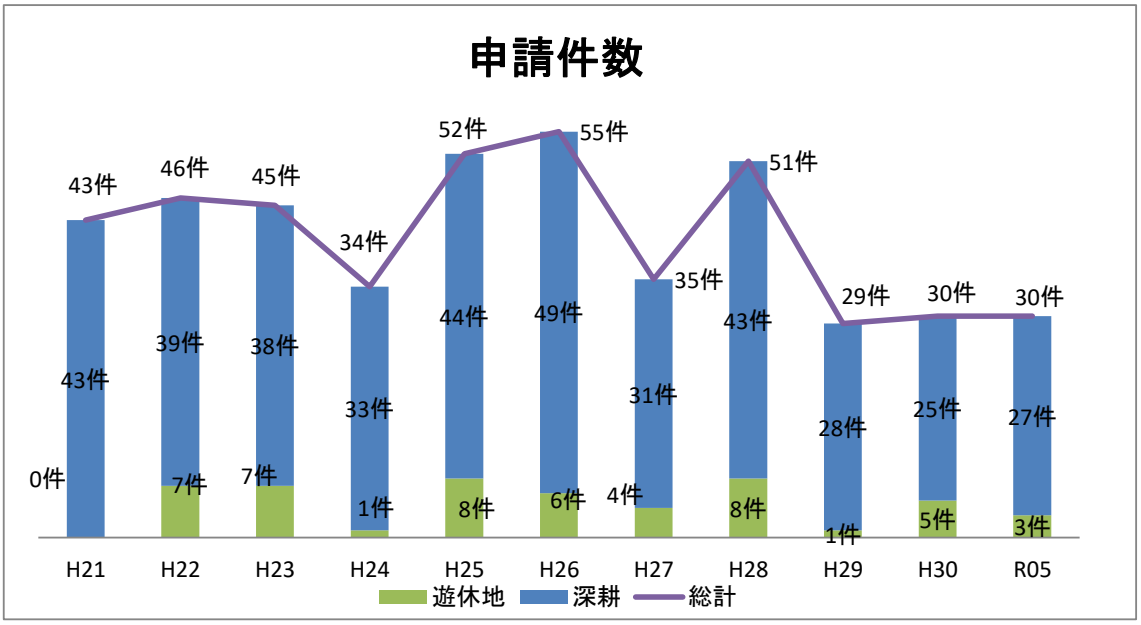
事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
農家	遊休農地の解消及び農地の深耕を奨励し、農業生産と反収の増加を図る。

事業の実施内容

○補助金
予算額 738 千円
決算額 658 千円

○実績
・遊休地　件数 3 件　面積 1,368 坪　交付額 68 千円
・深耕　件数 27 件　面積 23,595 坪　交付額 590 千円



▲遊休地解消前

▲遊休地解消後

事業の成果

令和5年度は30名の農家が町の補助を受けて畑にユンボを入れ、費用負担の軽減及び安定した農業の確立に寄与できました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況

予算額	決算額	決算額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
738	658					658

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	新規畑人支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　産業振興課	課長名	松本　仁志		款	農林水産業費	06
連絡先	098－889－4163				項	農業費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農業振興費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	次世代を担う農業者となることを志向する経営直後の新規就農者	資金の交付を行うことにより、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図り、青年就農者の大幅な増大を図る。

事業の実施内容

○補助金
予算額　4,000 千円
決算額　2,500 千円

○実績
・継続　1 件
・新規　1 件

収穫の様子

収穫したきゅうり

サポート会議の様子

畑の様子

圃場巡回の様子

事業の成果

新規就農者を経済的、経営面において検証等フォローすることで、安定経営に寄与することができた。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,000	2,500	2,500				0

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	多面的機能支払交付金			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　産業振興課	課長名	松本　仁志		款	農林水産業費	06
連絡先	098－889－4163				項	農業費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農地費	05

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	宮城地域資源保全の会 神里地域資源保全の会	地域共同で行う農地等の維持管理に補助を行い地域活性化を図ります。（多面的機能を支える農業者や地域住民、団体等で活動する組織への補助金）

事業の実施内容

・多面的機能支払交付金（事業期間：令和4年度～令和8年度）補助事業
総事業費 ：3,420千円

◆令和5年度　予算額：715千円　決算額：713千円

	予算額	決算額
需　用　費	100千円	100千円
使用料及び賃借料	85千円	85千円
負担金、補助金及び交付金	530千円	529千円

宮城：287千円
神里：242千円

農道草刈り前

→
→
→

農道草刈り後

ファームポンド泥抜き作業

事業の成果

水路や農道の補修及び草刈り、清掃等を行い、農地等の維持管理が出来ました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	715	714		495			219

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	住宅リフォーム支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	野原　義幸		款	商工費	07
連絡先	889－4412				項	商工費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	商工振興費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	住宅リフォームを行う町民（自己所有住宅を町内の施工業者を利用してリフォームした場合）	町民の住宅の質の向上を図るため、住宅リフォーム（対象：省エネ、耐久性向上、バリアフリー改修工事、テレワーク推進改修工事）を行う町民の負担軽減を図ります。

事業の実施内容

住宅リフォーム支援事業　【 予算額　1，071千円　　決算額　866千円 】

・工事費補助金 予算額　　1，067千円　　決算額　　864千円
（主な内訳）

工　種	件数	金額（千円）
省エネ改修工事　（屋根・壁等断熱工事等）	3	510
住宅の耐久性改修工事　（屋根防水・天井内爆裂補修等）	1	154
バリアフリー改修工事　（段差解消等）	1	200
合　計	4	864

・通信運搬費　予算額　　4千円　　決算額　　2千円

省エネ改修工事（屋上遮熱防水工事）　施工前

省エネ改修工事（屋上遮熱防水工事）　施工後

バリアフリー改修工事(嵩上げ)　施工前

バリアフリー改修工事(嵩上げ)　施工後

事業の成果

住宅リフォームを行う町民に補助金を交付することにより、工事費の経済的負担を軽減し、町民の住宅の質の向上に繋がりました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,071	866	388	158			320

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	商工会の育成強化			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　産業振興課	課長名	松本　仁志		款	商工費	07
連絡先	889－4430				項	商工費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	商工振興費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	南風原町商工会	地域商工業、中小企業・小規模企業の経済活動を促進し、商工業の健全な発展を図り、それにより地域産業振興と安定、地域経済の発展に資することを目的とします。

事業の実施内容

○南風原町商工会補助金　　予算額　8,060千円　　決算額　8,060千円

○事業実績

◆経営改善普及事業

①経営指導員による指導件数

巡回指導	259件	窓口指導	1,081件	創業指導	106件

②講習会等の開催

	経営一般	金融	税務	その他
集団	2回	－	4回	1回
個別	－	1回	11回	－

③金融の斡旋

融資種類	斡旋件数	貸付件数	斡旋総額	貸付総額
沖縄振興開発金融公庫	27件	20件	248,350千円	137,000千円
県融資制度	1件	1件	21,900千円	21,900千円

④事務の代行

	委託事業所数	従業員数
労働保険等	78事業所	274人

⑤記帳継続指導

	員数	雇用延日数	指導延日数	対象事業者数	うち機械化数
記帳専任	1人	207	154	77	13

※うち機械化数はネットde記帳利用者数

⑥各種共済加入状況

	加入者数	加入口数
小規模企業共済	121人	－
中小企業セーフティー共済	70人	－
中小企業退職金共済	149人	－
商工貯蓄共済	－	104口
商工会福祉共済	－	39口

⑦講習会、相談会の開催

開催回数	12
参加事業所(延べ)	304

◆地域総合振興事業

・要請活動、視察研修、ルンルンはえばるフェスタ

○南風原町商工会貸付金　　予算額　10,000千円　　決算額　10,000千円

事業の成果

南風原町商工会に補助金を交付し、指導・協力体制の強化を図るとともに、町内企業の育成、経営安定と振興、起業支援、労働者管理改善等を図った結果、地域経済の発展に寄与することができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	18,060	18,060				10,000	8,060

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	商品開発・技術力強化事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　産業振興課	課長名	松本　仁志		款	商工費	07
連絡先	889－4430				項	商工費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	商工振興費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の事業者	地域資源の活用や異業種連携による商品開発・既存商品のブラッシュアップの実施、ブランド認証や販路開拓により、町内事業者が製造及び販売する地域産品の売上の拡大、地域経済の活性化を目指します。

事業の実施内容

■事業概要

本町所在の中小・小規模事業者が、地域資源を活用して製造及び販売する商品を消費者ニーズにあった魅力ある商品へブラッシュアップするための支援を行います。また、商品の製造ラインや販売方法の課題を専門家のアドバイス等により解決を図るとともに、ブランド認証及びプロモーションにより県内外の消費者へ周知し、地域産品の売上の拡大、地域経済の活性化を目指します。

■実施状況

令和5年度は事業者が抱える課題や要望、魅力などの抽出を行ったうえで、テーマ別のセミナー実施や専門家を招聘した相談会を実施するなど多くの商品開発、改良、企業マッチングなどの支援を行いました。また、県内外でテスト販売を実施し、市場のトレンドや顧客ニーズの把握に努め、消費者のニーズに合わせた商品開発（改良）に取り組みました。

販路開拓においては、県内のホテルや百貨店等と9件の商談を実施しました。

ブランド認証においては、新たに6商品を「はえばる良品」として認証しました。

○認定商品（過去3年）の販売実績　　単位：個

No	認定年度	商品名	認定次年度実績	R5年度実績
1	令和2年	南風原カボチャチーズケーキ	1,980	製造停止中
2	令和2年	沖縄キビまる豚ロースとポーク	168	580
3	令和3年	かぼちゃカップスープ	2,256	2,256
4	令和3年	TONPI	65,000	93,924
5	令和3年	南風のかぼちゃ	10,100	10,440
6	令和3年	キビまる豚ソーセージ（かぼちゃ）	188	30
7	令和3年	美ら卵養鶏場のダックワーズ	280	製造停止中
8	令和3年	宵の紅茶	1,254	4,069
9	令和3年	紙と絣のブックカバー	100	25
10	令和3年	Do you HABU シリーズ	200	200
11	令和3年	ちゅら除菌	25	20
12	令和4年	アロマの日焼止めNatural	－	4,336
13	令和4年	津嘉山ロール	－	7,200
14	令和4年	やさいせんべいシリーズ（かぼちゃ・にら）	－	527
15	令和4年	金アグー肉餃子	－	6,522
16	令和4年	小亀シリーズ（塩小亀・味亀・梅小亀）	－	70,000
17	令和4年	かすりのご縁inネームポエム	－	1

次のページへ　→

事業の実施内容	

○出展実績　県内外の催事等全18回出展

・10/4	:	テスト販売：沖縄宝島	参加事業者：10事業者（委託販売）
・11/15	:	テスト販売：リウボウ6階催事場	参加事業者：1事業者
・11/22	:	テスト販売：パレット久茂地前広場	参加事業者：9事業者
・12/15	:	テスト販売：銀座わしたショップ	参加事業者：1事業者
・1/15	:	テスト販売：名古屋グランパス開幕戦	参加事業者：5事業者
・2/4～5	:	「ルンルン！！はえばるフェスタ」	参加事業者：21事業者
・毎月15日	:	テスト販売：イオン南風原店	参加事業者：5事業者

▲リウボウ6階催事場でのテスト販売の様子（琉球絣事業協同組合）

▲銀座わしたショップでのテスト販売の様子
（株式会社 日新ミートフーズ）

▲那覇市久茂地のUFURUFUで開催した
紙と織布のマルシェの様子

事業の成果	

令和5年度は、既存商品のブラッシュアップや販路開拓に注力し事業を実施しました。
事業者に対して個別にヒアリングを行い、事業者が抱える課題や現状把握を行い、その中から各事業者が抱える課題に対して専門家を招聘した相談会や課題解決に繋がる企業をマッチングするなど支援を実施しました。また、販路開拓の取り組みとして販路開拓セミナーを3回実施し、テスト販売会を18件、商談を9件実施しました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
・商品改良の実施 ・「はえばる良品」の認証の実施	・商品改良の5件実施 ・「はえばる良品」の認証の6件実施

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	17,809	17,809		14,247			3,562

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	価格高騰生活者支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　産業振興課	課長名	松本　仁志		款	商工費	07
連絡先	889－4430				項	商工費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	商工振興費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民、町内事業所	エネルギー・食料品価格等、物価高騰の影響を受けた生活者等に対する支援を目的として、商品券事業を実施し、消費の下支え等を通じた生活者支援を図ります。

事業の実施内容

○プレミアム商品券（第5弾）
・町民1人に1冊（額面3,000円）商品券を無償配布
【期間】
・引換期間 ：　令和5年2月27日～令和5年6月30日
・利用期間 ：　令和5年2月27日～令和5年7月31日
【実績】
・対象町民 ：　40,670冊（40,670人）
・引換冊数 ：　39,039冊　　・引換率　：　95.99％（39,039冊/40,670冊）

・引換枚数 ：　234,234枚（39,039冊×6枚）
・利用枚数 ：　232,266枚　　・換金率　：　99.16％（232,266枚/234,234枚）

会計年度任用職員関連	予算額	1,863 千円	決算額	1,790 千円
消耗品費、印刷製本費	予算額	902 千円	決算額	83 千円
通信運搬費、手数料	予算額	1,506 千円	決算額	1,304 千円
委託料	予算額	345 千円	決算額	0 千円
使用料及び賃借料	予算額	217 千円	決算額	165 千円
備品購入費	予算額	93 千円	決算額	93 千円
価格高騰生活者支援事業補助金	予算額	96,633 千円	決算額	89,466 千円

業　種	利用枚数	利用金額	構成比
小　売　業	204,002枚	102,001,000円	87.83%
飲　食　業	25,570枚	12,785,000円	11.01%
給　油　業	1,592枚	796,000円	0.69%
サービス業	1,011枚	505,500円	0.44%
旅客運送業	91枚	45,500円	0.04%
合　計	232,266枚	116,133,000円	100.00%

事業の成果

プレミアム商品券を無償配布したことで、エネルギー・食料品価格等、物価高騰の影響を受けた、町民及び町内事業所を支援することができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	101,559	92,901	92,901				0

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	観光事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部 産業振興課	課長名	松本　仁志		款	商工費	07
連絡先	889－4430				項	商工費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	観光費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民、観光客	観光振興を効率的に進めるために、観光協会の機能を強化し、さらには市町村の枠組みを超えた広域観光を志向していきます。

事業の実施内容

○シマじまガイド事業　　予算額　6,121 千円　　決算額　5,610 千円

着地型観光メニューとして「シマじまガイド（町内名所巡り）」を実施、本町の観光まちづくりを推進する観光協会に委託しています。「シマじまガイド」では、訪問客に地元の魅力をあますところなく伝えようと、まち歩きコースを策定し、参加しやすさ、定時出発をキーワードに南風原町内に広く展開していきます。

かすりの道まち歩きモニターツアー

○沖縄観光コンベンションビューロー負担金

予算額　150 千円
決算額　150 千円

○陸軍病院壕公開活用事業　　予算額　5,511 千円　　決算額　4,950 千円

県内外から訪れる多くの人々に平和、命について考えてもらう施設として公開活用の取り組みを行い、観光協会に壕のガイドを委託しています。

○南風原町観光協会補助金　　予算額 10,000 千円　　決算額 10,000 千円

本町の観光まちづくりや観光振興を推進するため、一般社団法人南風原町観光協会が実施する事業に要する経費を補助金として交付しており、観光施設の運営や観光宣伝、カンナの花をはじめとする花いっぱい運動、夏まつりキッズパークなど多彩な活動を行っています。また自然や歴史、文化を資源とし、それらを活用したさまざまな事業を通じて、自らが住むまちへの関心や認識を深めて郷土愛を育み、地域の活性化に寄与することを目的に観光情報の発信などの事業を展開しています。

第9回 はえばる夏まつりキッズパーク

事業の成果

地域の観光資源の開発や活用を町民参加で行うことにより、本町に対する誇りや愛着を増すことができます。また、まつりやイベントを通して、地域住民におもてなしの心を育み、コミュニティの結びつきが強まります。観光誘客により、本町の知名度を向上させるとともに、町内外に観光情報の発信をすることができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
シマじまガイド参加者：1，700人	シマじまガイド参加者：1，253人

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	21,782	20,710		8,272			12,438

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	観光PR促進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　産業振興課	課長名	松本　仁志		款	商工費	07
連絡先	889－4430				項	商工費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	観光費	02

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
町民、観光客	南風原町のイメージキャラクターを観光PRツールとして有効活用し、各種イベントやマスメディアへの出演、SNS発信等で町の認知度向上、特産品や観光関連のPRを町内外に実施します。

事業の実施内容

○南風原町イメージキャラクター「はえるん」の活用　予算額　8,965　千円　　決算額　　7,493　千円

沖縄県観光月間「那覇空港」でのPR

沖縄国際映画祭レッドカーペットでのPR

名古屋グランパスホーム開幕戦ピッチでのPR

PRブースに並ぶサポーターの皆さん

年　度	H30	R1	R2	R3	R4	R5
はえるん出動件数	70件	58件	34件	43件	89件	95件

事業の成果

親しみやすいイメージキャラクター「はえるん」が各種イベントやマスメディアへの出演など、町内外におけるPR活動により観光誘客を促進しました。
名古屋グランパス春季キャンプ10周年を記念して、愛知県の豊田スタジアムでのホーム開幕戦において、試合前のピッチでは約3万7千人の観戦者に町長、かすりの女王、はえるんが本町と特産品をPRしました。またスタジアム入口の本町PRブースにも多くの方々が訪れ、はえるんのSNSをフォローしてもらいグッズを配布することで、本町の認知度向上と観光誘客活動を実施しました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
SNS（インスタグラム）閲覧数：64,800件	SNS（インスタグラム）閲覧数：188,536件

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,965	7,943		6,354			1,589

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	ヒーローのまちづくり事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　産業振興課	課長名	松本　仁志		款	商工費	07
連絡先	889－4430				項	商工費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	観光費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民、観光客	南風原町が輩出した人材の功績を継承するとともに、関連イベントを開催し、観光客を本町へ誘客します。

事業の実施内容

○ ヒーローのまちづくり事業　　予算額 11,110 千円　　決算額　9,900 千円

○ 事業目的
南風原町が輩出した人材の功績を継承するとともに、観光客を本町へ誘客するため、南風原町が輩出した人材の功績や経歴、所有品の展示等のイベント等を実施します。

○ 主な開催イベント

【金城哲夫生誕85周年記念「ウルトラセブン上映会」】
・はえばる夏まつりキッズパークでウルトラセブン上映会を開催し、多くの子ども達にウルトラマンセブンの脚本家が本町出身の金城氏であることをPRしました。

【金城哲夫生誕85周年記念「スペシャルイベント」】
・「吉屋チルー物語」「ウルトラマン」の上映、トークショー、「金城哲夫アーカイブ」、「ウルトラマンブレザーショー」等を開催し、「金城哲夫の生誕地、南風原町とウルトラマン」として、発信、周知しました。

第28回新春飛び安里凧上げ大会

【第28回新春飛び安里凧上げ大会】
・飛び安里が飛んだ南風原の空へ希望をのせる為、「飛び安里」の名前を付けた凧上げ大会を開催しました。

【南風原町劇団海 第6回海開き
「てつをカチャーシー～ビバ!金城哲夫先輩!～」】
・劇中では数々の金城哲夫氏の作品を紹介、金城哲夫氏の約50年前の肉声音源を聞いて頂く等南風原の視点から金城氏に迫りました。後日、より多くの方々に見て頂けるよう、YouTube動画配信も行いました。

「てつをカチャーシー～ビバ!金城哲夫先輩～」

事業の成果

イベント開催は、YouTube動画配信を併用するなど、本町が輩出した人材の功績等、広くPRすることができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
イベント（上映会、凧上げ、金城哲夫展等） 来客者数：3，250人	イベント（上映会、凧上げ、金城哲夫展等） 来客者数：2，990人

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	11,110	9,900		7,920			1,980

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	黄金森公園スポーツ施設活性化事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　教育総務課	課長名	比嘉　純子		款	教育費	10
連絡先	889－2620				項	保健体育費	06
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	保健体育総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民・町外・社会体育団体	良好なスポーツ・トレーニング環境の提供により、環境と結びつけたスポーツコンベンションの誘致、開催を図ります。

事業の実施内容

▼主な経費　　15,105 千円
- 需用費（消耗品費）　横断幕作成　　145 千円
- 委託料　黄金森公園芝生管理　　14,960 千円

▼スポーツキャンプ実施チーム数

種目	時期	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		チーム数	人数	チーム数	人数	チーム数	人数	チーム数	人数
陸上競技	2月～3月	17	388	8	170	12	350	17	398
サッカー	1月～2月	1	67	2	69	2	83	2	93
ソフトボール	2月	0	0	0	0	1	27	1	30
その他(※)	通年	0	0	0	0	2	43	0	0
合計		18	455	10	239	17	503	20	521

※ラクロス、ボブスレーチーム

▼スポーツキャンプ実施の様子

名古屋グランパス歓迎セレモニー

サッカー教室の様子

あいさつ活動の様子

女子ソフトボールHONDAリヴェルタ

ソフトボール教室の様子

陸上競技場芝生管理の様子

事業の成果

黄金森公園陸上競技場・野球場の年間を通した芝生整備を実施し、スポーツキャンプの受け入れ環境を整備することで、名古屋グランパスの春季サッカーキャンプや実業団・大学陸上競技合宿、ソフトボールチームHONDAリヴェルタの合宿など521人の利用者を誘致することができました。名古屋グランパスキャンプやHONDAリヴェルタの合宿の際には様々な子供達を対象とした連携事業を実施することができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
・陸上、サッカー等合宿利用者数：500人 ・Jリーグキャンプ・全国大会来場者数：6,000人	・陸上、サッカー等合宿利用者数：521人 ・Jリーグキャンプ・全国大会来場者数：2,615人

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	15,124	15,105		11,968			3,137

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	琉球絣等伝統工芸事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　産業振興課	課長名	松本　仁志		款	商工費	07
連絡先	889－4430				項	商工費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	商工振興費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	琉球絣事業協同組合など	南風原町の特産品である琉球絣・南風原花織の振興を図り、地域経済の発展に寄与することを目的とします。

事業の実施内容

○琉球絣・南風原花織後継者育成事業補助金 予算額　380千円　決算額　380千円
・琉球絣事業協同組合が開催する後継者育成事業に対し補助金を交付しました。
※この事業には国、県からも補助があり、琉球絣事業協同組合も負担しました。

琉球絣・南風原花織　後継者育成事業閉校式

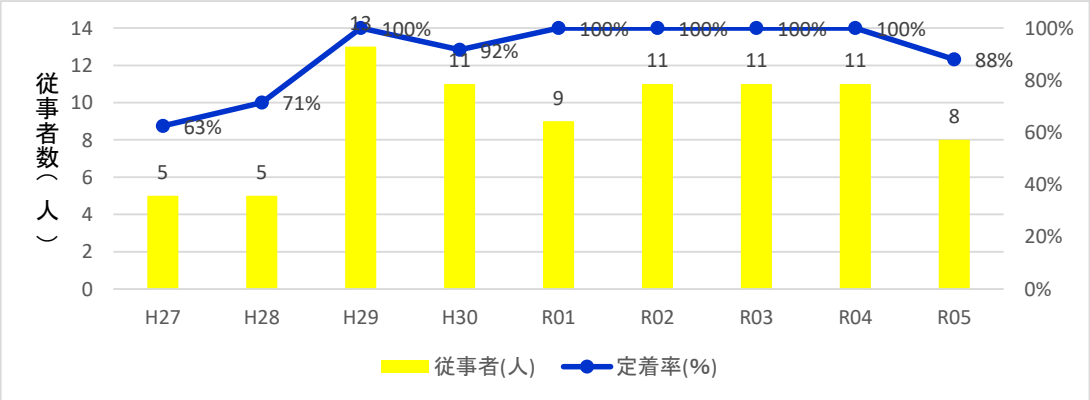
研修生作品

研修内容　：　機織りを中心に、染色、括りを行いました。研修終了後は各工房の元で琉球絣・南風原花織の生産に携わっていきます。
*括り(くくり)：糸束を糸でしめること。染まらない部分を作り織り上げることで様々な柄を表現する技法

平成29年に南風原花織が国の伝統的工芸品に指定され、振興計画に基づく後継者育成事業を琉球絣と合わせて行っています。

受講者数及び修了後従事者数の推移

	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	合計
修了者	8	7	13	12	9	11	11	11	8	90
従事者	5	5	13	11	9	11	11	11	7	83
定着率	63%	71%	100%	92%	100%	100%	100%	100%	88%	92%



○琉球絣事業協同組合への補助金　予算額　3,423千円　決算額　3,423千円

・琉球絣事業協同組合が行う、研修派遣、販路開拓、宣伝活動、展示即売等の経費に対して補助金を交付しました。

次ページへつづく →

事業の実施内容

○琉球絣事業協同組合貸付金　　予算額　15,000千円　決算額　15,000千円

・琉球絣事業協同組合は、国、県、町の補助金と組合員の会費でその運営を行っていますが、その補助金等が入ってくるまでの運用資金（生産者への製品である反物代金等）として資金の貸付を行いました。

○その他

・琉球かすりの女王報酬等	予算額	542 千円	決算額	520 千円
・琉球かすり会館修繕・工事等	予算額	6,852 千円	決算額	6,800 千円
・伝統工芸ふれあい広場事業負担金	予算額	227 千円	決算額	227 千円
・(財)伝統的工芸品産業振興協会	予算額	50 千円	決算額	50 千円

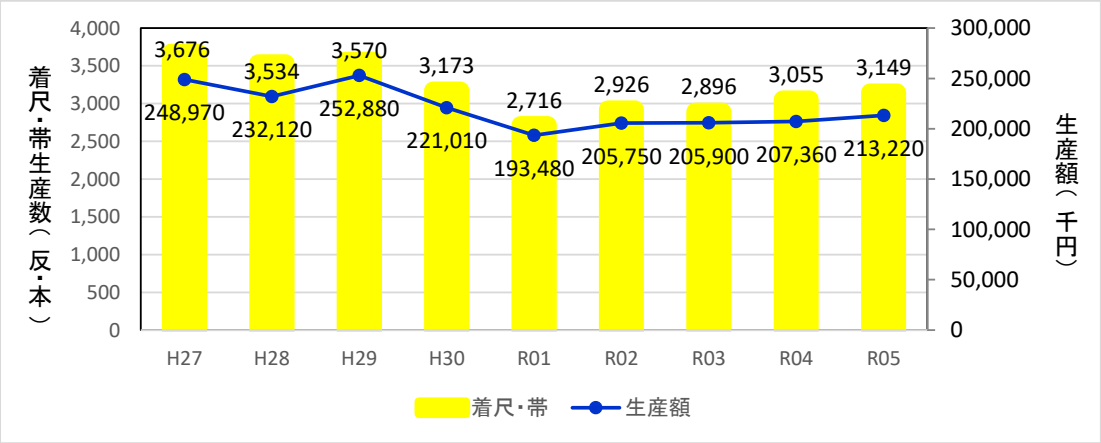
かすりの里まつり

第33代琉球かすりの女王(イベントでのPR活動)

琉球絣・南風原花織の生産高及び生産額の推移　　単位:反・本、千円

	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05
着尺・帯	3,676	3,534	3,570	3,173	2,716	2,926	2,896	3,055	3,149
生産額	248,970	232,120	252,880	221,010	193,480	205,750	205,900	207,360	213,220
対前年比	―	-6.77%	8.9%	-12.6%	-12.5%	6.3%	0.1%	0.7%	2.8%

＊着尺(きじゃく):長着(着物)一枚を作るのに必要な幅と長さを備えた生地のこと



事業の成果

かすりの生産においては人手不足等で、以前として生産環境は厳しい面がありますが、補助や貸付を行うことによって、琉球絣の振興を図り、地域経済の発展に寄与することができました。後継者育成事業の修了者は引き続き各工房の織りの担い手となり、かすり生産高安定に寄与することができました。
琉球かすりの女王においては、県内外様々なイベントにて琉球絣のPR活動を行いました。今後も琉球絣、南風原花織の産地として地域の発展と地場産業の育成をおこなって参ります。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	26,474	26,400				15,000	11,400

５　みどりとまちが調和した
安全・安心のまち

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	消防力の整備強化			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　総務課	課長名	仲村　兼一		款	消防費	09
連絡先	889－4415				項	消防費	01
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	常備消防費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	東部消防管内（南風原町、与那原町、西原町）の住民及び財産	地域住民の安全で安心な暮らしを守るため災害時等の「消火」「救急」「救助」「防災」「予防」の業務を行います。

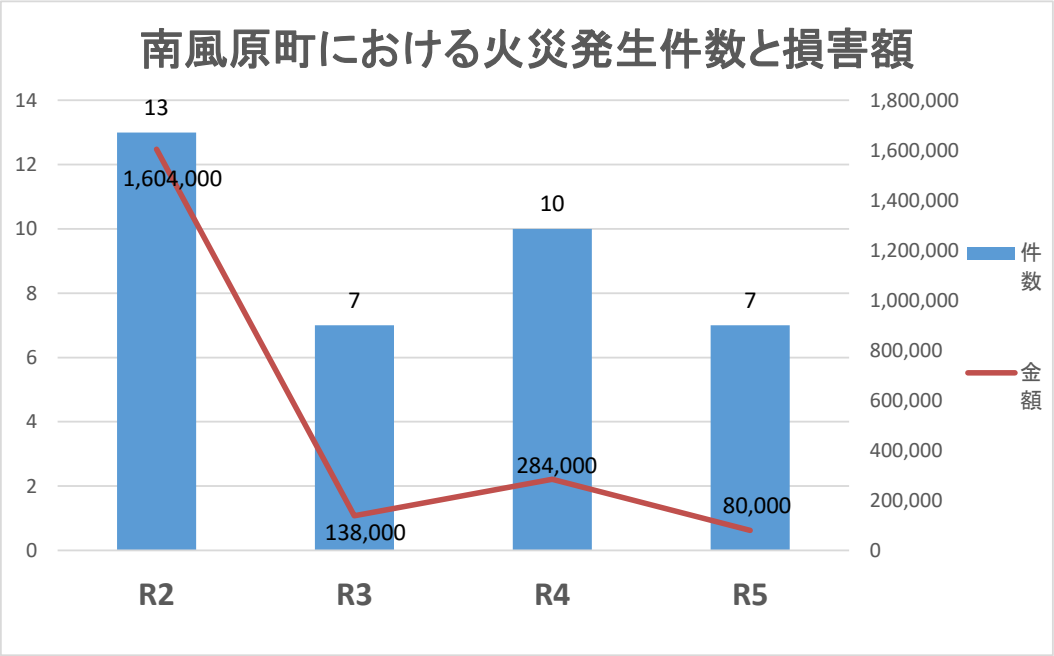
事業の実施内容

◆　東部消防組合分担金　　535，288千円

東部消防組合は、南風原町、与那原町、西原町で負担金を出し合い、運営しています。

・各市町の令和5年度負担金額

南風原町	535，288千円
与那原町	307，303千円
西原町	568，171千円
合計	1，410，762千円



◆　東部消防組合特別負担金（消火栓）　　6，870千円
・新規の消火栓や既設消火栓の維持管理のための負担金です。

事業の成果

地域住民の生命及び財産を災害等から守ることで、被害の軽減と消防力の充実強化が図られ「安全で、安心して住めるまちづくり」を推進することができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	542,158	542,158					542,158

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	防災体制強化事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　総務課	課長名	仲村　兼一		款	消防費	09
連絡先	889－4415				項	消防費	01
目　標	みどりまちが調和した安全・安心のまち				目	災害対策費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	南風原町全域にかかる全ての方への災害対策	災害が発生した場合において、町民の生命・財産を守るため、災害時の食糧等備蓄品の拡充や防災無線の運営等を行い、災害に強いまちづくりを目指します。

事業の実施内容

○需用費　1，382千円
- ・消耗品費　260千円
- ・光熱水費　375千円
  防災行政無線の電気料
- ・修繕料　747千円

○役務費　1，099千円
- ・通信運搬費（防災行政無線の回線使用料）
- ・防災訓練保険料
- ・災害対策費用保険料

▲整備した備蓄倉庫

○委託料　13，409千円
- ・デジタルMCA無線保守委託料　66千円
- ・防災行政無線保守委託料　1，177千円
- ・防災情報発信強化工事設計委託料12，166千円

○使用料　111千円
- ・災害時に活用するデジタルMCA無線機の使用料

▲防災訓練（給水訓練の様子）

○備品購入費　19，384千円
- ・災害用蓄電池　4，554千円
- ・災害時避難所用テント　5，775千円
- ・災害備蓄倉庫　3，718千円
- ・災害時物資輸送車両等　5，337千円

○負担金　1，291千円
- ・沖縄県総合行政情報通信ネットワーク市町村負担金　258千円
- ・沖縄県防災情報システム市町村負担金　177千円
- ・沖縄県総合行政情報通信ネットワーク協議会負担金　196千円
- ・無線電波使用負担金　16千円
- ・沖縄県総合行政情報通信ネットワーク再整備負担金　644千円

事業の成果

災害用蓄電池や避難所用テント等の災害用備蓄品整備を行い本町の防災体制力の強化を図りました。また、町民との総合防災訓練を実施し、防災意識の向上を図りました。
防災行政無線の再整備に向けての実施設計を行い、防災情報発信強化工事設計業務は完了し、資材価格調査委託業務は繰越となりました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
・実施設計（防災行政無線）の策定完了	・防災情報発信強化工事設計業務→完了 ・資材価格調査委託業務→繰越

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	37,680	36,676		20,969	2,400		13,307

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	不発弾処理促進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	総務部　総務課	課長名	仲村　兼一		款	総務費	02
連絡先	889－4415				項	総務管理費	01
目標	みどりまちが調和した安全・安心のまち				目	不発弾処理促進費	10

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内で見つかった不発弾	自衛隊が回収出来ない不発弾を、信管を破壊し安全化処理を実施します。また、埋没している不発弾を発見するために磁気探査を実施します。

事業の実施内容

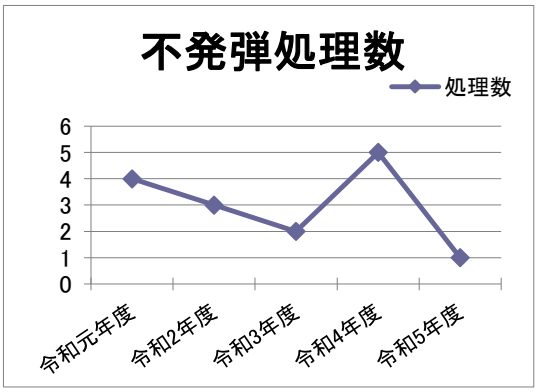
○役務費　　72千円
・防護管取付手数料
　不発弾処理に係る電線の保護対策にかかった費用です。

○委託料　　1，850千円
・防護壁構築業務委託料　1，850千円
　防護壁の内部では、自衛隊により不発弾の安全化処理が行われています。
　また、防護壁を構築することによって、避難半径が縮小されます。

▲発見された不発弾の保管状況

▲ 強固な防護壁

▲ 処理壕内部



▲ 不発弾処理数の推移

事業の成果

戦後80年以上経った現在でも多くの不発弾が発見されています。その不発弾を安全に処理するために、素ぼりや防護壁を設置し、安全化を行いました。また、建物建設場所の磁気探査を実施することにより、安全が図られました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,894	1,922		1,825			97

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	災害時等避難施設改修事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	総務部　総務課	課長名	仲村　兼一		款	消防費	09
連絡先	889－4415				項	消防費	01
目標	みどりまちが調和した安全・安心のまち				目	災害対策費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の避難所として指定している自治会集会所等	災害はいつどこで発生するかわからないため、老朽化した施設の改修等を行い、災害時に対応できる体制を整えます。

事業の実施内容

○補助金
- ・津嘉山区　552千円
- ・新川自治会　616千円
- ・山川区　616千円
- ・大名区　1，187千円

▲トイレ改修工事

▲ステン手すり取付工事

▲入口ホールスロープ設置工事

事業の成果

改修要望がある自治会への防災体制強化を図りました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,971	2,971					2,971

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	津嘉山公園整備事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　都市整備課	課長名	大城　勝人		款	土木費	08
連絡先	889－1632				項	都市計画費	04
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	公園費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	住民の憩い及びレクレーションの場を確保し良好な都市環境機能を確保します。

事業の実施内容

・津嘉山公園整備事業（事業期間：平成20年度～令和7年度）補助事業
　総事業費：2,003,300　千円

令和5年度　（予算額：128,756　千円　決算額：31,728　千円）

	予算額	決算額
需用費	13　千円	13　千円
役務費	76　千円	76　千円
委託料	1,470　千円	955　千円
使用料及び賃借料	49　千円	49　千円
工事費	127,148　千円	30,635　千円

着手前

完成

事業の成果

多目的広場及びパークゴルフコースの芝張り等の整備を行いました。
令和5年度末進捗率は92％になります。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	128,756	31,728		15,539	14,052		2,137

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	都市公園管理事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　都市整備課	課長名	大城　勝人		款	土木費	08
連絡先	889－1632				項	都市計画費	04
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	公園費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	公園利用者など	町内の都市公園、農村公園等を適正に維持管理を行うことにより、利用者が快適な公園として活用できるよう整備していきます。

事業の実施内容

令和5年度は「都市整備課すぐやる班」を中心に公園の維持管理を行いました。

○需用費
予算額：4，919千円　決算額：4，144千円
・消耗品費　790千円
・燃料費　36千円
・光熱水費　2，415千円
・修繕料　903千円

○委託料
予算額：6，191千円　決算額：6，171千円

○工事費
予算額：10，219千円　決算額：10，213千円

○役務費（公園ごみ処理手数料、人夫賃）
予算額：1，636千円　決算額：1，628千円

○賃借料（重機・運搬車・清掃車賃借料）
予算額：288千円　決算額：284千円

○原材料費
予算額：593千円　決算額：592千円

○負担金
予算額：50千円　決算額：50千円

○公園遊具修繕状況

修繕状況（黄金森公園）

完了後

事業の成果

都市公園、農村公園等の維持管理を適正に行うことにより、利用者に安全な憩いの場を提供することが出来ました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	23,896	23,802					23,802

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	下水道事業会計（負担金等）			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　区画下水道課	課長名	中村　太一		款	土木費	08
連絡先	889－2508				項	都市計画費	04
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	都市計画費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	下水道事業会計（公共下水道事業・農業集落排水事業）の経営の安定と農業振興を図ります。

事業の実施内容

令和5年度の下水道事業会計（負担金等）は農業集落排水事業分も含めています。

公共下水道事業は、下水道を利用している方の納める下水道使用料で運営することとなっています。しかし、整備の途中であり、利用人口が行政人口の6割程度となっており、その方々の負担だけでは下水道事業の運営が成り立たない現状があるため一般会計から下水道事業会計へ負担金等として支出しています。

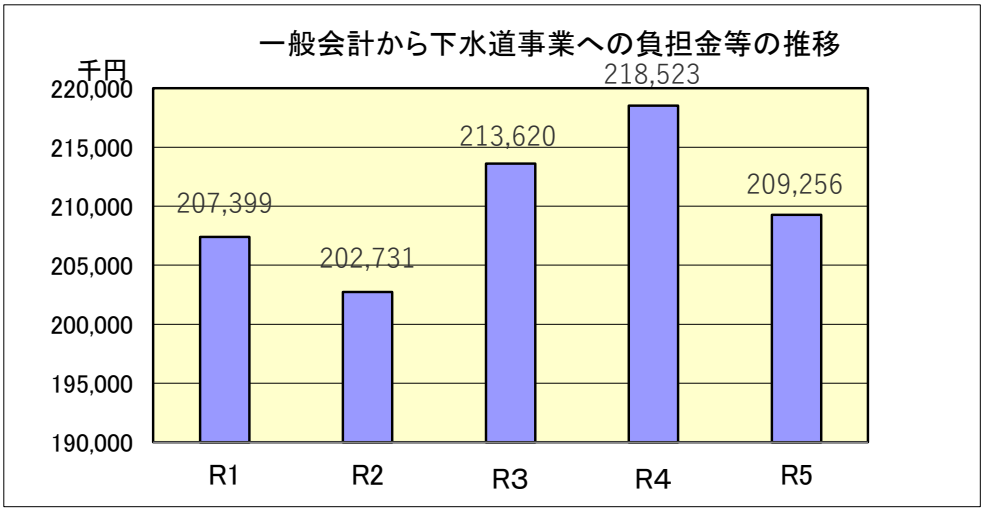
農業集落排水事業は、事業を促進し農業振興を図るため一般会計から下水道事業会計へ負担金等として支出しています。

1．下水道事業会計負担金等（一般会計から）
　　予算額　209,256 千円　　決算額　209,256 千円

2．年度別下水道事業会計負担金等の推移

単位：千円

年　度	R1	R2	R3	R4	R5
金額(公共)	193,260	187,233	199,371	203,959	192,676
金額(農集)	14,139	15,498	14,249	14,564	16,580
金額合計	207,399	202,731	213,620	218,523	209,256



※一般会計からの負担金等(209,256千円)は、主に職員の人件費、補助対象外の町負担分の事業費、補助事業等に要した公債費の償還金等に充当しました。

事業の成果

下水道事業（公共下水道事業・農業集落排水事業）の経営の安定と農業振興を図ることができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	209,256	209,256					209,256

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	河川整備事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　都市整備課	課長名	大城　勝人		款	土木費	08
連絡先	889－1632				項	河川費	03
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	河川費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	南風原町の管理する4河川	河川が豪雨等で氾濫しないよう、河川の土砂の浚渫や雑草の除草等を行います。

事業の実施内容

・緊急浚渫推進事業(事業期間：令和4年度～令和6年度)

令和5年度　予算額 108，844千円　　決算額 108，642千円

《収入》

・地方債　107，200千円　　・一般財源 1，442 千円

《支出》

・役務費 1，025千円　　・使用料及び賃借料 334千円

・工事請負費107，283千円

河川の土砂除去の作業状況

着手前

竣　工

事業の成果

長堂川において、堆積した土砂等を撤去したことで、流下能力を高め、豪雨時に係る河川の水位を低減させることができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	108,844	108,642			107,200		1,442

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	公園施設長寿命化計画策定事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　都市整備課	課長名	大城　勝人		款	土木費	08
連絡先	889－1632				項	都市計画費	04
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	公園費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	長寿命化対策を含めた計画的な改築等に係る取組みを推進する為の公園施設長寿命化計画の作成を行います。

事業の実施内容

・公園施設長寿命化計画策定事業（事業期間：令和4年度～令和5年度）補助事業
総事業費：　29,832　千円

令和5年度　（予算額：　15,432　千円　決算額：　15,422　千円）

委託料　15,432　千円　15,422　千円

点検状況（遊具）

点検状況（遊具）

事業の成果

町の管理する8箇所の都市公園において、2,360施設を対象に令和4年度、5年度の2ヶ年間で点検・調査を実施し公園施設の長寿命化計画を策定しました。
健全度調査の結果について、予防保全型管理の施設が21施設、事後保全型管理の施設が52施設あり、10年間の計画期間において 1,075,791千円の対策費用を要するとの結果となりました。
策定した年次計画（R6～R15）を基に、施設の更新を図って行きます。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	15,432	15,422		7,711			7,711

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	黄金森公園整備事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　都市整備課	課長名	大城　勝人		款	土木費	08
連絡先	889－1632				項	都市計画費	04
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	公園費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	黄金森公園は住民の憩いの場、コミニュティー形成の場、また、スポーツや文化活動の拠点となる公園で、陸上競技場、軟式野球場、テニスコート及び各施設駐車場等の整備を終えたところです。今後は公園区域を拡大し体育館の整備を行います。

事業の実施内容

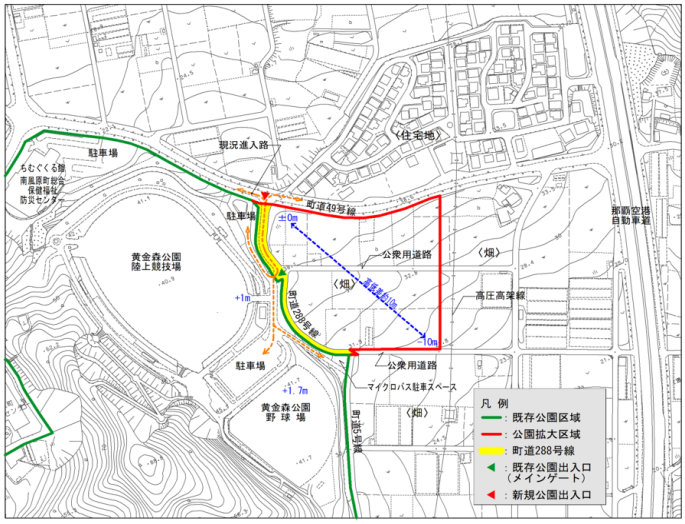
令和5年度は、体育館整備に係る委託と陸上競技場補修工事を行いました。

○ 令和4年度　繰越分

	予算額	決算額	
委託料	9,570千円	9,416千円	（PFI導入可能性調査委託）
合計	9,570千円	9,416千円	

○ 令和5年度　現年分

	予算額	決算額	
役務費	495千円	495千円	（不動産鑑定手数料）
委託料	11,732千円	11,231千円	（都市計画変更、土質・測量調査）
工事請負費	1,300千円	1,298千円	（陸上競技場補修）
備品購入費	295千円	275千円	（積算パソコン購入）
合計	13,822千円	13,299千円	



体育館整備予定地

体育館配置案

事業の成果

体育館整備に係る不動産鑑定の実施、PFI導入可能性調査、土質・測量調査、都市計画変更に伴う分筆登記に向けた測量調査、公園区域拡大のための都市計画変更図書作成の委託を実施しました。
陸上競技場の100mスタート地点のウレタン舗装を補修しました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	23,392	22,715	7,500				15,215

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	道路維持事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　都市整備課	課長名	大城　勝人		款	土木費	08
連絡先	889－1632				項	道路橋梁費	02
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまちづくり				目	道路維持費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	町道や排水路の破損した個所の維持補修、土砂の除去、除草及び街路樹の剪定を行い、町民の交通安全の確保及び生活環境の向上を促進します。

事業の実施内容

令和5年度は下記の整備（道路維持整備）を行いました。
また、平成19年度より「すぐやる班」を設置し、道路・公園の維持補修に努めています。

○需用費
予算額　569千円
決算額　563千円

○役務費（草木等処理費、人夫賃）
予算額　3，853千円
決算額　3，845千円

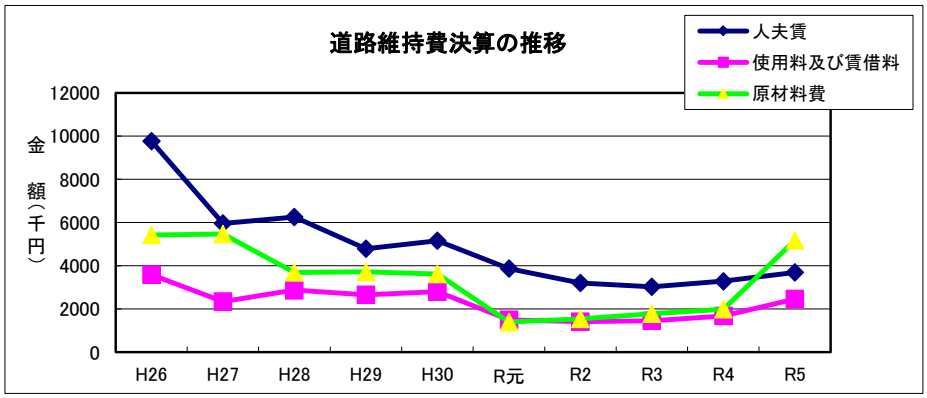
○使用料及び賃借料
予算額　2，461千円
決算額　2，461千円

○道路整備工事費
予算額　7，349千円
決算額　6，017千円

○原材料費
予算額　5，172千円
決算額　5，171千円

○備品購入費
予算額　369千円
決算額　368千円

（主な対応事業内容）
○道路面の清掃及び舗装の修繕
○道路側溝、排水路の清掃及び修繕
○街路樹の伐採、剪定
○台風や大雨後の道路及び排水路等の清掃
○簡易な道路維持補修工事



・道路の舗装修繕作業状況

事業の成果

町道の路面破損及び排水路の維持補修、草木等の伐採を行い、町民が安全に快適な通行できる道路が確保出来ました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	19,773	18,425					18,425

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	道路交通安全施設等整備事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　都市整備課	課長名	大城　勝人		款	土木費	08
連絡先	889－1632				項	道路橋梁費	02
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	道路新設改良費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	通学路や生活の中心となる道路において歩行者の安全対策を図る目的として、施設の整備を行います。

事業の実施内容

町道　5路線において防護柵やグリーンベルト等の整備を行いました。

工事費　予算額：23,167千円　　決算額：22,792千円

・町道3号線　横断防止柵設置

着手前

完成

・町道8号線、51号線　グリーンベルト設置

完成

完成

事業の成果

歩行者のみだりな横断を抑制するなどの目的で横断防止柵の整備を図ったものや、歩道の整備が難しい狭い道路で路側帯を緑色にカラー化して通行車両に注意を促し歩行者の安全対策を図り、児童生徒や地域住民の安全を確保することができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	23,167	22,792	6,570		3,600		12,622

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	都市計画振興事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	野原　義幸		款	土木費	08
連絡先	889－4412				項	都市計画費	04
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	都市計画費	01

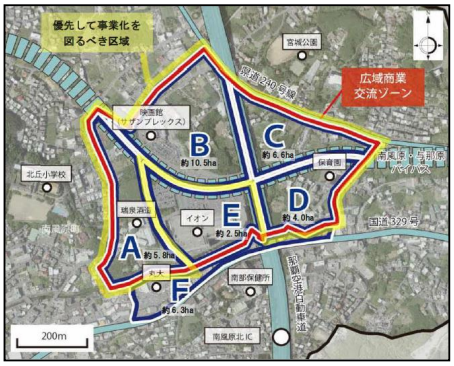
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	①南風原北インターチェンジ周辺地区 ②国道329号と町道16号線の交差点部周辺	①各エリアの事業化に向けた検討 ②町道16号線の渋滞対策を検討

事業の実施内容

都市計画振興事業【 予算額　21，437千円　　決算額　21，101千円 】

【①南風原北インターチェンジ周辺地区事業化検討委託業務】決算額　4，378千円

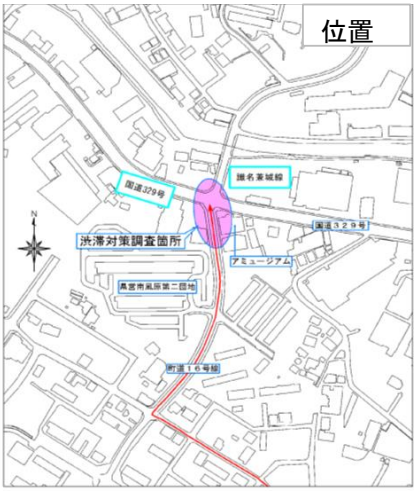
「南風原北インターチェンジ周辺土地利用計画（案）」に基づいて、整備イメージの更新や公的整備費補助の導入（町負担）の検討を実施し、事業化に向けた検討を行う。



【南風原町の結論⇒本事業を一旦休止する。】
＜課題1＞総事業費の視点
・総事業費が高額なため、減歩率が高くなることが想定され、事業化が困難。
＜課題2＞地権者機運の視点
・地権者の自己利用の意向が高く、用地の確保が困難。
＜課題3＞町財政の視点
・公的整備費補助を活用しても、多額の財政負担が発生する。

【②町道16号線渋滞対策調査検討委託業務】　　決算額　10，230千円

国道329号と町道16号線の交差点部における渋滞対策の検討を行う。



【対策案】
・町道16号線の歩道幅員を縮小し、右折車線の確保を行う。

＜その他の業務　決算額　6，493千円＞
・生活道路安全対策調査検討業務
・南風原町地域公共交通会議運営支援業務
・報酬　等

事業の成果

①南風原北インターチェンジ周辺地区において、各エリアの事業化に向けた事業費等の調査・検討を行いました。調査・検討した結果を踏まえ、本町としては、「本事業を一旦休止する」結論に至りました。
②国道329号と町道16号線の交差点において、渋滞箇所の要因について調査を行いました。調査結果を踏まえ、現況の道路を改良して渋滞対策案を検討し、関係機関と協議をして対策案を策定することができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
・事業化に向けた検討 ・企業ニーズヒアリング ・地権者説明会の開催	・まちづくりニュースなどにより、関係地権者の機運醸成に努めた。 ・進出の可能性がある企業にヒアリングを行う事ができた。 ・企業誘致に向けて課題となっている丘陵地のあり方について内部で検討が必要となった。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	21,437	21,101		3,502			17,599

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	町道10号線道路改良事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　都市整備課	課長名	大城　勝人		款	土木費	08
連絡先	889－1632				項	道路橋梁費	02
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	道路新設改良費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	歩行者の安全と通勤通学、各施設等への交通の利便性を確保し、地域の生活環境の改善を図ります。

事業の実施内容

・町道10号線道路改良事業（事業期間：平成24年度～令和9年度）補助事業
　総事業費：　2,155,000　千円

◆ 令和5年度　（予算額：　149,695　千円　決算額：　61,632 千円 ）

需　用　費	27 千円	25 千円
役　務　費	190 千円	174 千円
委　託　料	27,897 千円	24,387 千円
使用料及び賃借料	101 千円	100 千円
工事請負費	57,608 千円	36,729 千円
原材料費	219 千円	217 千円
公有財産購入費	24,341 千円	0 千円
補償、補填及び賠償金	39,312 千円	0 千円

着手前

完了後

◆ 令和6年度への繰越　（予算額：　88,042　千円　）

委　託　料	3,510 千円
工事請負費	20,879 千円
公有財産購入費	24,341 千円
補償、補填及び賠償金	39,312 千円

事業の成果

用地取得、物件補償及び造成工事を行いました。
整備率60％

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	149,695	61,632		23,478	8,270		29,884

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	津嘉山中央線街路事業（2工区）			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　都市整備課	課長名	大城　勝人		款	土木費	08
連絡先	889－1632				項	都市計画費	04
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	街路整備事業費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	当路線には歩道がなく、通勤通学の歩行者や車輌の通行が大変危険な状態です。道路整備を行い、通学時の歩行者の安全と車輌の安全確保を図ります。

事業の実施内容

・ 津嘉山中央線街路整備事業（2工区）　（事業期間：平成28年度～令和11年度）補助事業
総事業費 ：　1,100,000　千円　（幅員12m　道路延長250m）

◆ 令和5年度　（予算額：　123,515　千円　決算額：　40,933 千円 ）

需　用　費	40　千円	40 千円
役　務　費	217　千円	140 千円
委　託　料	2,342　千円	2,233 千円
使用料及び賃借	271　千円	270 千円
公有財産購入費	57,010　千円	0 千円
補償、補填及び賠償金	63,635　千円	38,250 千円

◆ 令和6年度への繰越　（予算額：　82,395　千円 ）

公有財産購入費	57,010　千円
補償、補填及び賠償金	25,385　千円

事業の成果

用地取得及び物件補償を行いました。
整備率25％

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	123,515	40,933		31,700	7,422		1,811

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

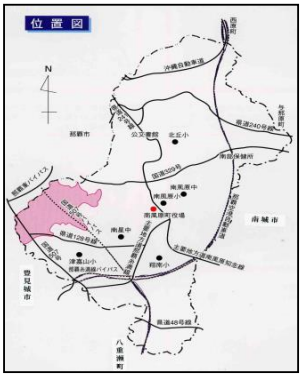
事業名	津嘉山北土地区画整理事業（土地区画整理事業特別会計）			予算科目	会計	土地区画整理事業特別会計	05
部　課	経済建設部　区画下水道課	課長名	中村　太一		款	土地区画整理事業費	02
連絡先	889－2508				項	津嘉山北土地区画整理事業費	01
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	事業費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	那覇市に隣接する津嘉山北地区（面積71.4ha）の住民及び地権者並びに建物等所有者等	道路や公園をはじめとする公共施設の整備改善と宅地とを一体的な造成を行うことにより、住宅地需要に対応した住宅市街地の形成を図ります。

事業の実施内容

◎　土地区画整理事業特別会計

Ｒ５年度	783,890千円	Ｒ５年度	714,789千円
Ｒ４繰越額	45,458千円	Ｒ４繰越額	45,458千円
予算額　計	829,348千円	決算額　計	760,247千円



○主な事業内容

工事請負費	187,433千円	(11件)
調査設計費	24,512千円	(12件)
建物等移転補償費	38,995千円	(25件)
計	250,940千円	

財源別内訳　（金額の単位：千円）

R5年度	予算額	執行額	繰越額	執行率(%)
補助金	170,020	132,986	37,024	78.2
基金整備事業	50,900	35,094	15,806	68.9
単独事業	52,200	37,402	14,766	71.7
その他	510,770	509,307	0	99.7
小　計	783,890	714,789	67,596	91.2
R4繰越額	**予算額**	**執行額**	**不要額**	**執行率(%)**
基金整備事業	45,458	45,458	0	100.0
その他	0	0	0	0.0
小　計	45,458	45,458	0	100.0
合　計	829,348	760,247	67,596	91.7

○津嘉山北地区土地区画整理事業の概要

- 施行地区の面積　71．4ha
- 施行期間　平成5年度～令和10年度
- 総事業費　30,500,000千円
- 仮換地指定　平成11年5月20日（100%）

令和5年度末までの整備状況

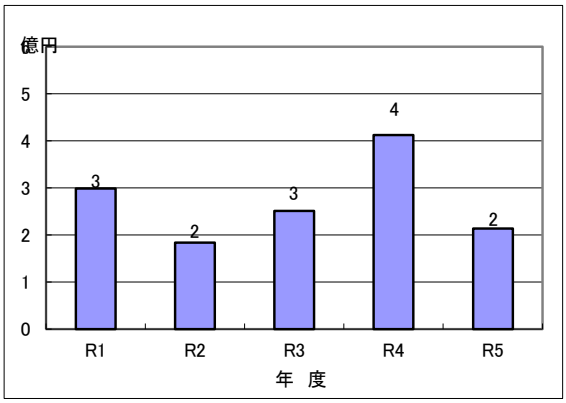
項　目		全体計画	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R5度末迄の実績	整備率(%)
事業費（千円）※		30,500,000	251,881	413,327	250,940	24,895,390	81.9
整備面積（ha）		71.4	1.7	0.7	0.6	45.8	64.1
補償物件	建物（戸）	343	1	5	0	335	97.7
	墳墓（基）	4	0	0	0	4	100.0
道路築造	都市計画道路(m)	5,427	90	326	0	3,140	57.8
	区画道路(m)	11,828	541	511	367	8,375	70.8
	特殊道路(m)	530	0	0	0	0	0.0
	小　計	17,785	631	837	367	11,514	64.7

※事業費は、磁気探査等を除く事業計画の費用とする。

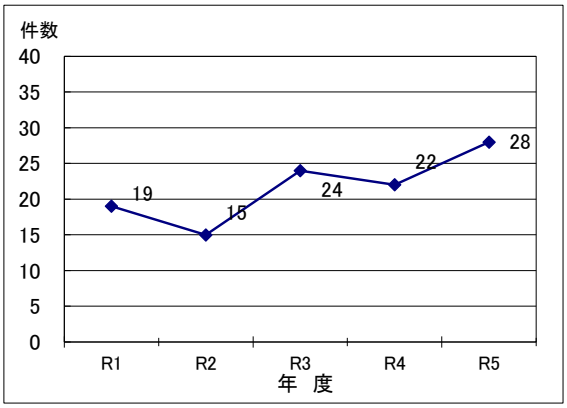
次ページへ続く

事業の実施内容

事業費の推移
（※単独事業費分を含み磁気探査事業を除く）



土地区画整理法76条許可申請（年度別推移）
（※区域内で建築申請する場合に必要な許可申請）



★津嘉山北土地区画整理事業（工事施行後の写真）

●本部公園線歩道整備状況（津嘉山537番地付近）

●区9-6-2道路整備状況（津嘉山495番地付近）

●区9-11道路整備状況（津嘉山1509番地付近）

●区6-50-1道路整備状況（津嘉山1436-3番地付近）

事業の成果

土地区画整理事業の基本的な整備計画として、幹線都市計画道路（国道507号津嘉山バイパス）を最優先とし、その他の都市計画道路（現道国道507号、津嘉山西線、本部公園線等）に係る建物移転補償や造成工事等を重点的に実施してきました。その結果、令和5年度末現在の全体面積における整備率約64%、建物補償率約97%となり、事業費の執行率は、約82%となりました。それにより、地区内では関係地権者による造成後の土地利用等も年々増えており、今後とも早期に宅地造成や道路築造が完了できるよう事業執行に努めてまいります。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
―	―

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	829,348	760,247	0	119,292	14,700	309,853	316,402

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	土地区画整理事業特別会計繰出金			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　区画下水道課	課長名	中村　太一		款	土木費	08
連絡先	889－2508				項	都市計画費	04
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	都市計画費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	津嘉山北土地区画整理事業執行のため「土地区画整理事業特別会計」の安定を図ります。

事業の実施内容

○土地区画整理事業特別会計は、国・県の補助金をはじめ保留地処分金等で事業が行われますが、補助金対象外の整備費（調査、補償、工事）及び地区内の維持管理費、補助事業に要した公債費の償還金、人件費等を一般会計から土地区画整理事業特別会計へ繰出金として支出しています。

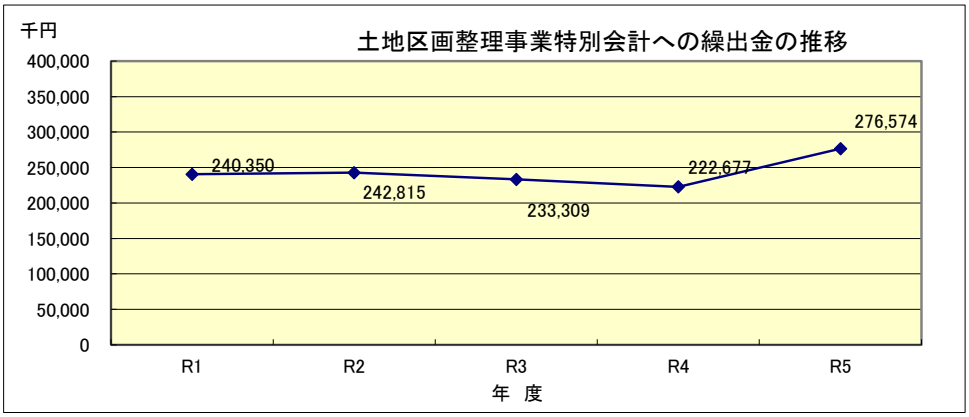
○土地区画整理事業特別会計繰出金(一般会計から)

予算額　276,574 千円　　決算額　276,574 千円

○年度別土地区画整理事業特別会計繰出金の推移

単位：千円

年度	R1	R2	R3	R4	R5
金額	240,350	242,815	233,309	222,677	276,574



※令和5年度の一般会計からの繰出金276,574千円は、主に下記に充当しました。

・補助事業における補助金以外の整備費（調査、補償、工事）
・補助事業等に要した公債費の償還金
・土地区画整理事業を担当する職員の人件費

事業の成果

土地区画整理事業特別会計へ繰出金を行い、津嘉山北土地区画整理事業を促進し、同事業における予算の安定を図ることができます。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	276,574	276,574					276,574

６　環境と共生する
美しく住みよいまち

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	環境保全対策事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　区画下水道課	課長名	中村　太一		款	衛生費	04
連絡先	889－2508				項	保健衛生費	01
目標	環境と共生する美しく住みよいまち				目	環境衛生費	04

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	住民	くみ取り便所及び既設の単独浄化槽から合併浄化槽に転換する方に対し、浄化槽の設置に係る費用の一部を助成し、生活雑排水による公共用水域の水質汚濁を防止します。

事業の実施内容

○環境保全対策事業費

予算額:　1,222 千円　　11 千円

決算内訳
1. 南風原町浄化槽設置補助金　　0 千円

2. 沖縄県合併浄化槽普及促進市町村協議会負担金　　11 千円

事業の成果

浄化槽設置補助に関する問合せはありましたが、申請はありませんでした。また、沖縄県合併浄化槽普及促進協議会に関しては、書面にて総会を行いました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,222	11					11

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	環境保全対策事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　住民環境課	課長名	金城　直子		款	衛生費	04
連絡先	889－1797				項	保健衛生費	01
目　標	環境と共生する美しく住みよいまち				目	環境衛生費	04

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内全域（野犬等、そ族昆虫等、不法投棄）	野犬対策やそ族昆虫等の駆除、不法投棄の防止やその他苦情処理を行い、住み良い環境を維持します。

事業の実施内容

★　環境保全の啓発・対策　　254千円

定期的に町内を巡回し、地域の環境状況の把握や環境関係の苦情処理、ごみの収集状況や不法投棄などに対処しました。また、不法投棄防止看板の設置等により違法行為の未然防止に努めました。

↑不法投棄された家電等

↑不法投棄された生活ごみ

★　そ族昆虫等の駆除

・ハチ対策

町内で相談の多いハチの種類はミツバチ・アシナガバチがほとんどで、発生場所は自宅や歩道等がほとんどです。問い合わせがあった場合は、担当職員で現場を確認しアドバイスを行っています。

過去5年の苦情件数　　（件）

年　　度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
苦情件数	4	4	4	8	4

★狂犬病予防注射、犬登録関係経費　　1，787千円

狂犬病予防法に基づき、生後91日以上の犬の飼い主には、その犬の所在する市町村への犬登録と年1回の狂犬病予防注射を受けさせることが義務づけられています。狂犬病は人と動物の共通感染症であり、発病するとほぼ100％死に至る恐ろしい病気です。そこで町では例年5月下旬～6月上旬頃、町内15カ所で狂犬病予防集合注射を実施し、接種率の向上に努めています。

また、令和5年度は飼い犬の情報を住基情報と紐づけて管理する畜犬管理システムの導入を行いました。（関連事業費1，606千円）

（件）

年　度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
犬登録数	1,208	1,291	1,248	1,217	1,211
狂犬病予防注射数	759	502	767	789	790

次ページへつづく→

事業の実施内容

↑　狂犬病予防注射の様子　↑

《野犬の捕獲》
野犬は、敷地内への侵入や人畜等への咬傷事故の危険を伴うことから、町で捕獲を行っています。飼い犬が捨てられ野生化したと思われる犬や、敷地から逃げた徘徊犬が野犬と間違われて捕獲される例が見られ、飼い主の自覚と責任が求められています。

《野良猫対策》
猫は、犬のように飼い主への登録義務がありません。しかし、敷地内へのふん尿や夜泣き等の苦情があった場合は、飼主や、野良猫へ餌付けをしている方へ指導や自治会を中心に取り組むTNR事業の支援等を行っております。

↑　保護された犬、猫　↑

★　その他環境保全に係る経費　　10千円
環境保全の取り組みを推進するため、協議会や民間団体等へ負担金や補助金を交付しています。主な経費として沖縄県アジェンダ21県民会議等への負担があります。

事業の成果

環境保全の啓発・対策では、不法投棄防止看板設置等により不法投棄の未然防止を図ることができました。また環境衛生では、犬の登録及び狂犬病予防注射を啓発・実施することで、人間を含め多くの動物への狂犬病感染の防止を図りました。さらに、登録されている飼い犬の生存・所在地確認等を行うことで犬の登録数を整理し、狂犬病予防接種率向上に努めました。また、野犬捕獲や野良猫対策として自治会を中心に取り組むTNR事業の支援等により、町民が住みよい快適な生活環境づくりを推進することができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,077	2,051				2,051	0

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	公害対策事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	総務部　住民環境課	課長名	金城　直子		款	衛生費	04
連絡先	889－1797				項	保健衛生費	01
目標	環境と共生する美しく住みよいまち				目	環境衛生費	04

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内全域 （騒音、振動、悪臭、大気汚染、水質汚濁等）	騒音、振動、悪臭、大気汚染、水質汚濁等の公害発生の防止や他苦情処理を行い、住み良い環境を維持します。

事業の実施内容

★公害パトロール謝礼金、公害防止対策連絡協議会謝礼金　26千円

旧最終処分場跡地等に関する「那覇市・南風原町公害防止対策連絡協議会」を設置し、年に2回（令和5年度は7月、1月）協議会を開催しました。さらに、公害防止等パトロールを周辺自治会長と隔月で実施することにより、公害発生の有無を確認しています。公害対策のために他にも「公害対策審議会」、「河川環境対策協議会」を設置しています。

←パトロールの様子

★国場川水系河川水質調査委託料　500千円

国場川水系の水質の実態を把握するため、国場川水系流域の市・町が合同で夏季（8月）・冬季（2月）に調査を行い、これらの調査結果をもとに国場川水系の環境保全対策の基礎資料を得ることができました。また、合わせて町内の河川の水質の現況と年度ごとの変動を把握することができました。

・実施日
　夏季（8月17日）、冬季（2月7日）
・令和5年度の調査地点（6ヵ所）
　安里又川上流　　池原橋
　前田橋　　武川良橋下流
　大子橋　　新垣橋

↑　水質調査の様子　↑

★自動車交通騒音測定委託料　660千円

居住環境の保全に役立てるため、町内の要所3地点を選んで、時間毎の道路の自動車交通騒音を測定し、実態の把握に努めました。

・実施日
　令和6年3月7日～8日
・実施時間
　昼間（6時～22時）、夜間（22時～6時）
・令和5年度測定地点（3ヵ所）
　国道329号（字兼城603番地）
　国道329号（字宮平666番地1）
　国道507号線（字津嘉山1321番地1）

↑測定の様子（字津嘉山）　↑測定の様子（字宮平）

事業の成果

定期的な公害防止等パトロールを実施することで、公害の有無確認と発生の抑止に努めました。重点的に確認している周辺河川の目立った水質汚濁は可視範囲内で見られず、水質調査においても夏季・冬季とも水質環境基準を概ね満たしていました。
国場川水系河川水質調査、自動車交通騒音測定を行うことで、国場川水系の水質実態把握及び自動車騒音の限度を定める省令の基礎資料を得ることができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,228	1,185					1,185

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	指定ごみ袋還元基金事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　住民環境課	課長名	金城　直子		款	衛生費	04
連絡先	889－1797				項	清掃費	02
目　標	環境と共生する美しく住みよいまち				目	塵芥、し尿処理費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民や町内事業所等	町の指定ごみ袋の売上収入を基金として積立て、ごみの資源化や減量化を推進することや、環境保全活動の助成を行うことで、快適な生活環境づくりをめざしていきます。

事業の実施内容

★　生ごみ処理機等購入補助金　　228千円

ごみの資源化・減量化の一環として、生ごみ等の自己処理を推奨し、堆肥化を促進するため生ごみ処理機等購入補助金を交付しています。令和5年度は処理容器6世帯、処理機8世帯に補助金を交付しました。

★　エコセンター運営費　　3，521千円

リサイクル情報の収集・提供、環境講座や環境学習ツアー、学校制服や体育着の再利用など、リサイクルの普及・啓発活動の拠点として、はえばるエコセンターを運営（委託）しました。

フリーマーケットの様子

海の観察会の様子

★　資源ごみ集団回収等事業報償金　117千円

資源の有効利用とリサイクルの推進を図るため、資源ごみ集団回収団体に報奨金を交付しています。令和5年度は20団体に報償金を交付しました。

事業の成果

生ごみ等処理機の購入補助を通してごみの堆肥化・減量化を促進し、ごみ減量に関心をもってもらうことができました。エコセンターでは、リサイクル情報の収集・提供、講座等を行っています。その活動を通して、循環型社会、豊かな自然環境の保全へ向けての普及・啓発活動の拠点となっています。
環境教育・環境学習により、環境保全に対する子ども達の関心を高めることができました。また、資源ごみ集団回収団体へ報奨金を交付することにより、資源の有効利用とリサイクルの推進を図ることができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,244	3,866				3,866	0

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	ごみ処理対策事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　住民環境課	課長名	金城　直子		款	衛生費	04
連絡先	889－1797				項	清掃費	02
目　標	環境と共生する美しく住みよいまち				目	塵芥、し尿処理費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民及び町内にある事業所などから排出される一般廃棄物	廃棄物の分別を推進し排出を抑制するとともに、再資源化を図り、適正処理することで町民の快適でうるおいのある生活を確保します。

事業の実施内容

歳出部門

1　家庭系ごみの処理にかかる経費

- ★　家庭系ごみ収集・運搬委託料（4者へ委託）　39,360千円
- ★　那覇市・南風原町環境施設組合負担金　161,648千円
- ★　町指定ごみ袋作成費（印刷製本費）　20,205千円
- ★　ごみの指定袋販売委託料　5,952千円

資源ごみ分別の様子

可燃ごみ搬入の様子

2　資源・粗大ごみの処理

- ★　資源ごみ収集・運搬委託料（ワークプラザ南風へ委託）　20,637千円
- ★　資源ごみ分別委託料（ワークプラザ南風へ委託）　15,394千円
- ★　粗大ごみ処理券販売委託料　305千円
- ★　草木処理委託料（草木を堆肥化しています。一括交付金　6,084千円
- ★　施設使用料（那覇市へ草木処理ヤード使用料）　97千円
- ★　計量手数料（草木計量時）　183千円
- ★　容器包装びん再商品化委託料（PETﾎﾞﾄﾙ・色ﾋﾞﾝ等の処理）　162千円
- ★　一般廃棄物処理基本計画策定委託料　4,950千円
- ★　その他経費　6,323千円

3　その他のごみ処理費

- ★　町内一斉清掃ごみ処理手数料（草木堆肥化等）　2,805千円
- ★　一斉清掃ごみ運搬車使用料　405千円
- ★　動物死骸処理手数料　5千円
- ★　バーコード登録手数料　17千円

歳入部門

1　手数料収入

- ★　一般廃棄物許可手数料　59千円

2　諸収入

- ★　資源ごみ売上収入（カン・ビン・古着・廃食油）　4,242千円
- ★　粗大ごみ処理券収入（粗大ごみシール券300円・600円の売上）　4,279千円
- ★　ごみ袋指定化収入（可燃・不燃ごみ袋の売上）　47,267千円

事業の成果

廃棄物処理法第4条では、「市町村はその区域内における一般廃棄物の減量に関し住民の自主的な活動の促進を図り、及び一般廃棄物の適正な処理に必要な処理に必要な措置を講ずるよう努める・・・」とあり、一般廃棄物の処理は町民の日常生活にもっとも密着した行政サービスの一つであります。町民へ廃棄物減量を推進するとともに一般廃棄物の適正処理も実施することができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	285,859	284,532		18,186		55,847	210,499

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

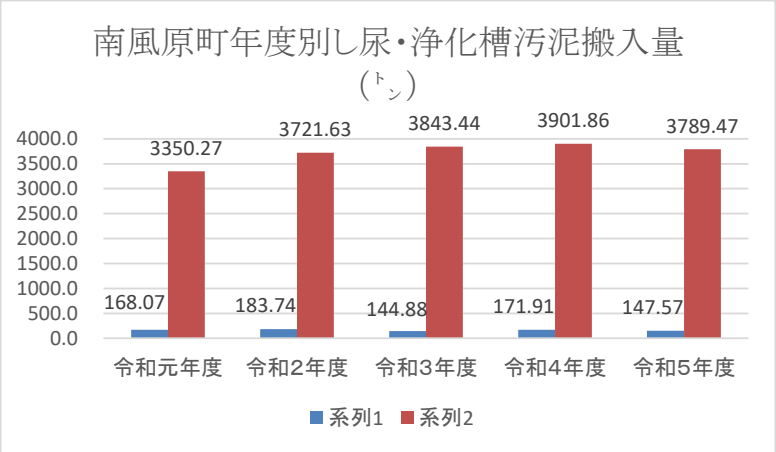
事業名	し尿処理対策事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　住民環境課	課長名	金城　直子		款	衛生費	04
連絡先	889－1797				項	清掃費	02
目　標	環境と共生する美しく住みよいまち				目	塵芥、し尿処理費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	下水道の整備されていない地域等のし尿・浄化槽汚泥	し尿・浄化槽汚泥を適正に処理し、環境汚染を防止し清潔な住環境を確保します。

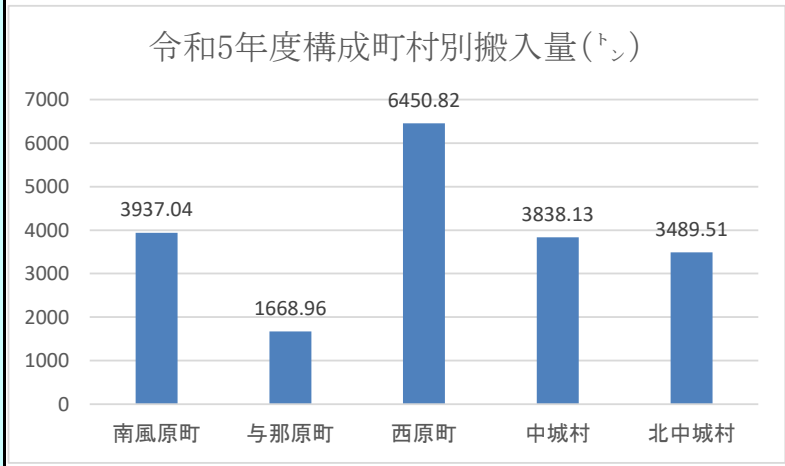
事業の実施内容

★　南部広域行政組合負担金（汚泥再生処理センター）　　32,078千円
負担金は施設の運営費や、起債の償還に充当しています。

※南風原町内の浄化槽世帯、くみ取り世帯又は建築現場の仮設トイレや事業所の浄化槽汚泥は、町内許可業者が収集運搬を行っており、処理は西原町にある汚泥再生処理センターで処理されます。浄化槽は定期的なくみ取りと、設置者の適正な維持管理が大事です。ブロワーを止めたり、長期間くみ取りを行わないと悪臭の原因になりますので皆様のご協力をよろしくお願いします。



～汚泥再生処理センターとは～
　汚泥再生処理センターは、し尿の衛生処理のみを目的とした従来のし尿処理施設に比べて①汚泥や生ごみ等の有機性廃棄物を処理対象に含むこと②資源への再生機能を併せ持つことを特徴とした施設です。
ここで処理された脱水分離液は水で希釈し下水道へ放流しています。
又、排出された脱水汚泥は、東部清掃施設組合の焼却施設（与那原町）の助燃剤として再利用されています。



※R6組合概要より

汚泥再生処理センター
平成27年1月1日より供用開始しています。
所在地：西原町字小那覇964番地

事業の成果

し尿及び浄化槽の汚泥を適正に処理し、環境と公共水域の環境保全を図ることができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	32,078	32,078					32,078

7　行財政計画

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	議会運営事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	議会事務局	局長名	新垣　圭一		款	議会費	01
連絡先	889－3097				項	議会費	01
目　標	行財政計画				目	議会費	01

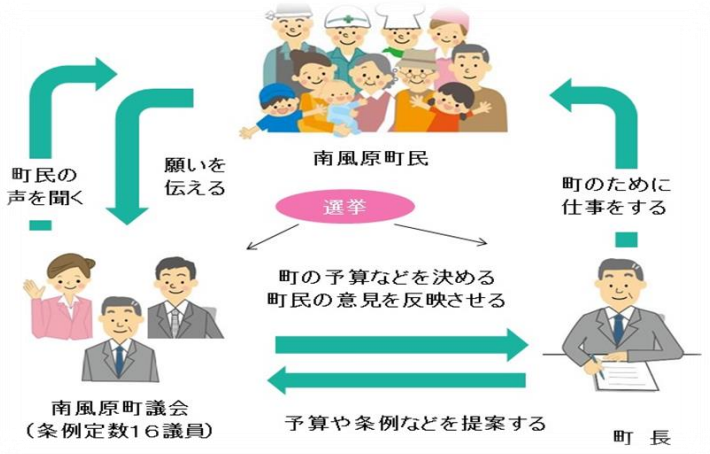
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町政の課題や対応する政策の形成・決定、町民福祉の向上・利益について審議します。また、国・県・関係省庁などに意見書を提出し、国政や社会問題について、議会の意思を明らかにするために審議・決議を行います。	議会の権限の中で重要なものは、①条例の制定・改廃　②予算の決定　③決算の認定　④一定金額以上の契約の締結等の審議です。その他町民の福祉向上・利益につながることを審議し、議会が住民の理解・信頼を得るよう活動を行っています。

事業の実施内容

	予算項目	令和5年度予算	予算執行額	不用額
1	議員報酬	52,296千円	52,296千円	0千円
2	議員期末手当	16,299千円	16,298千円	1千円
3	議員共済費	15,965千円	15,964千円	1千円
4	旅費	6,076千円	5,752千円	324千円
5	議長交際費	117千円	97千円	20千円
6	負担金、補助金及び交付金	6,171千円	5,394千円	777千円
7	行政経費	289千円	258千円	31千円
合計		97,213千円	96,059千円	1,154千円

令和5年度の議会運営事業は、前年度（令和4年度決算額81,520千円）と比較して、14,540千円の増となっております。主な原因としては、令和5年度より議員報酬の改正を行ったことにより、議員報酬、議員期末手当及び報酬額増の影響を受ける議員共済費が増となったこと、行動制限が緩和され、活動が活発になったことなどにより旅費、負担金、補助金及び交付金（主に政務活動費交付金）が増となったためです。

その他、議員の調査研究等により、町政の課題及び町民の意思を把握、収集し、町政に反映させ住民福祉の増進を図る活動の為の経費に対して交付する政務活動費（議員1人当たり年額18万円）については、10年目となり、使途の内訳では、主に調査研究費、広報・広聴費、資料購入費に充当されています。



事業の成果

令和5年度は定例会が4回、臨時会が3回招集され、議案等98件を可決、陳情6件を採択しました。また、議会広報常任委員会、総務民生常任委員会、経済教育常任委員会において県外視察、研修を受講しました。先進地などから活用事例など学び、意見交換を行いました。
その他に令和5年度は4年振りに対面での第12回議会報告会を6月27日にイオン南風原店1階イベント広場で開催しました。報告会には37名の参加があり、町民との活発な意見交換が行われました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	97,213	96,059					96,059

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	企画事務事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	総務部　企画財政課	課長名	玉那覇　和彦		款	総務費	02
連絡先	889－0187				項	総務管理費	01
目標	行財政計画				目	企画費	08

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民、行政職員および関係団体・機関等	効果的な行政運営のための計画推進及び必要に応じて広域行政等による事業実施を進めます。

事業の実施内容

○南部広域市町村圏事務組合負担金
広域化する行政需要や地域共通の課題に対して、県内市町村及び近隣市町との連携による行政サービスの拡充を目指し、各広域行政による取り組みを推進しました。

総務費　　1,732千円
衛生費　　20,232千円（南部広域圏南斎場建設事業負担金）

令和5年度の主な事業
（1）ふるさと市町村圏基金事業
・広域研修事業
・青少年健全育成事業

（2）「南斎場」の管理運営

○その他負担金など
・南部広域行政組合負担金　1,726千円
・地方創生臨時交付金返還金　6,320千円
・会計年度任用職員報酬　534千円
・会計年度任用職員費用弁償　12千円

事業の成果

広域行政については、火葬場など複数の市町村で実施した方が財政負担が軽減される事業や単独の市町村では解決が困難な事業について、共同で事業を実施しました。また、「ふるさと市町村圏基金」の運用益を活用して、広域研修事業や公共交通活性化推進事業等を実施しました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	30,565	30,556	0	0	0	0	30,556

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	電子計算事務事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　企画財政課	課長名	玉那覇　和彦		款	総務費	02
連絡先	889－0187				項	総務管理費	01
目　標	行財政計画				目	電子計算費	14

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民、職員など	住民サービスとして窓口業務の多くをコンピュータにより管理・運営し、行政サービスの充実、強化を図ります。また、電子自治体を推進するとともに、情報セキュリティ（安全・保障）の強化を図ります。

事業の実施内容

業務の多くをコンピュータにより管理・運営することで行政サービスの効率化を図っており、個人情報の漏洩や不正使用など情報セキュリティの確保と個人情報保護に努めました。

1　事務システムの充実　　40,248　千円

- ・会計年度任用職員報酬等　2,293 千円
- ・情報システム機器使用料　32,677 千円
- ・情報システム機器保守委託料　792 千円
- ・システム改修費用等　484 千円
- ・備品・その他　4,002 千円

2　行政情報システムの強化　　6,517　千円

- ・SE派遣委託料　5,280 千円
- ・ウィルス対策費用等　1,237 千円

3　セキュリティ強靭性の向上　　4,120　千円

- ・ネットワーク分離等によるセキュリティ強化対策事業委託料　1,290 千円
- ・地方公共団体情報セキュリティ強化対策事業負担金　2,830 千円

各課共有LGWANシステム用パソコン
（各課専用業務アプリケーション利用等を行うパソコン）

事業の成果

事務の効率化を図るため業務の多くをシステム化し、コンピュータ等の安定した管理・運営を行いました。また、システムの運用、管理の強化を図るため、専門の業者と保守委託契約の締結を行うことにより、トラブルが発生した時においても迅速な対応を行いました。
さらに情報セキュリティの強化を行い、インシデント等の発生による、業務停止が起こらないよう対策を行う事ができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	51,634	50,885					50,885

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	基幹系事務事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	総務部　企画財政課	課長名	玉那覇　和彦		款	総務費	02
連絡先	889－0187				項	総務管理費	01
目標	行財政計画				目	電子計算費	14

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民、職員など	住民情報の管理、課税情報の管理、児童手当などの支給情報の管理など、住民の方の情報を管理し、行政サービスの充実を図ります。

事業の実施内容

町民の皆様向けのサービスを効率的に行う為に、各業務担当者が利用する業務システムや機器の導入・管理運用を行いました。
業務システムや機器の導入・管理運用を行うことで行政サービスの効率化を図りました。
（住民基本台帳、国民健康保険、児童手当、町民税、固定資産税、障害者手当など）

1　基幹システムの充実(システムおよび器機保守委託料)　9,110　千円

・住民情報システム委託料　2,614 千円
・OCRシステム保守委託料　757 千円
・コンビニ交付保守委託料　1,587 千円
・高速プリンター保守委託料　1,180 千円
・その他委託料　2,972 千円

2　基幹システムの充実(システム及び器機使用料)　58,908　千円

・住民情報システム使用料　49,445 千円
・OCRシステム使用料　2,339 千円
・コンビニ交付機器使用料　1,763 千円
・高速プリンター使用料　1,541 千円
・その他システム使用料　3,820 千円

3　マイナンバー制度関係等　3,475　千円

・番号制度関係委託料　374 千円
・番号制度関係負担金　3,101 千円

4　その他（負担金、印刷製本費等）　2,095　千円

業務用ハガキ圧着機
（督促状等の圧着用ハガキを圧着する為の機械）

事業の成果

各業務担当者が利用する業務システムや機器の導入・管理運用を行い、各課における住民サービスの提供を継続して支援することができました。またマイナンバー制度の活用による情報連携ネットワークシステム利用に関連したシステム改修やコンビニ交付サービス維持の為、法改正等の対応を行い、住民サービスの向上を図ることが出来ました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	73,811	73,588					73,588

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	DX推進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　企画財政課	課長名	玉那覇　和彦		款	総務費	02
連絡先	889－0187				項	総務管理費	01
目　標	行財政計画				目	電子計算費	14

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民等、職員	自治体DXを推進し、行政サービスにおける町民の利便性の向上を図るとともに、デジタル技術の活用による職員の業務効率化、生産性向上を推進し、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げます。

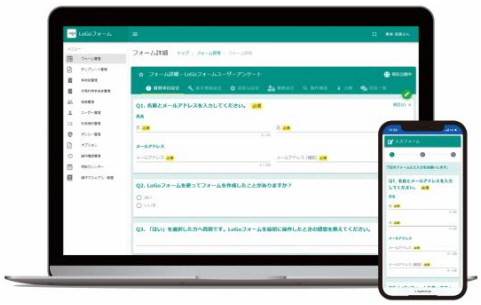
事業の実施内容

主な経費

人件費（会計年度任用職員）	2,265 千円
自治体専用ツール使用料	904 千円
AI音声認識議事録作成支援システム使用料	385 千円
AI音声認識議事録作成支援システム機器購入費	496 千円
	4,050 千円

○自治体専用ツール
「Logoフォーム」の活用例

- 住民健診の予約
- 道路占用許可など各種申請
- イベントや研修など参加申込
- 町民アンケートなど各種アンケート



ノーコード電子申請システム「Logoフォーム」
（本サービス提供元（株）トラストバンク）

○AI音声認識議事録作成支援システム
実証試験における職員アンケートの結果

音声認識の精度

90%以上	6人	(30%)
70%～90%	8人	(40%)
50%～70%	3人	(15%)
50%未満	3人	(15%)

議事録作成時間の軽減割合

7割以上	10人	(50%)
5～7割	2人	(10%)
3～5割	6人	(30%)
3割未満	2人	(10%)

≪職員A≫最初から入力するのとは大違いでとても業務の負担軽減になると感じました。打ち合わせなどでもボイスレコーダーで録音して議事録作成に役立ちました。

≪職員B≫実際に使用して事務の効率化を非常に感じました。誤変換等も少なく、編集も非常にスムーズにできました。

事業の成果

・オンライン申請システムを活用し、住民健診などの予約、道路占用許可など各種申請やイベントや研修など参加申込がオンラインで手続きできることで、町民の利便性向上に繋がりました。

・AI音声認識議事録作成支援システムを活用することで、議事録作成の時間が削減され、業務の効率化が図れました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,417	4,050					4,050

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	ふるさと納税推進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　企画財政課	課長名	玉那覇　和彦		款	総務費	02
連絡先	889－0187				項	総務管理費	01
目　標	行財政計画				目	企画費	08

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内事業者、町外在住のふるさと納税（寄附）者	ふるさと納税制度を活用し、事業の財源確保を図るとともに町、事業所が一体となり南風原町のPRや地域活性化を目指して取り組みます。

事業の実施内容

主な経費　275,707 千円
- ふるさと納税業務委託料　225,833 千円（内、41,578千円R4繰越分）
- ポータルサイト使用料　44,899 千円
- その他の経費　4,975 千円

業務委託の主な内容
（1）ふるさと納税のプロモーション（町及び町特産品のPR）
（2）返礼品の開拓、企画、交渉
（3）返礼品の発注、配送依頼、管理
（4）返礼品取り扱い事業者への精算業務
（5）寄附者及び返礼品取り扱い事業者からの問い合わせ対応
（6）寄附管理システムの構築及び提供

▼ふるさと納税返礼品

	返礼品数	返礼品協力事業者
令和5年度	360	89
令和4年度	281	74
令和3年度	319	68
令和2年度	300	53
令和元年度	215	41

▼ふるさと納税の受入実績（過去5年間）

	件数(件)	寄附受入金額(円)
令和5年度	28,318	426,762,000
令和4年度	34,744	532,479,000
令和3年度	17,787	277,199,000
令和2年度	13,019	191,268,000
令和元年度	15,602	208,762,000

※団体による寄附を含みます。

令和6年度への繰越
令和5年度寄附のうち令和6年度発送する返礼品代及び送料　18,000千円

事業の成果

令和5年度は28,318件、426,762千円の寄附の受入があり、事業の財源確保、特産品のPRや地域活性化に繋がりました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
新規開拓返礼品数90品目	新規開拓返礼品数89品目

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	340,942	275,707	0	0	0	275,707	0

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	住基・印鑑登録・旅券事務事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　住民環境課	課長名	金城　直子		款	総務費	02
連絡先	889－4414				項	戸籍住民基本台帳費	03
目　標	行財政計画				目	戸籍住民基本台帳費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	マイナンバーカードの夜間の申請受付と交付や住基カード及びマイナンバーカードを保持している方への土日祝祭日、早朝、夜間も各種証明書が取得できるコンビニ交付サービスや旅券の受付申請・交付、自動車臨時運行許可の業務を行っており、町民サービスの向上を図ります。

事業の実施内容

住民の皆様が町内外へ引越した時、又は婚姻届、離婚届、出生届、死亡届など役場へ戸籍届出後に住民基本台帳やマイナンバーカードの記録更新を行い、氏名、生年月日、性別、住所などが記載された住民票を編成します。住民基本台帳は住民の方々に関する事務処理の基礎となるもので、住民票の写しの交付などにより、住民の方々の居住関係を公証するとともに国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、国民年金の被保険者の資格の確認、児童手当の受給資格の確認、学齢簿の作成、生活保護及び予防接種に関する事務、印鑑登録に関する事務処理のために利用されています。

また、旅券（パスポート）の受付申請・交付や、新規又は車検の切れている自動車を車検場に移動させる際、公道を臨時的に走らせるために必要な許可を受けるための制度である、自動車臨時運行許可業務（仮ナンバー）を行い、住民の利便性向上に努めました。

主な経費		
	窓口対応会計年度任用職員報酬	16，091千円
	偽造防止証明書用紙等印刷代・消耗品・通信運搬費	1，385千円
	コンビニ交付事務委託料	1，701千円
	コンビニ交付事務運営負担金	691千円
	その他の経費	3，216千円

交付状況

【窓口交付、コンビニ交付】　（単位：通）

窓口交付					コンビニ交付			
住民票謄抄本	印鑑証明書	戸籍謄抄本	諸証明	税証明等	住民票謄抄本	印鑑証明書	戸籍謄抄本	税証明等
17,358	5,826	8,697	3,006	6,205	8,287	3,375	805	2,050

	証明書	利用時間	設置場所
コンビニ	住民票の写し、印鑑証明書 所得証明書、所得課税証明書 戸籍証明書、戸籍の附票の写し	6:30 ～ 23:00	全国のファミリーマート、ローソン等のコンビニ

【旅券（パスポート）】　（単位：件）

一般旅券の発給申請の受理					一般旅券の交付					紛失・焼失届出受理			
10年	5年	子供	変更	計	10年	5年	子供	変更	計	10年	5年	子供	計
490	302	75	15	882	477	280	67	15	839	0	1	0	1

【自動車臨時運行許可業務（仮ナンバー】

件数（件）
1,240

【マイナンバーカード交付総件数】

件数
26,718

事業の成果

・個人番号カード（マイナンバーカード）や住民基本台帳カードを利用し、県内はじめ全国のコンビニを利用することで、土日祝祭日及び時間外において各種証明書を取得することができます。
・旅券（パスポート）の受付申請・交付や自動車臨時運行許可業務（仮ナンバー）を行い、町民サービス向上を図りました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	30,836	23,084	13,308				9,776

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	町県民税に係る経費			予算科目	会計	一般会計	01
部課	総務部　税務課	課長名	新垣　奈津子		款	総務費	02
連絡先	889－4413				項	徴税費	02
目標	行財政計画				目	税務徴税費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民税納税義務者	課税客体の把握に努め、適正・公正な課税を実施します。また税制改正の内容を十分に把握し、適切な案内及び適正課税に努めます。申告受付から課税までの業務の効率化を図ります。

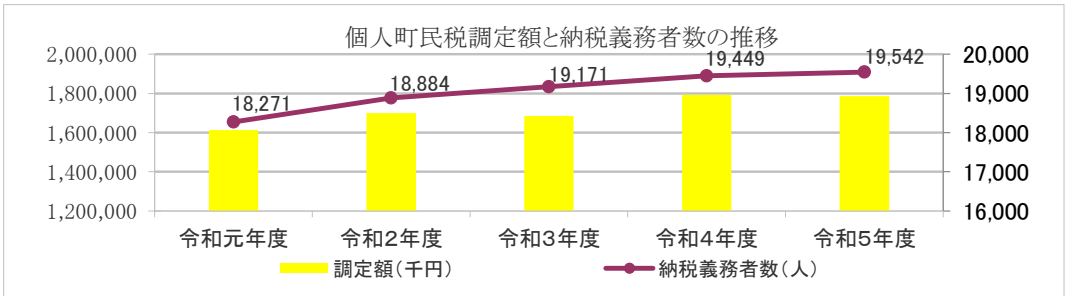
事業の実施内容

町で賦課徴収している住民税には、個人住民税（町民税・県民税）と法人町民税があります。個人住民税は前年中の所得に対しそれぞれの負担能力に応じて課される税です。法人町民税は、町内に本店や支店または事業所等がある法人等が申告納税しています。

《町民税の現年分課税額等の推移》

■個人町民税

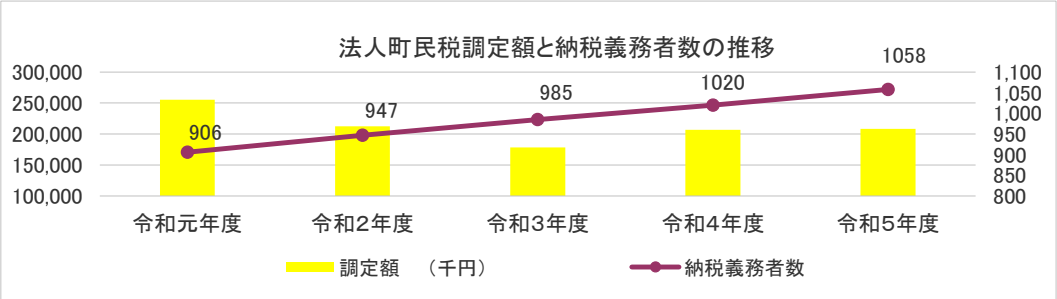
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
調定額　（千円）A	1,613,842	1,699,098	1,684,138	1,792,461	1,786,914
納税義務者数　（人）B	18,271	18,884	19,171	19,449	19,542
1人当たりの金額（円）C=A/B	88,328	89,976	87,848	92,162	91,440



■法人町民税

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
調定額　（千円）a	255,424	212,270	178,611	206,887	208,285
納税義務者数（法人）b	906	947	985	1,020	1,058
1法人当たりの金額（千円）c=a/b	282	224	181	203	197

※課税額：決算審査第6号様式より　※納税義務者数：課税状況調べ第48表より



令和5年度　主な経費等　20,686 千円

（内訳）
- 会計年度任用職員関係　6,561　千円
- 郵送費等　2,355　千円
- 委託、使用料　9,442　千円
- 事務経費等　2,328　千円

事業の成果

個人住民税については、納税義務者数は年々増加傾向にありますが、令和5年度調定額においては、所得額から差し引かれる各種控除額の増加等により対前年度比で減少しております。当初課税後は、課税客体の調査及び未申告者への申告勧奨等をおこない、適正かつ公正な課税とサービス提供へつなげることができました。
法人町民税は、税率改正等の影響で令和3年度までは減少傾向にありましたが、令和4年度以降は納税義務者数の増加等に伴い調定額も増加しています。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	22,100	20,686					20,686

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	固定資産税に係る経費			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　税務課	課長名	新垣　奈津子		款	総務費	02
連絡先	889－4413				項	徴税費	02
目　標	行財政計画				目	税務総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	固定資産税納税義務者	固定資産（土地・建物・償却資産）に係る課税を適正に行い、納税者へ対し分かりやすい説明資料を提供することで納税意識の高揚を図ります。

事業の実施内容

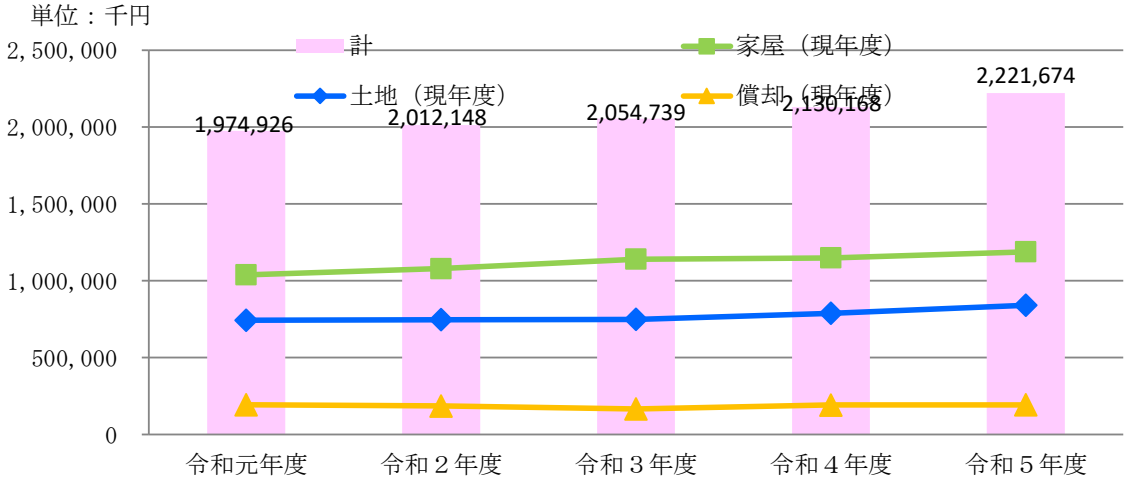
1．土地に対する課税を適正かつ円滑に行うための委託業務等・・・・13，521千円（内、令和4年度繰越分231千円）
〇主な業務内容
・地番データ修正、地目・地積データ修正業務（土地の分合筆に伴う地番データの修正、土地の利用状況の変更による課税地目データの修正等を行いました。）
・画地測量業務（新たに分合筆した土地や一体的に利用している土地の形状を測量し評価を行いました。）
・土地評価見直業務（令和6年度の評価替に向けた調査・評価等を行いました。）

2．家屋に対する課税を適切かつ円滑に行うための委託業務等・・・・1，646千円
〇主な業務内容
・家屋評価システム保守管理委託料（家屋評価システムの保守管理を行いました。）
・家屋評価システム使用料（家屋評価システムを用いて適正な評価計算を行いました。）

3．その他の経費・・・・3，518千円
内訳
消耗品費・印刷製本費　356千円　　その他（負担金等）　62千円
納税通知書等経費（役務費・委託料）　3，100千円

固定資産税現年分課税額（調定額）の推移　単位:千円

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
土　地	743,290	747,132	748,759	789,012	840,517
家　屋	1,038,328	1,079,311	1,140,002	1,149,037	1,188,040
償却資産	193,308	185,705	165,978	192,119	193,117
計	1,974,926	2,012,148	2,054,739	2,130,168	2,221,674



事業の成果

課税業務の一部を外部委託することにより、限られた時間と人員で効果的かつ効率的に業務を行うことができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	18,786	18,685					18,685

令和５年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

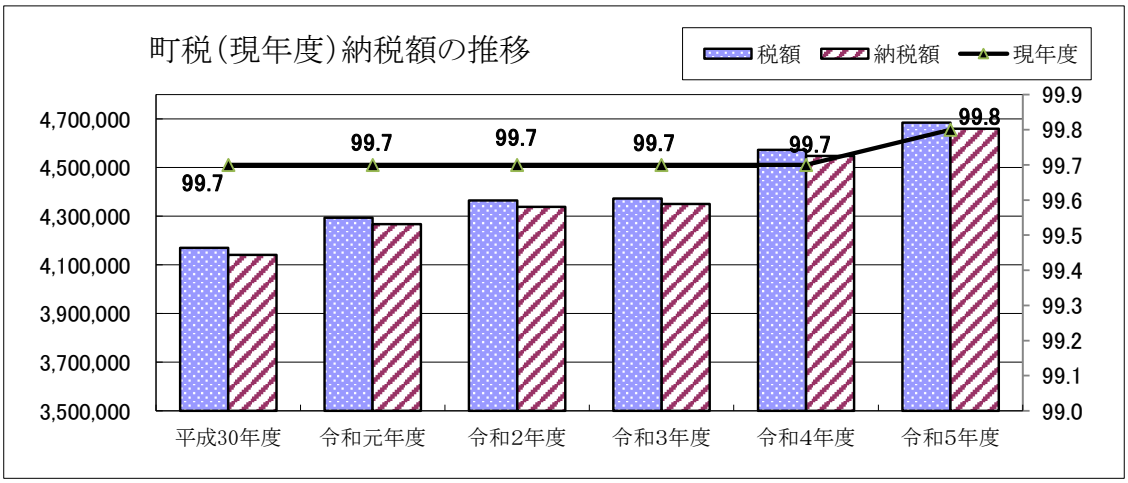
事業名	賦課徴収事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	総務部　税務課	課長名	新垣　奈津子		款	総務費	02
連絡先	889－0523				項	徴税費	02
目標	行財政計画				目	賦課税徴収費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町税（町県民税、法人町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税）の納税者	町税滞納者の実態把握、催告、口座振替の推進、滞納処分等を行い、税負担の公平性と町の自主財源確保に努めます。

事業の実施内容

主な経費　27,301 千円
- 納付指導員報酬（3人）　7,234 千円
- 過年度還付金　6,896 千円
- その他事務経費　13,171 千円

納付指導員の主な仕事
（1） 町税の納付指導に関すること
（2） 町税の口座振替に関すること
（3） 納税義務者の実態把握、調査及び連絡に関すること
（4） 納税義務者への納税意識の普及促進に関すること
（5） その他



（単位:千円）

項目		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
税額		4,170,298	4,293,671	4,364,525	4,372,436	4,572,797	4,684,972
納税額		4,141,057	4,267,534	4,339,074	4,350,336	4,548,376	4,659,872
収納率	現年度	99.7	99.7	99.7	99.7	99.7	99.8
	滞納分	56.4	57.2	54.7	57.7	45.9	38.8
	合計	99.3	99.4	99.4	99.5	99.5	99.5

事業の成果

・滞納者の生活状況、債権や資産、収入の調査を行い、納付が困難な方には納税相談にて納付計画を立て、完納へと繋げることができました。
・長期滞納者、高額滞納者、納税意識の低い滞納者の債権や資産の差押等を実施して積極的な滞納整理を展開することができました。
・催告書等により納付の推進を図ることができました。
・自主納付を強化推進することにより納期内納付意識の向上につながりました。
・納税者の状況に配慮しながら滞納整理を行い、現年度、滞納分合計収納率99.5％と前年度同率を維持することができました。
※令和5年4月から固定資産税、軽自動車税の納付書にQRコードを付し電子納税での納付手段の拡充を図りました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	27,906	27,301					27,301